

CyberLink
PowerDVD 19

ユーザーガイド



著作権

All rights reserved.

法律の認める範囲において、PowerDVDは情報、サービス、またはPowerDVDに関連して提供される製品についていかなる保証も行わないこと、商品性、特定目的への適合性、プライバシー保護の見込み、非侵害性についていかなる暗示的保証も行わないことを含め、明示または暗示の有無に関わらず、いかなる保証も行わず現状のままで提供されます。

このソフトウェアをご使用になると、お客様はCyberLinkがこのソフトウェアまたはこのパッケージに含まれる素材を使用した結果生じる直接的、間接的、結果的損失について一切責任を負わないことに同意したものとみなされます。
ここに記載する条件は、台湾の法律により管理および解釈されるものとします。

PowerDVDは本書に記載されるその他の会社名および製品名と同じく登録商標であり、識別を目的としてのみ記載されており、その所有権は各社が所有しています。

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright 1995-2015 Dolby Laboratories. All rights reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,003,467; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and DTS Digital Surround are registered trademarks and the DTS logos, Symbol and DTS 96/24 are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS is a registered trademark and the DTS logos, Symbol, DTS-HD and DTS-HD Master Audio are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

本社

所在地

CyberLink Corporation
15F., No. 100, Minquan Rd., Xindian Dist.
New Taipei City 231, Taiwan (R.O.C.)
<https://www.cyberlink.com>

Web サイト

TEL

886-2-8667-1298

FAX

886-2-8667-1385

Copyright © 2019 CyberLink Corporation. All rights reserved.

目次

第 1 章:	1	紹介
	1	ようこそ
	5	最小システム要件
第 2 章:	13	PowerDVD メディア ライブラリー
		メディア
	13	ライブラリーにメディアを読み込む
	14	メディア ライブラリーの概要
第 3 章:	17	PowerDVD の作業領域
	17	メディア パネル
	20	メディア ウィンドウ
	29	PowerDVD のモード
	30	PowerDVD の設定
	31	再生コントロール
第 4 章:	32	PowerDVD でメディアを再生する
	32	ムービー ディスクを再生する
		ムービー
	36	ファイル/シリーズ動画を再生する
	40	動画を再生する
	41	画像を表示する
	43	音楽を再生する
		サイバーリンク
	47	クラウド中のメディアを再生する
	50	メディア プレイリストを作成する
	53	オンライン動画を再生する
		デバイス/ホーム メディア (DLNA)
	57	ネットワークで共有メディアを再生する

第 5 章:	63	VR モード (バーチャルリアリティー)
	63	VR モードを設定、開始する
	64	VR モードでメディアを再生する
第 6 章:	65	他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生する (再生先)
	66	ストリーミング デバイスにメディアをキャストする
	71	外部ディスプレイでメディアを再生する
	72	デジタル メディア レンダラーにメディアをストリーミングする
第 7 章:	74	再生コントロール
	74	ムービー ディスクの再生コントロール
	81	動画の再生コントロール
	88	画像の再生コントロール
	94	音楽の再生コントロール
	101	再生速度ナビゲーター
	101	他の UI コントロール
	108	メディアの再生メニュー
	113	エクスプレス メニュー
	124	再生メニュー
	126	PowerDVD Remote で再生をコントロールする
第 8 章:	127	再生機能
	127	TrueTheater エンハンスメント
	132	360° メディアの再生
	136	3D 再生
	137	ブックマークを追加する
	140	拡張機能

	143	スナップショットを取得する
	144	外部/埋め込み字幕
第 9 章:	147	サイバーリンク クラウドを利用する
	147	サイバーリンク クラウドにメディアをアップロードする
	149	サイバーリンク クラウドとメディアを同期する
第 10 章:		メディア
	151	ライブラリー中のメディアを共有、 同期、転送する
	151	ネットワークでメディアを共有する
	152	ソーシャル ネットワークでメディアを共有する
	155	メディアを接続したデバイスと同期する
	157	ムービー ファイルをデバイスに転送する
第 11 章:		PowerDVD の設定 -
	159	プレーヤーの設定
	159	全般の設定
	164	動画、音声、字幕の設定
	178	ブルーレイ ディスクの設定
	181	サイバーリンク クラウドの設定
	183	ホットキー/マウス ホイールの設定
	183	ムービー情報の設定
	184	情報
第 12 章:	186	PowerDVD の設定 - 基本設定
	186	UI カスタマイズの基本設定
	191	メディア ライブラリーの基本設定
	197	ホーム メディア (DLNA) の基本設定
	199	3D ディスプレイの基本設定

第 13 章:	202	PowerDVD のホットキー
第 14 章:	207	ライセンスおよび著作権情報
第 15 章:	214	テクニカル サポート
		テクニカル
	214	サポートにお問い合わせになる前に
	215	Web サポート
	216	ヘルプ リソース

第 1 章: 紹介

この章では、CyberLink PowerDVD プログラムの最新機能、エディション、最小要件について紹介します。

注:当ガイドは参考資料です。また、内容および対応するプログラムは予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ようこそ

CyberLink の製品をご利用いただきありがとうございます。CyberLink PowerDVD は、様々な機能とコントロールを搭載したムービー ディスク & デジタル メディア プレーヤーです。

CyberLink PowerDVD を初めて起動すると、「ようこそ」のダイアログが表示されます。ダイアログの **[ビデオ チュートリアル]** リンクをクリックすると、CyberLink PowerDVD の最新機能に関するビデオ紹介が表示されます。すべての最新機能に関する詳細は、[「PowerDVD の最新機能」](#) を参照してください。または、**[次へ]** をクリックします。

注:CyberLink PowerDVD を過去にインストールしていた場合、個人設定を新しいバージョンに引き継ぐか、ダイアログが表示されます。メディア ライブラリー、プレイリスト、基本設定などを読み込むには、**[はい、前の PowerDVD から個人設定を読み込みます]** を選択します。

CyberLink PowerDVD Live または Ultra エディションを購入したユーザーは、**[サイバーリンク クラウドを使用する]** ボタンをクリックすると 30 GB のクラウド ストレージを 1 年間無料で使用できます。準備ができたなら、**[次へ]** をクリックします。

[CyberLink 製品向上プログラム] のダイアログが表示されます。**[参加する]** を選択すると、PowerDVD の向上に役立ちます。CyberLink は収集された情報から PowerDVD のプログラムを改善し、新しい機能を開発します。

注:選択オプションは、[全般] の設定から変更できます。詳細は、[「CyberLink 製品向上プログラム」](#) を参照してください。

[確認] をクリックすると、CyberLink PowerDVD が起動します。

PC モードと TV モード

CyberLink PowerDVD のスタートメニューまたはデスクトップのショートカットからプログラムを起動すると、モードの選択ウィンドウが表示されます。

- **PC モード:**PC を使って CyberLink PowerDVD のすべての機能をご利用いただけます。[PC モード] に関する詳細は、このヘルプ ファイルを参照してください。
- **TV モード:**ご自宅でホーム シネマのようにご利用いただけます。TV モードに関する詳細は、TV モードのヘルプ ファイルを参照してください。

注:プログラムを起動時に常に同じモードを開く場合、[\[選択を記憶する\]](#) オプションを選択します。選択すると、次からモードの選択ウィンドウは表示されません。モード切り替えに関する詳細は、[「TV モードに切り替える」](#) を参照してください。

PowerDVD の新機能

CyberLink PowerDVD 最新バージョンの新機能 (一部) は次の通りです。

- 8K ビデオ (最大解像度: 7680 × 4320) に対応。
- フォトメディア ライブラリー中のアニメーション GIF および HEIF (.HEIC) 画像ファイルに対応。
- 4K ビデオの TrueTheater エンハンスメント* 補正を強化。
- 最新の VR 360° 動画形式 (3D 等角キューブマップを含む) に対応。
- 360° 動画の空間音声、WebM ビデオ (VP9 ビデオ + Vorbis オーディオ) ファイルに対応。
- YouTube 動画をピン留めする前に、画質を選択可能。

- Ultra HD ブルーレイ向けの外部字幕ファイルを読み込み、字幕 (副) を使用。
- UI 壁紙を自動的に変更、表示。

注:* 4K ビデオで利用可能な TrueTheater エンハンスメントに関する詳細は、[「TrueTheater が利用できない環境」](#)を参照してください。

PowerDVD のエディション

CyberLink PowerDVD で利用可能な機能は、お使いのエディションによって異なります。バージョン、エディションおよびビルド番号を確認するには、左上の PowerDVD ロゴをクリックするか、キーボードの [Ctrl+Shift+A] を押します。

PowerDVD のバージョン表は、当社の Web サイトをご覧ください。

https://jp.cyberlink.com/products/powerdvd-ultra/compare-versions_ja_JP.html

▼ PowerDVD Live

PowerDVD Live は、クラウド サービスを介してデスクトップ PC やモバイルデバイスでメディアを再生可能な新しいサービスです。お持ちの音楽、画像、動画がいつでもどのデバイスからでも再生できるようになります。

PowerDVD Live で利用可能な内容 (サブスクリプション契約が必要):

- CyberLink PowerDVD のすべての機能。
- サイバーリンク クラウドのクラウドストレージを使って、どこからでもメディアにアクセス。
- CyberLink PowerDVD の最新バージョンにアップデート。

PowerDVD Live を使うと、お持ちのすべてのムービー、動画、画像、音楽にアクセス可能になります。

サイバーリンク クラウド

サイバーリンク クラウド* は CyberLink のクラウド ストレージ サービスです。クラウドにアップロードされた動画、画像、音楽は、Power Media Player 搭載のポータブル デバイスでどこでも再生できます。CyberLink PowerDVD のメディア ライブラリー中のメディアをサイバーリンク クラウドと同期させることもできます。詳細は、[「サイバーリンク クラウドを利用する」](#) を参照してください。

注: * この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。CyberLink PowerDVD の一部のエディションのユーザーは、サイバーリンク クラウド サービスのサブスクリプションを 1 年間無料でご利用いただけます。

▼ ソフトウェアをアップデートする

CyberLinkでは、定期的にソフトウェアのアップグレードおよびアップデート(パッチ)を提供しています。アップグレードが可能になると、自動的に確認メッセージが表示されます。

注:この機能を使うには、インターネットに接続する必要があります。

ソフトウェアをアップデートするには、次の操作を行います。

1. 次のいずれかの操作を行って、通知センターのウィンドウを開きます。
 -  ボタンをクリックします (表示される場合)。
 - キーボードの **[I]** キーを押します。
 - [バージョン情報] または設定ウィンドウの **[アップグレード]** ボタンをクリックします。
2. アップグレードする機能またはアップデートするパッチをクリックします。

3. Web ブラウザー ウィンドウが開きます。アップグレードを購入したり、最新パッチをダウンロードすることができます。

最小システム要件

CyberLink PowerDVD のシステム要件は、再生中のムービー コンテンツによって異なります。3D ムービー コンテンツを再生するには、他のハードウェアが必要になります。3D 対応のハードウェアおよびグラフィック カードに関する詳細は、CyberLink Web サイトの PowerDVD ページのハードウェア サポートのセクションを参照してください。

処理能力に適したビデオ デインターレースを選択することで、パフォーマンスが最適化されます。一部の CyberLink TrueTheater 技術をオフにすることで (デフォルト設定)、1.6GHz 以下のプロセッサに対応します。高度な音声および動画の機能を使う場合は、2.4 GHz 以上のプロセッサが適しています。

オペレーティング システム

Ultra HD ブルーレイ

- Microsoft Windows 10 (64 ビット、2017 年 11 月アップデート: Fall Creators Update あり)。

HDR 10 動画ファイルの再生

- Windows 10 (64 ビット、2018 年 10 月アップデートあり) の [設定] > [システム] > [ディスプレイ] > [Windows HD Color 設定] で、[HDR のゲームとアプリを使用する] を有効にします。

8K 動画の再生

- Microsoft Windows 10 (64 ビット、2017 年 11 月アップデート: Fall Creators Update あり)。

TrueTheater (フル HD 以上の画質の場合)

- Microsoft Windows 10 (64 ビット、2017 年 11 月アップデート: Fall Creators Update あり)。

VR モード

- Microsoft Windows 10/8.1/7 (+ サービス パック 1)。

ブルーレイ ディスク、DVD、TrueTheater 3D 再生

- Microsoft Windows 10/8.1/7 (+ サービス パック 1)。

プロセッサ (CPU)

Ultra HD ブルーレイ

- Intel 第 7 世代 (Kaby Lake) Core i プロセッサ以上、Intel SGX (Software Guard Extensions) テクノロジーに対応するもの。

8K 動画の再生

- 第 7 世代 Intel Core i7 (Kaby Lake) + HD (UHD) Graphics 630。

VR モード

- Intel i5-4590、AMD FX 8350 相当。

ブルーレイ ディスク、DVD、TrueTheater 3D 再生

- ブルーレイ ディスク再生: Intel Core 2 Duo E6750 (2.66GHz)、AMD Phenom 9450 (2.10GHz)。
- ブルーレイ 3D 再生: Intel Core i5、AMD Phenom II X4。

- ブルーレイおよび HD 動画での TrueTheater HD** および TrueTheater 3D**:
Intel Core i5 (4 コア)、AMD Phenom II X6。
- DVD 再生:
Pentium 4 (2.4 GHz)、Athlon 64 2800+ (1.8 GHz)、AMD Fusion E-series & C-series。

注:** 2013 年 7 月以降にリリースされた Fox のタイトルは、TrueTheater HD または TrueTheater 3D に対応しないものもあります。

4K Ultra HD (ハードウェア アクセラレーション有効)

- Intel 第 3 世代 Core i5。

注:CyberLink PowerDVD は、4K Ultra HD ビデオ、H.264 / MP4 形式、最大 60 Mbps のビットレートに対応します。

TrueTheater (フル HD 以上の画質の場合)

- 第 7 世代 Intel Core i5 (Kaby Lake) + HD (UHD) Graphics 630。

グラフィック プロセッサ (GPU)

8K Ultra HD ビデオ (ハードウェア アクセラレーション有効)

- NVIDIA GTX 10 シリーズ; 第 7 世代 Intel Core i7 (Kaby Lake) + HD (UHD) Graphics 630。
- 8K ビデオ出力:GPU および 8K モニター + DisplayPort 1.4 または HDMI 2.1 対応。

注:CyberLink PowerDVD は、HEVC 8/10 ビット、VP9 8/10 ビット (GPU 能力によって異なる) では 8K Ultra HD ビデオ (最大 7680 X 4320 解像度、30 FPS) に対応します。

Ultra HD ブルーレイ

- Intel 第7世代 (Kaby Lake) Core i プロセッサ (Intel HD Graphics 630、Intel Iris™ Graphics 640 統合型)。

注:UltraHD ブルーレイは、HDCP 2.2 に対応する Intel グラフィックス搭載のディスプレイにのみ対応します。コンピューターに2つ以上のグラフィック プロセッサが搭載される場合、Ultra HD ブルーレイは、Intel グラフィックス搭載のディスプレイにのみ対応します。

VR モード

- NVIDIA GeForce GTX 970、AMD Radeon R9 290 相当。

HDR 10 動画の再生

- HDR10 ビデオからハイ ダイナミック レンジ (HDR) のエフェクトを表示する場合、Intel 第7世代 (Kaby Lake) Core i プロセッサ (Intel HD Graphics 630、Intel Iris Graphics 640 統合型)、AMD Radeon RX 400 シリーズ、RX 500 シリーズ、RX Vega シリーズ。NVIDIA GTX 950/960, 1000 シリーズ (HEVC HDR 10 向け)、RTX 2000 シリーズ、GTX 1080 Ti、GTX 1050、GTX 1050 Ti または GT 1030 (VP9 HDR 10 向け)。

4K Ultra HD ビデオ (+ ハードウェア アクセラレーション)

- H.264/AVC:第3世代 Intel Core i5 (Ivy Bridge)。
- H.265/HEVC (8 ビット):第5世代 Intel Core i5 (Broadwell) または NVIDIA GTX 960。
- H.265/HEVC (10 ビット):第7世代 Intel Core i5 (Kaby Lake) または NVIDIA GTX 1060。

TrueTheater (フル HD 以上の画質の場合)

- Intel HD/UHD Graphics 630 または Intel Iris Graphics 640 (4K 30 fps ビデオ)。
- NVIDIA GTX 1060 または AMD RX580 (4K 60 fps ビデオ)。

ブルーレイ ディスク、DVD、TrueTheater HD/3D 再生

- Intel HD Graphics、ATI Radeon HD 5000、NVIDIA GeForce 9500GT。

注:グラフィック カードのドライバーは必ず最新バージョンにアップデートしてください。TrueTheater 3D で再生するには、3D ディスプレイが必要です。

ブルーレイ 3D 再生

- Intel HD Graphic (Intel Core i5)、NVIDIA GeForce GTX 400 シリーズ、GeForce GT 240/320/330/340、AMD Radeon HD 6000、6000M シリーズ (UVD 3 対応)。

DVD 再生

- DirectX 9.0 対応の PCI Express グラフィック アクセラレーター。

メインボード (マザーボード)

Ultra HD ブルーレイ

- マザーボードは、Intel SGX (Software Guard Extensions) テクノロジーに対応している必要があります。Intel SGX の機能は、BIOS 設定で有効にし、128 MB 以上のメモリー容量が割り当てられる必要があります。Ultra HD ブルーレイ ムービーの HDR 10 エフェクトを表示する場合、HDR 10 信号のエクスポートに対応するメインボードが必要です。

注:Ultra HD ブルーレイ ムービーを外付けディスプレイに出力する場合、マザーボードに埋め込まれる接続ポートが、HDCP 2.2 に対応する必要があります。ラップトップ PC の場合、外付けディスプレイ接続 (HDMI/DisplayPort) が HDCP 2.2 出力に対応するか、ラップトップの仕様を参照してください。

HDR 10 動画の再生

- HDR 10 動画を再生する場合、HDR 10 信号のエクスポートに対応するメインボードが必要です。

メモリー

- 4 GB (6 GB 推奨)。

ハード ディスク容量

- 製品のインストール用に 700 MB。

ディスプレイ

Ultra HD ブルーレイ

- HDMI 2.0a/DisplayPort 1.3 の接続インターフェイス搭載のディスプレイは、HDCP 2.2 に対応する必要があります。
- 画面解像度:Ultra HD 解像度 (3840 x 2160) を推奨。
- ディスプレイ接続:HDMI 2.0a/DisplayPort 1.3 バージョンのケーブル (アダプター/スプリッター/リピーターなし)。

注:Ultra HD ブルーレイ ムービーのハイ ダイナミック レンジ (HDR) 機能を有効にするには、ディスプレイは HDR ディスプレイ機能および 10 ビットの色深度表示能力 (HDMI 2.0a/DisplayPort 1.4 接続インターフェイスあり) に対応する必要があります。ディスプレイが HDR 機能に対応しない場合、Ultra HD ブルーレイ ムービーは従来のダイナミック レンジ (SDR) モードで再生されます。

ブルーレイ ディスク、DVD、TrueTheater 3D 再生

- AACS 保護のブルーレイ タイトルおよび CPRM 保護の DVD タイトルを再生する場合、DVI、HDMI、DisplayPort 端子でのみディスプレイに出力が可能です (HDCP のコピー ガードに対応するため)。
- 他の DVD およびブルーレイ ディスク再生:デジタル出力用の HDCP 対応のディスプレイ。アナログ出力用のテレビまたはコンピューター モニター。
- TrueTheater 3D 再生:3D ディスプレイおよび 3D メガネ。

ハードウェア アクセラレーション (あり/なし) でブルーレイ 3D 再生

- 3D ディスプレイおよび 3D メガネ (3D Ready HDTV、HDMI 1.4-enabled TV、Micro-polarizer LCD、アナグリフ赤青メガネ)。デジタル出力用の HDCP 対応のディスプレイ。

動画出力

VR モード

- HDMI 1.4、DisplayPort 1.2。

ディスク ドライブ

- Ultra HD ブルーレイの再生:Ultra HD ブルーレイの再生認定済みの光学ディスク ドライブ。

- ブルーレイ ディスク再生:BD-ROM/BD-RE またはスーパー マルチ ブルー コンボ ディスク ドライブ。
- DVD および TrueTheater 3D 再生:DVD-ROM、DVD+-R/RW、DVD-RAM または DVD スーパー マルチ コンボ ディスク ドライブ。

インターネット接続

- ソフトウェア (初回) およびファイル形式のアクティブ化、Ultra HD ブルーレイムービー再生 (初回)、オンライン サービスを使用する場合に必要。

第 2 章:

PowerDVD メディア ライブラリー

PowerDVD のメディア ライブラリーは、コンピューターのハード ドライブと接続されたネットワーク デバイスから読み込まれたムービーやその他のメディア ファイルから構成されます。ムービー ディスクを再生したり、インターネットから最新のムービー情報にアクセスすることもできます。

メディア ライブラリーにすべてのメディアが表示されるようにするには、読み込み先を設定する必要があります。メディア ライブラリーへのムービーやその他メディア ファイルの読み込みに関する詳細は、[「メディア ライブラリーにメディアを読み込む」](#) を参照してください。

メディア ライブラリーに入れると、整理、再生、共有したりすることができます。メディア ライブラリーおよび各タブに関する詳細は、[「メディア ライブラリーの概要」](#) を参照してください。

メディア ライブラリーにメディアを読み込む

CyberLink PowerDVD の一回目の起動で、メディア ライブラリー ウィンドウのいずれかを開き、**[開始]** をクリックすると、コンピューターのハード ドライブおよび接続されたネットワーク デバイス中のムービーやその他のメディア ファイルをメディア ライブラリーに読み込むことができます。デフォルトでは、ダウンロード フォルダーと Windows メディア ライブラリー中のメディア ファイルが読み込まれます。

特定のフォルダーを読み込む場合、**[今すぐ追加]** のリンクをクリックして、[「メディア ライブラリーの基本設定」](#) ウィンドウを開きます。

メディア ライブラリーにムービーやその他のメディア ファイルが追加されたら、それらを再生したり、DLNA ネットワークやモバイル デバイスで共有したり、他のデバイスにストリーミングしたりすることができます。メディア ライブラリー

および機能に関する詳細は、[「メディアライブラリーの概要」](#)を参照してください。

注:メディアライブラリーにメディアを読み込まない場合は、[「マイコンピューター」](#)タブからコンピューターのハードドライブにアクセスすることができます。

メディアライブラリーの概要

[[メディアライブラリー](#)] タブをクリックすると、メディアライブラリーに読み込まれたメディアにアクセスしたり、ムービーディスクを再生したりすることができます。メディアライブラリーには、[「ムービー」](#)、[「動画」](#)、[「画像」](#)、[「音楽」](#)の4つのセクションがあります。

メディアライブラリーのメディア再生に関する詳細は、[「PowerDVDでメディアを再生する」](#)の関連セクションを参照してください。

メディアライブラリーのムービー

[[ムービー](#)] タブをクリックすると、ムービーディスク、ムービーファイルを再生したり、CyberLinkのムービー情報サービスから最新のムービー情報を取得することができます。[[ムービー](#)] タブには、[[ムービー情報](#)]、[[ムービーディスク](#)]、[[ムービーライブラリー](#)]、[[シリーズ動画](#)]の4つのセクションがあります。

▼ ムービー情報

[[メディアライブラリー](#)]の[[ムービー情報](#)] (iPower) セクションから、ムービー情報にアクセスすることができます (インターネット接続が必要)。メディアウィンドウで最新ムービーや他の情報を表示するには、 をクリックします。iPowerを使うと、視聴リストを収集、保留することができます。

▼ ムービー ディスク

 をクリックして、[ムービー] タブの [ムービー ディスク] セクションにアクセスします。ここでは、ビデオ ディスクを再生することができます。ディスク再生に関する詳細は、[「ムービー ディスクを再生する」](#) を参照してください。

▼ ムービー ライブラリー

 をクリックして [ムービー ライブラリー] セクションを開くと、ムービー ファイルにアクセスすることができます。ムービー ファイルは、コンピューターのハード ドライブに保存される DVD/ブルーレイ ディスク* フォルダー、DVD/ブルーレイ ディスク ISO* ファイル、個々の動画ファイル (PVR で録画されたムービー ファイル) です。[メディア ライブラリー] の [ムービー ライブラリー] セクションに読み込むと、ムービー カバー アートや評価情報などを表示することができます。詳細は、[「メディア ライブラリーのムービーを参照する」](#) を参照してください。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

ムービー ファイル再生に関する詳細は、[「ムービー ファイルを再生する」](#) を参照してください。

▼ シリーズ動画

[シリーズ動画] セクションでは、あらかじめ連番を含んだ名前の動画ファイルを再生することができます。  をクリックすると、ファイルにアクセス、整理、再生することができます。詳細は、[「シリーズ動画を参照する」](#)を参照してください。

メディア ライブラリーの動画

[動画] タブをクリックすると、メディア ライブラリーの動画ファイルを再生することができます。これらの動画は、[ムービー] ライブラリーに入れられないホームムービーや他のショートクリップも含まれます。詳細は、[「画像/動画フォルダーを参照する」](#)を参照してください。

動画ファイルの再生に関する詳細は、[「動画を再生する」](#)を参照してください。

メディア ライブラリーの画像

[画像] タブをクリックすると、メディア ライブラリー中の画像を表示することができます。これらの画像を一度に表示したり、スライドショーで再生したり、共有したり、プリントアウトすることができます。詳細は、[「画像/動画フォルダーを参照する」](#)を参照してください。

画像機能に関する詳細は、[「画像を表示する」](#)を参照してください。

メディア ライブラリーの音楽

[音楽] タブをクリックすると、メディア ライブラリーの音楽を再生することができます。ミュージック コレクションのアルバム アートを表示したり、プレイリストを作成したりすることもできます。ミュージック ライブラリー中の音声は、音楽であるとは限らず、CyberLink PowerDVD に対応するすべての音声形式が含まれます。詳細は、[「音楽を参照する」](#)を参照してください。

音楽再生機能に関する詳細は、[「音楽を再生する」](#)を参照してください。

第 3 章:

PowerDVD の作業領域

この章では、CyberLink PowerDVD の作業領域および機能を紹介します。
プログラムを起動すると、次のように表示されます。



A - メディア パネル、B - メディア ウィンドウ、C - メディア の検索、D - PowerDVD の
ラーニング センター と ヘルプ を開く、E - PowerDVD の設定、F - TV モード に切り替
え、G - メディア ウィンドウ ビュー、H - 再生コントロール

メディア パネル

メディア パネルでは、ムービー ディスク を再生したり、メディア ライブラリー
に読み込まれた画像、動画、ムービー ファイル、音楽 にアクセスすることができ
ます。メディア パネル からオンライン 動画 (YouTube や Vimeo) を再生したり、
ポータブル デバイス やメディア サーバー* (ホーム ネットワーク) のメディア を再
生したり、メディア プレイリスト を作成したり、サイバーリンク クラウド* にア
クセスしたりすることもできます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

メディア ライブラリー

メディア パネルの [メディア ライブラリー] タブをクリックすると、メディア ライブラリーに読み込まれたメディアにアクセスしたり、ムービー ディスクを再生したりすることができます。

詳細は、[「PowerDVD メディア ライブラリー」](#) を参照してください。

マイ コンピューター

[**マイ コンピューター**] タブをクリックすると、コンピューターのハード ドライブ、接続された USB デバイス、ネットワーク ドライブ、インストールされたクラウドストレージ サービス中のフォルダーを表示することができます。このタブには Windows エクスプローラーの [**コンピューター**] の内容 (デフォルトの Windows ライブラリー ショートカットを含む) が表示されます。ここでは、メディア ライブラリーに読み込まれていないメディアにアクセス、再生することができます。

注:CyberLink PowerDVD は、Dropbox、Google ドライブ、OneDrive クラウドストレージ サービスに対応しています。クラウドストレージ サービスのデスクトップ アプリがインストール、実行、同期されてることを確認して、[基本設定で有効](#) にしてください。

前回の続きから再生する (メディア ライブラリー以外の動画)

[**マイ コンピューター**] タブまたは [**CyberLink PowerDVD 19 で再生**] (Windows メニュー右クリック) から動画ファイルを再生する場合、PowerDVD を起動時に前回の続きから再生することができます。CyberLink PowerDVD のサムネイルの上にマウスを置きます。



最初から再生するには  を、前回の続きから再生するには  をクリックします。

プレイリスト

[プレイリスト] タブでは、音楽、動画、画像を含むメディアプレイリストを作成することができます。詳細は、[「メディアプレイリストを作成する」](#)を参照してください。

オンライン動画

メディアパネルの [オンライン動画]* タブでは、プログラムのインターフェイスから YouTube や Vimeo の動画を表示することができます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

この機能に関する詳細は、[「オンライン動画を再生する」](#)を参照してください。

サイバーリンク クラウド

[サイバーリンク クラウド]* タブをクリックすると、CyberLink のクラウドサービスに保存されたメディアを表示することができます。サイバーリンク クラウドを使ってメディアをバックアップすることで、どこからでもアクセスできるようになります。また、CyberLink Power Media Player を実行するポータブルデバイスからアップロードされたメディアにもアクセスできます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

サイバーリンク クラウドのメディアをストリーミングしたり、再生用にコンピューターにダウンロードすることができます。この機能に関する詳細は、[「サイバーリンク クラウドを利用する」](#) を参照してください。

デバイス&ホーム メディア (DLNA)

[デバイス&ホーム メディア (DLNA)] タブでは、ホーム Wi-Fi ネットワークに接続されているデバイスまたは DLNA のメディアにアクセスしたり、再生したりすることができます。メディア ライブラリー中のメディアを、USB ケーブルで接続された Android デバイスと同期することもできます。

ネットワークの共有メディア再生に関する詳細は、[「デバイス/ホーム メディア \(DLNA\) ネットワークで共有メディアを再生する」](#) を参照してください。または、接続した Android デバイスのメディア同期に関する詳細は、[「メディアをデバイスに同期する」](#) を参照してください。

メディア ウィンドウ

メディア ウィンドウには、すべてのメディア フォルダー、ファイル、コンテンツが表示されます。メディア パネルのタブを選択すると、メディア ウィンドウにメディア ファイルおよびフォルダーが表示されます。

注:メディア ウィンドウでメディアを参照、表示すると、プログラムを終了した位置が記録されます。再度 CyberLink PowerDVD を起動すると、表示していたメディアに戻ります。

メディア ライブラリーのムービーを参照する

[メディア ライブラリー] の [ムービー] タブの [ムービー ライブラリー] セクションでムービー ファイルを参照時に、ムービー カバー アートや評価情報などを表示することができます。ウィンドウ右上の下矢印をクリックして、**[最近再生したムービー 10]** または **[未再生のムービー]** を表示することもできます。

注:再生コントロールのズーム スライダー (インスタント スケール) を使って、ムービー カバー アートのサイズを変更することができます。メディア ライブラリーに最新のムービー ファイルが表示されない場合、 をクリックして更新します。

ライブラリーを参照時に、各ムービー ファイルの横にアイコンが表示されます。内容は次の通りです。

- - 未再生のムービー。
- ◐ - 途中まで再生されたムービー。
- ◑ - 以前再生されたムービー。

ムービー ファイルのカバー アートが表示されない場合、ムービー ファイルのフォルダーに画像ファイル (JPG または PNG 形式) を挿入して、「フォルダー」と名前を付け、カバー アートとして使用します。ムービー ファイルを右クリックして、**[カバー アートの設定]** を選択することもできます。[画像の選択] ダイアログで、カバー アートとして使用する画像をハード ドライブから選択します。

注:ライブラリーに間違ったムービー ファイルのカバー アートが表示される場合、それをクリックして **[オンライン情報の非表示]** を選択し、そのムービーと関連する情報を削除します。

メディア ウィンドウのムービー ファイル サムネイルを右クリックして **[ファイル保存先]** を選択すると、Windows エクスプローラーでフォルダーの場所が表示されます。メディア ライブラリー (およびコンピューターのハード ドライブ) からムービー ファイルを削除するには、ファイルを右クリックして **[ディスクから削除]** を選択します。

シリーズ動画を参照する

[メディア ライブラリー] の [シリーズ動画] セクションでコンテンツを参照時に、[シリーズ動画] に含まれる動画の再生状況を確認できます。

注:再生コントロールのズーム スライダー (インスタント スケール) を使って、シリーズ動画のカバー アートのサイズを変更することができます。メディア ライブラリーに最新のシリーズ動画が表示されない場合、 をクリックして更新します。

シリーズ動画は、タイトル、エピソードで自動的に整理されます。シリーズ動画が正常に表示されない場合、ファイルおよびフォルダー名を更新する必要があります。詳細は、[「シリーズ動画を整理する」](#)を参照してください。

ライブラリーを参照時に、各シリーズ動画のエピソード (第～話) の横にアイコンが表示されます。内容は次の通りです。

- - 未再生のエピソード。
- - 途中まで再生されたエピソード。
- - 以前再生されたエピソード。

シリーズ動画のカバー アートが表示されない場合、シリーズ動画のフォルダーに画像ファイル (JPG または PNG 形式) を挿入して、「フォルダー」と名前を付け、カバー アートとして使用します。シリーズ動画を右クリックして、**[カバーアートの設定]** を選択することもできます。[画像の選択] ダイアログで、カバーアートとして使用する画像をハード ドライブから選択します。

注:ライブラリーに間違ったシリーズ動画のカバー アートが表示される場合、それをクリックして**[オンライン情報の非表示]** を選択し、そのシリーズ動画と関連する情報を削除します。

メディア ウィンドウのシリーズ動画のサムネイルを右クリックして**[ファイル保存先]** を選択すると、Windows エクスプローラーでフォルダーの場所が表示されます。

画像/動画フォルダーを参照する

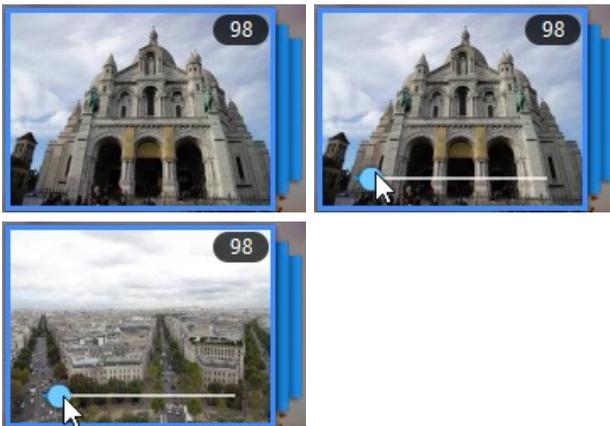
次のビューからメディア ウィンドウの画像/動画を参照することができます。ビューを変更するには、ウィンドウ右上の下矢印をクリックして、使用するものを選択します。

注:メディア ライブラリーに最新の画像/動画ファイルが表示されない場合、 をクリックして更新します。

- **リスト ビュー:**画像/動画、フォルダーがリストで表示されます。リストの見出しをクリックすることで簡単に並び替えができます。
- **フォルダー ビュー:**画像/動画、フォルダーがサムネイルで表示されます。サムネイルの大きさは変更できます。
- **カレンダー ビュー:**画像/動画がカレンダーで表示されます。メディアのタイムラインが表示されます。日付をダブルクリックすると、その日に取得された画像/動画が表示されます。

注:再生コントロールのズーム スライダーまたは [ジェスチャー コントロール](#) を使って、カレンダー ビューの表示月数を変更することができます。ウィンドウ上の年をクリックして、他の年のメディアを表示することもできます。 をクリックすると、今日取得されたメディアが表示されます。

フォルダー ビューで **[画像]** および **[動画]** タブのメディア フォルダーを参照時に、フォルダー サムネイルの上にマウスを置くと、スライダーをドラッグすることですべてのメディアをプレビューすることができます (インスタント ビュー)。



フォルダー中の画像/動画を表示するには、ダブルクリックします（他のオプションを表示するには右クリック）。

注:画像を 1 枚表示中に  をクリックすると、フォルダー中のすべての画像がインスタント フォト サムネイルに表示されます。CyberLink PowerDVD 以外のプログラムに画像を貼り付けるには、表示中に画像を右クリックして **[クリップボードにコピー]** を選択します。

動画やスライドショーを再生するには、メディア ウィンドウから選択して、**[再生]** ボタンをクリックします。

注:フォルダー中の画像/動画を右クリックして **[カバーとして設定]** を選択すると、フォルダーのサムネイル カバーとして設定されます。

メディア ウィンドウの動画/画像サムネイルを右クリックして **[ファイル保存先]** を選択すると、Windows エクスプローラーでフォルダーの場所が表示されます。メディア ライブラリー（コンピューターのハード ドライブからではなく）からメディア ファイルを削除するには、ファイルを右クリックして **[ライブラリーから削除]** を選択します。ライブラリーおよびコンピューターのハード ドライブから削除するには、**[ディスクから削除]** をクリックします。

注:再生コントロールのズーム スライダー（インスタントスケール）を使って、フォルダー/メディア サムネイルのサイズを変更することができます。

動画/フォト スライドショー再生に関する詳細は、[「PowerDVD でメディアを再生する」](#) を参照してください。

音楽を参照する

[音楽] タブでは、メディア ライブラリーに読み込まれた音楽のアルバム アートが表示されます（画像がある場合）。

注:再生コントロールのズーム スライダー (インスタントスケール) を使って、アルバム カバー アートのサイズを変更することができます。メディア ライブラリーに最新の音楽が表示されない場合、 をクリックして更新します。

アーティストで表示するには  を、メディア ライブラリー中の個々の曲を表示するには  をクリックします。アルバム ビューに戻るには  をクリックします。

メディア ウィンドウのアルバム、アーティスト、曲を右クリックして **[ファイル保存先]** を選択すると、Windows エクスプローラーに音楽ファイルの場所が表示されます。メディア ライブラリー (コンピューターのハード ドライブからではなく) から音楽を削除するには、ファイルを右クリックして **[ライブラリーから削除]** を選択します。ライブラリーおよびコンピューターのハード ドライブから削除するには、**[ディスクから削除]** をクリックします。

アルバム、アーティストの曲を表示するには、ダブルクリックします (他のオプションを表示するには右クリック)。曲を再生するには、メディア ウィンドウから選択して、**[再生]** ボタンをクリックします。音楽ファイルや他の音声再生に関する詳細は、[「音楽を再生する」](#) を参照してください。

タグを編集する

音楽のアルバム アートが表示されなかったり「アーティスト情報なし」と表示される場合、右クリックして **[タグの編集]** を選択し、編集します。

注:1 曲またはアルバム全体 (複数の音楽ファイルを選択) のタグを一度に変更することができます。

[タグの編集] ダイアログでは、**[アーティスト]**、**[アルバム]**、**[ジャンル]** の内容を変更できます。アルバム アートの部分は、アルバム アート ボックスをクリックして、ハード ドライブの画像を検索、選択します。**[保存]** をクリックすると、ミュージック ライブラリーの情報が更新されます。

注:音楽タグの編集機能は、AAC、MP3、FLAC 音声ファイルにのみ対応します。

動画から音声を抽出する

動画 (ムービー ファイルやビデオ クリップなど) からオーディオトラックのみを抽出して*、メディア ライブラリーに読み込むことができます。動画から音声を抽出するには、次の操作を行います。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

1. メディア ライブラリーから動画を選択します。ムービー ファイルやビデオ クリップ (個人的なもの) などから音声を抽出できます。
2. 音声を抽出する動画を右クリックして、**[音声の抽出]** を選択します。
3. **[音声の抽出]** ダイアログに、作成する音声ファイルの **[タイトル]** (名前) を入力します。**[アーティスト]**、**[アルバム]**、**[ジャンル]** の内容を変更します。

注:アルバム アートのボックスをクリックしてハード ドライブから画像を選択し、抽出する音声用のアルバム アートを追加することもできます。

4. **[その他設定]** ボタンをクリックして、抽出する音声を設定します。
 - **出力先ディレクトリー:**抽出する音声の保存先フォルダーを設定します。**[変更]** ボタンをクリックして、新しいフォルダーを選択します。

注:メディア ライブラリーに表示されるフォルダー以外を選択する場合、そのフォルダーは自動的に追加され、抽出された音声はメディア ライブラリーに出力されます。

- **形式:**抽出する音声の音声形式を選択します。
- **ビットレート:**抽出する音声の音質を設定します。

[OK] をクリックして、[その他設定] のダイアログを閉じます。

5. **[抽出]** ボタンをクリックし、音声を抽出して、メディア ライブラリーに読み込みます。

注:一度に2つ以上の動画から音声を抽出することができます。[音声の抽出] ダイアログの **[非表示]** ボタンをクリックして、前の手順を繰り返します。または、複数の動画ファイルを選択します。メディア ライブラリーの動画フォルダーを右クリックして、フォルダー中の全動画から一度に音声を抽出することもできます。

メディアを検索する

検索機能を使って、メディア ライブラリーから指定するメディアを検索することができます。

メディアを検索するには、次の操作を行います。

1. メディア ウィンドウの右上の検索フィールドに、キーワードを入力します。



2. 入力されたキーワードに基づいて、メディア ウィンドウのメディアがフィルターにかけられます。

注: **[x]** をクリックすると検索結果がクリアされ、ウィンドウにすべてのメディアが表示されます。

メディアを評価する

メディア ライブラリーでメディアを参照時に、各メディア ファイルを評価 (1 ~ 5 星) することができます。

メディアを評価するには、次の操作を行います。

1. 評価するメディア ファイルをメディア ライブラリーから選択します。

2. 評価するには、次のいずれかの操作を行います。
 - ムービー ファイルを再生中に停止ボタンをクリックして、ムービーの評価を行います。評価する星の上にマウスを置いて、星の数を選択します。
 - 動画、画像、音楽 (曲) ファイルを右クリックして、**[評価]** を選択して星を選びます。
 - **[評価]** 欄で、評価するメディア ファイルの上にマウスを置いて、星をクリックして評価します。



注:動画/画像の **[評価]** 欄は、リスト ビューで表示時のみ表示されます。音楽の **[評価]** 欄は、アルバムまたはアーティストのすべての曲を表示時に表示されます。

3D ソース形式を変更する

メディア ライブラリーに 3D* 動画および画像を読み込む場合、3D ソース ビデオ形式の変更が必要な場合があります。3D メディアは様々な異なるビデオ ソース形式からなるためです。3D を正確に表示するために、各 3D メディア ファイルのソース形式を知る必要があります。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

メディア ウィンドウ中の 3D メディアのソース形式を設定するには、次の操作を行います。

1. メディア ライブラリー中の 3D 動画ファイルまたは画像を右クリックします。
2. **[3D 形式の変更]** を選択します。
3. 次のいずれかを選択して、3D ソース形式を変更します。

- **自動検出:**3D メディアのソース形式がわからない時にこのアイテムを選択すると、3D メディアの形式が自動的に検出されます。
- **サイド バイ サイド形式:**3D コンテンツに 2 つの異なるイメージが左右に配置される場合、このオプションを選択します。2 つのイメージを合わせて、3D 効果が作り出されます。
- **オーバー アンダー形式:**3D コンテンツに 2 つの異なるイメージが上下に配置される場合、このオプションを選択します。2 つのイメージを合わせて、3D 効果が作り出されます。
- **2D 形式:**選択したメディア ファイルが 2D コンテンツの場合、このオプションを選択します。

360° 映写形式を設定する

メディアライブラリーに 360° 動画/画像を読み込む場合、映写形式の変更が必要な場合があります。360° メディア ファイルが未検出であっても、表示可能な形式で出力されている場合、360° 映写形式を手動で設定することができます。詳細は、[「360° 映写形式を設定する」](#)を参照してください。

PowerDVD のモード

メディアコンテンツは、PC モード、TV モード、VR モード、ミニプレーヤーモード* の 4 つのモードで再生できます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

PC モード

PC モードは CyberLink PowerDVD のメイン モードで、当ガイドで紹介する機能がすべて含まれます。

TV モード

TV モードは、リモコンを使って離れた場所 (3.5メートル程度) でムービーを再生するのに適したモードです。ウルトラブックやタブレットのタッチ スクリーンも利用できます。

VR モード

対応する VR (バーチャル リアリティ) ヘッドセットをお持ちの場合、[PowerDVD VR モード](#) で再生することができます。

ミニプレーヤー モード

[ムービー](#)、[シリーズ動画](#)、[動画](#)、[音楽](#)、[画像](#) を再生、表示中に、ミニプレーヤーを使うことができます。

TV モードに切り替える

TV モードに切り替えるには、タイトルバーの  ボタンをクリックします。ご自宅でホーム シネマのようにご利用いただけます。

注:TV モードでは、PC モードの一部の機能のみご利用いただけます。TV モード機能の詳細については、ヘルプ ファイルを参照してください。

PowerDVD の設定

 をクリックすると、いつでも CyberLink PowerDVD を設定することができます。オプション リストおよびカスタマイズ可能な機能に関する詳細は、[「PowerDVD の設定 - プレーヤーの設定」](#) および [「PowerDVD の設定 - 基本設定」](#) を参照してください。

再生コントロール

再生コントロールを使用すると、ディスクやメディア ライブラリー中のメディア ファイル、またプログラムの再生機能のすべてに簡単にアクセスできます。コントロールを使って、ライブラリーのメディアを共有することもできます。

メディア コントロールに関する詳細は [「再生コントロール」](#) を、YouTube、Vimeo、ネットワークのメディア共有に関する詳細は [「メディアを共有する」](#) を参照してください。

第 4 章:

PowerDVD でメディアを再生する

CyberLink PowerDVD は、ハイデフィニション コンテンツ、DVD、ムービーファイル、ホーム ビデオ、オーディオ CD、フォト スライドショー、音楽ファイルなど、各種デジタル メディアの再生が可能です。

ムービー ディスクを再生する

ビデオ ディスクをディスク ドライブにセットすると、自動的に再生が始まります。CyberLink PowerDVD を起動時にすでにディスクがドライブに入っている場合は、次の操作を行います。

注:対応するディスク形式は、[「対応するディスク形式」](#)を参照してください。Ultra HD ブルーレイを再生するには、PowerDVD 19 Ultra または Live、Windows 10、Ultra HD ブルーレイ対応の最新のハードウェア (コンピューターの CPU、GPU、マザーボード、ディスプレイ) が必要です。最新の最小システム要件は、当社の Web サイトをご覧ください。
https://jp.cyberlink.com/products/powerdvd-ultra/spec-ultra_ja_JP.html

1. [ムービー] タブをクリックして、 をクリックします。
2. [再生] ボタンをクリックします。

注:ムービー再生中に利用可能なコントロールの一覧および詳細は、[「ムービーディスクのコントロール」](#)を参照してください。ムービーをミニプレーヤーで再生することもできます。詳細は、[「ミニプレーヤーでムービーを再生する」](#)を参照してください。

オート レジューム (続きから再生)

DVD ディスクの再生中に CyberLink PowerDVD を停止または終了し、その後別のメディアまたはディスクを再生した場合でも、次回元のディスクを再生する際には、前回終了したシーンから再生することができます。

注:BD-J ブルーレイ ディスクは、オートレジューム機能には対応してません。

オート レジューム機能により、前回終了したシーンが記録されます。この機能には、次のオプションがあります。

- **[続きから再生]** をクリックすると、前回終了したシーンから再生が始まります。
- **[最初から再生]** をクリックすると、ディスクの最初から再生が始まります。

ディスク挿入時にダイアログが表示されないようにするには、オート レジュームの設定を無効にします。詳細は、[「全般の設定」](#)の「**オート レジューム (続きから再生) 設定**」セクションを参照してください。

対応するディスク形式

CyberLink PowerDVD が対応する光学ディスク形式は、次の通りです。

光学ディスクの種類	ファイル形式
Ultra HD ブルーレイ*	BDMV
ブルーレイ ディスク*/ブルーレイ 3D** ディスク	BDAV, BDMV
DVD	DVD-Video, AVCHD*, AVCREC*, DVD-VR, DVD+VR
CD	VCD, SVCD

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。 ** ブルーレイ 3D 再生対応のエディションでは、設定で再生を有効にする必要があります。詳細は、[「ブルーレイディスクのその他の設定」](#)の「**その他**」セクションを参照してください。

ディスクメニューにアクセスする

CyberLink PowerDVD でディスクを再生中に、様々な方法（タイトル、ルート、チャプター、音声メニュー）でディスクメニューにアクセスすることができます。

ブルーレイディスク* のポップアップメニューや DVD-VR ディスクのメニューにもアクセスできます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

▼ 市販ディスクのメニュー

市販ディスクを再生中にプログラムの複数の場所から [タイトルメニュー]、[ルートメニュー] (特定機能向け)、[字幕メニュー]、[音声メニュー]、[アングルメニュー]、[チャプターメニュー] にアクセスできます。

注:ディスクのタイトルによっては、ルートメニュー以外のメニューにアクセスできないものもあります。この場合、ルートメニューから各設定にアクセスする必要があります。

メニュー アイテムにアクセスする方法は、次の通りです。

- DVD を再生中に再生コントロールの  をクリックして、[タイトルメニュー] または [ルートメニュー] のどちらかを選択します。

- 再生中に再生コントロールの  をクリックして、[メニュー選択] を選択します。表示されるディスク タイトルのメニューは、ディスクの作成方法によって異なります。
- 再生中にメディア ウィンドウを右クリックして [エクスプレス メニュー] を表示し、[メニュー選択] を選択します。

注:ディスクを再生中にディスク メニューを表示し、その後再度再生する場合は、メディア ウィンドウを右クリックして、[続きから再生] を選択すると、直前のシーンに戻ります。再生を停止した場合、メニューから [続きから再生] を選択することはできません。

▼ ブルーレイ ディスクのポップアップ メニュー

ブルーレイ ディスク* タイトルのほとんどで、再生中にポップアップ メニューから、シーン選択や他の機能にアクセスできます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

再生中のブルーレイ ディスク タイトルでポップアップ メニューが利用可能な場合、次のいずれかを実行してアクセスします。

- 再生中に、再生コントロールの  ボタンをクリックします。
- 再生中に、キーボードの [M] キーを押します。

ブルーレイ ディスク マウス ソリューション

一部のブルーレイ ディスク タイトルでは、マウスを使ってポップアップ メニューを操作することはできません。ブルーレイ ディスクを再生中は、ディ

スクを再生中に  をクリックして [拡張機能] を開き、ナビゲーション コントロールでポップアップメニューを操作します。

▼ DVD-VR 形式でメニューを使用する

DVD-VR 動画形式のディスクでは、[プログラム セット ビューアー] からメニューにアクセスできます。

1. 再生コントロールの  をクリックします。
2. [プログラム セット ビューアー] を選択して、各タイトルやチャプターの最初のフレームを表示します。
3. タイトル/チャプターのサムネイルをクリックして再生を開始するか、[閉じる] をクリックしてビューアーを閉じます。

注:プレイリストがあれば、ここで表示することもできます。

ムービー ファイル/シリーズ動画を再生する

[ムービー] タブをクリックし、 からメディア ライブラリーのムービーファイルを再生したり、 からシリーズ動画を再生することができます。

注:対応する動画ファイル形式は、[「対応するムービー ファイル/シリーズ動画の形式」](#)を参照してください。

ムービー ファイルはコンピューターのハード ドライブに保存されるディスク フォルダーおよび個々の動画ファイルです。シリーズ動画は連番を含む名前の ファイルを順番に再生できます。

注:ムービー ファイル/シリーズ動画を再生中に利用可能なコントロールおよび再生機能は、[「動画の再生コントロール」](#)を参照してください。ミニ プレーヤーでムービー ファイルおよびシリーズ動画を再生することもできます。詳細は、[「ミニプレーヤーで動画を再生する」](#)を参照してください。

オート レジューム (続きから再生)

メディア ライブラリーのムービー ファイルを再生中に CyberLink PowerDVD を停止、終了し、その後それらの動画ファイルを再生する場合、前回終了したシーンから再生することができます。

注:オート レジューム (続きから再生) 機能は、ハード ドライブ中の DVD ファイルでも利用できます (IFO ファイルが存在し、メディア ライブラリーに入っている場合)。

オート レジューム機能により、前回終了したシーンが記録されます。この機能には、次のオプションがあります。

- **[続きから再生]** をクリックすると、前回終了したシーンから再生が始まります。
- **[最初から再生]** をクリックすると、ムービー ファイルの最初から再生が始まります。

対応するムービー ファイル/シリーズ動画の形式

CyberLink PowerDVD が対応するムービー ファイル/シリーズ動画の形式は、次の通りです。

ムービー ファイル形式:264, 265*, 26L, 3G2, 3GP, 3GP2, 3GPP, ASF, AVC, AVI, BSF*, DIV, DIVX*, DVR-MS, FLV, H264*, H265*, HEVC*, JSV, JVT, M1V, M2P,

M2T, M2TS, M2V, M4V, MK3D*, MKV, MOD, MOV (H.264/alpha PNG*), MP4, MP4V, MPE, MPEG, MPG, MPV, MTS, MVC*, QT, TOD, TP, TPD, TRP, TS, TTS, VC1*, VOB, VRO, WEBM* (VP9+Opus) (VP9+Vorbis), WM, WMV, WTV。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

ムービー ファイルを再生する

ムービー ファイルを再生するには、次のいずれかを実行します。

- CyberLink PowerDVD のユーザー インターフェイスまたは PowerDVD のデスクトップアイコンに、ムービー ファイルを直接ドラッグ&ドロップします。
- メディア ライブラリーのムービー ファイルを再生するには、メディア パネルの **[ムービー]** から  を選択します。ムービー ファイルが含まれるフォルダーを参照し、ムービー ファイルをダブルクリックして、再生を開始します。
- メディア ライブラリーに入っていない DVD/ブルーレイ フォルダー* を再生するには、 をクリックしてフォルダーを参照、選択し、再生ボタンをクリックします。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

- ハードドライブ中のムービー ファイルを再生するには、メディア パネルの **[マイ コンピューター]** タブをクリックして、ムービー ファイルを含むフォルダーを検索します。ムービー ファイルをダブルクリックすると、再生が開始します。

注:[\[マイ コンピューター\]](#) タブから再生したムービー ファイルも、前回の続きから再生できます。詳細は、[「前回の続きから再生する \(メディア ライブラリー以外の動画\)」](#) を参照してください。

- CyberLink PowerDVD がムービー ファイルのデフォルト プレーヤーの場合 ([「ファイルの関連付け」](#) を参照)、Windows エクスプローラーのファイルをダブルクリックすると再生が開始されます。

注:ネットワーク (DLNA/DTCP-IP) メディア サーバーからムービー ファイルを再生することもできます。ネットワークのメディア再生に関する詳細は、[「デバイス/ホームメディア \(DLNA\) ネットワークで共有メディアを再生する」](#) を参照してください。

シリーズ動画を再生する

シリーズ動画を再生するには、次のいずれかの操作を行います。

- CyberLink PowerDVD のユーザー インターフェイスまたは PowerDVD のデスクトップアイコンに、シリーズ動画を直接ドラッグ&ドロップします。
- メディア ライブラリーのシリーズ動画を再生するには、メディア パネルの **[ムービー]** から  を選択します。シリーズ動画が含まれるフォルダーを参照し、シリーズ動画をダブルクリックして、再生を開始します。
- ハード ドライブ中のシリーズ動画を再生するには、メディア パネルの **[マイ コンピューター]** タブをクリックして、シリーズ動画が含まれるフォルダーを検索します。シリーズ動画をダブルクリックすると、再生が開始します。

注:[\[マイ コンピューター\]](#) タブから再生したシリーズ動画も、前回の続きから再生できます。詳細は、[「前回の続きから再生する \(メディア ライブラリー以外の動画\)」](#) を参照してください。

- CyberLink PowerDVD がシリーズ動画のデフォルト プレーヤーの場合 ([「ファイルの関連付け」](#) を参照)、Windows エクスプローラーのファイルをダブルクリックすると再生が開始されます。

注:ネットワーク (DLNA/DTCP-IP) メディア サーバーからシリーズ動画を再生することもできます。ネットワークのメディア再生に関する詳細は、[「デバイス/ホームメディア \(DLNA\) ネットワークで共有メディアを再生する」](#)を参照してください。

動画を再生する

メディア パネルの **[動画]** セクションをクリックすると、メディア ライブラリー中の動画ファイルを再生することができます。

注:動画ファイルを再生中に利用可能なコントロールおよび再生機能は、[「動画の再生コントロール」](#)を参照してください。動画ファイルをミニプレーヤーで再生することもできます。詳細は、[「ミニプレーヤーで動画を再生する」](#)を参照してください。

対応する動画形式

CyberLink PowerDVD が対応する動画形式は、次の通りです。

動画形式:264, 265*, 26L, 3G2, 3GP, 3GP2, 3GPP, ASF, AVC, AVI, BSF*, DIV, DIVX*, DVR-MS, FLV, H264*, H265*, HEVC*, JSV, JVT, M1V, M2P, M2T, M2TS, M2V, M4V, MK3D*, MKV, MOD, MOV (H.264/alpha PNG*), MP4, MP4V, MPE, MPEG, MPG, MPV, MTS, MVC*, QT, TOD, TP, TPD, TRP, TS, TTS, VC1*, VOB, VRO, WEBM* (VP9+Opus) (VP9+Vorbis), WM, WMV, WTV。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

動画を再生する

動画ファイルを再生するには、次のいずれかを実行します。

- CyberLink PowerDVD のユーザー インターフェイスまたは PowerDVD のデスクトップ アイコンに、動画ファイルを直接ドラッグ&ドロップします。

- メディア ライブラリーの動画ファイルを再生するには、メディア パネルの **[動画]** を選択して、動画を含むフォルダーを検索します。動画ファイルをダブルクリックすると、再生が開始します。
- ハード ドライブ中の動画ファイルを再生するには、メディア パネルの **[マイ コンピューター]** タブをクリックして、動画ファイルを含むフォルダーを検索します。動画ファイルをダブルクリックすると、再生が開始します。

注:[\[マイ コンピューター\] タブから再生した動画ファイルも、前回の続きから再生できます。](#) 詳細は、[「前回の続きから再生する \(メディア ライブラリー以外の動画\)」](#) を参照してください。

- CyberLink PowerDVD が動画ファイルのデフォルト プレーヤーの場合 ([「ファイルの関連付け」](#) を参照)、Windows エクスプローラーのファイルをダブルクリックすると再生が開始されます。

注:ネットワーク (DLNA/DTCP-IP) メディア サーバーから動画ファイルを再生することもできます。ネットワークのメディア再生に関する詳細は、[「デバイス/ホーム メディア \(DLNA\) ネットワークで共有メディアを再生する」](#) を参照してください。

画像を表示する

[画像] セクションをクリックして、メディア ライブラリー中の画像を表示したり、スライドショーで再生したりします。

注:画像、スライドショーを表示中に利用可能なコントロールおよび再生機能は、[「画像のコントロール」](#) を参照してください。画像をミニ プレーヤーで表示することもできます。詳細は、[「ミニ プレーヤーで画像を表示する」](#) を参照してください。

対応する画像形式

CyberLink PowerDVD が対応する画像形式は、次の通りです。

画像形式:ARW, BMP, CR2, CRW, DCR, DNG, ERF, GIF, GIF (89a), HEIF (.HEIC)*, JPEG, JPG, JPS*, KDC, MEF, MPO*, MRW, NEF, ORF, PEF, PNG, RAF, RAW, RW2, SR2, SRF, TIF, TIFF, X3F。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

フォト スライドショーを再生する

フォト スライドショーを再生するには、次のいずれかを実行します。画像を表示するには、ダブルクリックします。

注:CyberLink PowerDVD で音楽を再生している場合は、画像やスライドショーの表示中も再生を継続します。ムービー、動画、スライドショー、音楽を再生中も、ハードドライブにアクセスして画像を表示することもできます (右クリックして **[CyberLink PowerDVD 19 で再生]** を選択)。

- CyberLink PowerDVD のユーザー インターフェイスまたは PowerDVD のデスクトップアイコンに画像を直接ドラッグ&ドロップして、[再生] ボタンをクリックします。
- メディアライブラリーのスライドショーを再生するには、メディアパネルの **[画像]** を選択して、画像を含むフォルダーを検索します。画像を選択して [再生] ボタンをクリックすると、フォルダー中の全画像を含むスライドショーが再生されます。
- ハードドライブ中のスライドショーを再生するには、メディアパネルの **[マイ コンピューター]** タブをクリックして、画像ファイルを含むフォルダーを検索します。画像を選択して [再生] ボタンをクリックすると、フォルダー中の全画像を含むスライドショーが再生されます。

注:ネットワーク (DLNA/DTCP-IP) メディア サーバーからフォト スライド ショーを再生することもできます。ネットワークのメディア再生に関する詳細は、[「デバイス/ホームメディア \(DLNA\) ネットワークで共有メディアを再生する」](#)を参照してください。

音楽を再生する

[音楽] セクションをクリックすると、メディア ライブラリー中のオーディオ CD を再生することができます。

注:音楽再生中に利用可能なコントロールおよび再生機能は、[「音楽のコントロール」](#)を参照してください。音楽をミニプレーヤーで再生することもできます。詳細は、[「ミニプレーヤーで音楽を再生する」](#)を参照してください。

対応する音声形式

CyberLink PowerDVD が対応する音声形式は、次の通りです。

光学ディスクの種類	ファイル形式
CD	音声、カラオケ

音声ファイル形式:AAC, AC3, ADTS, ALAC, AOB, APE, DSD Audio* (DSF, DFF), DTS, FLAC, M4A, MID, MKA, MP2, MP3, MPA, OGG, RMI, WAV, WMA。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

オーディオ ディスクとライブラリーの音楽を再生する

音声を再生するには、次のいずれかを実行します。

注:CyberLink PowerDVD で音楽を再生する場合、画像/スライドショーを表示中や、他のタブでメディアを閲覧中も、再生は継続されます。ムービーファイル、動画、ムービー ディスクの再生を開始すると、音楽の再生は停止します。

- ディスク ドライブにオーディオ CD を挿入すると、再生が自動的に開始します。CyberLink PowerDVD を起動時に、すでにドライブにディスクが入っている場合は、メディア パネルの **[マイ コンピューター]** タブをクリックして、ディスク ドライブを検索、選択し、**[再生]** をクリックすると再生が開始されます。

注:CD の音声をコンピューターのハード ドライブに取り込むことができます。詳細は、[「CD から音声を取り込む」](#)を参照してください。

- CyberLink PowerDVD のユーザー インターフェイスに、音声ファイルを直接ドラッグ&ドロップします。
- メディア ライブラリーの音声ファイルを再生するには、メディア パネルの **[音楽]** を選択して、音声を含むフォルダーを検索します。音声ファイルをダブルクリックすると、再生が開始します。
- ハード ドライブ中の音声ファイルを再生するには、メディア パネルの **[マイ コンピューター]** タブをクリックして、音声ファイルを含むフォルダーを検索します。音声ファイルをダブルクリックすると、再生が開始します。

注:ネットワーク (DLNA/DTCP-IP) メディア サーバーから音声ファイルを再生することもできます。ネットワークのメディア再生に関する詳細は、[「デバイス/ホームメディア \(DLNA\) ネットワークで共有メディアを再生する」](#)を参照してください。

CD から音声を取り込む

CyberLink PowerDVD を使って、CD から音声を取り込む* ことができます。オーディオ CD を取り込むには、次の操作を行います。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

1. ディスクトレイにオーディオ CD を入れて、閉じます。
2. メディアパネルの **[音楽]** を選択して、CD のトラックを表示します。
3. **[CD の取り込み]** ボタンをクリックします。
4. **[CD の取り込み]** ダイアログに表示されるアーティストやアルバム情報を確認します。**[アーティスト]**、**[アルバム]**、**[ジャンル]** の内容を変更します。

注:アルバムアートが表示されない場合、アルバムアートボックスをクリックして、ハードドライブの画像を検索、選択します。

5. トラック名横のチェックボックスを選択して、オーディオ CD から取り込むトラックを選択します。
6. **[その他設定]** ボタンをクリックして、取り込む音声を設定します。
 - **出力先ディレクトリー:**取り込む音声の保存先フォルダーを設定します。**[変更]** ボタンをクリックして、新しいフォルダーを選択します。

注:メディアライブラリーに表示されるフォルダー以外を選択する場合、そのフォルダーは自動的に追加され、取り込まれた音声はメディアライブラリーに出力されます。

- **形式:**取り込む音声の音声形式を選択します。
- **ビットレート:**取り込む音声の音質を設定します。
[OK] をクリックして、**[その他設定]** のダイアログを閉じます。

7. **[取り込み]** ボタンをクリックし、CD から音声を取り込んで、メディア ライブラリーに読み込みます。

カラオケ ディスクを再生する

CyberLink PowerDVD を使用して、カラオケの DVD や VCD を再生することができます。再生を始める前に、DVD/VCD のケースにカラオケ マークがついていることを確認してください。

▼ カラオケ オプションを選択する

1. カラオケ ディスクを挿入したら、マイクが正しく取り付けであることを確認してください。
2. **[再生]** ボタンをクリックして、メニュー画面を表示します。
3.  をクリックして **[拡張機能]** を選択し、メニューパッドのナビゲーション ボタンを使用するか、マウスでクリックして曲を選択します。
4. 再生中に **[拡張機能]** の  ボタンをクリックするか、エクスプレスメニュー (画面を右クリック) から **[カラオケ]** を選択します。
5. **[左]** または **[右]** (左 + 右) のボーカル チャンネルから選択します。
6. カラオケ VCD を再生する場合、エクスプレスメニューで声と音楽のミキシングに適した音声チャンネルを選択します。

▼ ピッチの調整

カラオケのピッチは **[ピッチの調整]** 機能で調節します。

ピッチを調節するには、次の操作を行います。

1. **[拡張機能]** にある  ボタンを右クリックします。

2. **[ピッチの調整]** を選択し、ピッチを調整します。

サイバーリンク クラウド中のメディアを再生する

CyberLink PowerDVD を使って、サイバーリンク クラウド* に保存されるメディアを再生することができます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。CyberLink PowerDVD の一部のエディションのユーザーは、サイバーリンク クラウド サービスのサブスクリプションを 1 年間無料でご利用いただけます。

サイバーリンク クラウドおよびメディアのアップロードに関する詳細は、[「サイバーリンク クラウドを利用する」](#) を参照してください。

サイバーリンク クラウド中のメディア

サイバーリンク クラウドには、ポータブル デバイスからアップロードされたメディアや、CyberLink PowerDVD を実行するコンピューターから転送されたメディアが含まれます。このメディアは、CyberLink Power Media Player を実行するポータブル デバイスや CyberLink PowerDVD (デスクトップバージョン) を実行するコンピューターからも再生できます。

[サイバーリンク クラウド] タブをクリックするとメディアが表示され、サイバーリンク クラウドの **[動画]**、**[画像]**、**[音楽]** フォルダーにアップロードされたメディアを再生することができます。コンピューターからサイバーリンク クラウドにメディアをアップロードする方法は、[「サイバーリンク クラウドにメディアをアップロードする」](#) を参照してください。

▼ 動画

[**動画**] をクリックすると、サイバーリンク クラウドにアップロードされたすべての動画ファイルが表示されます。 をクリックするとフォルダーごとに動画が表示され、 をクリックするとアップロードされた動画のプレイリストが表示されます。ポータブル デバイスからアップロードされた動画ファイルを表示するには、[**モバイル アップロード**] フォルダーをダブルクリックします。

注:サイバーリンク クラウドに保存された動画を再生する場合、動画はサーバーからストリーミングされます (ソース動画が次のファイル形式の場合)。MP4, M2TS, MTS, TS, MKV, MPG。

▼ 画像

[**画像**] をクリックすると、サイバーリンク クラウド中の画像が表示されます。 をクリックするとフォルダーごとに画像が表示され、 をクリックするとアップロードされたフォト スライドショーのプレイリストが表示されます。ポータブル デバイスからアップロードされた画像を表示するには、[**モバイル アップロード**] フォルダーをダブルクリックします。

サイバーリンク クラウドに保存される画像を右クリックして [**リンクを共有**] を選択すると、他の人と画像を共有することができます。リンク (すべての人が表示可能) がクリップボードにコピーされます。このリンクをメール、ソーシャル メディア サイトなどに貼り付けて、共有します。

▼ 音楽

[**音楽**] をクリックすると、サイバーリンク クラウドにアップロードされた音楽が表示されます。タイトルですべての音楽を表示するには  をク

リックします。アーティスト 、アルバム  別に音楽を表示することもできます。または  をクリックすると、作成、アップロードされたプレイリストが表示されます。

サイバーリンク クラウド中のメディアを再生する

サイバーリンク クラウドのメディア ファイルを再生するには、次の操作を行います。

注:サイバーリンク クラウドに保存されるメディアを再生する場合、再生中のメディア種類によって、再生コントロールの表示形式は異なります。各メディアを再生中に利用可能なコントロールおよび再生機能は、[「再生コントロール」](#) を参照してください。

1. メディア パネルの **[サイバーリンク クラウド]** タブをクリックします。
2. **[動画]**、**[画像]**、**[音楽]** のいずれかを選択して、再生するメディア ファイルかプレイリストをブラウズします。
3. メディア ファイルをダブルクリックすると、再生が開始します。複数のファイルを再生するには、それぞれのファイルを選択して **[再生]** ボタンをクリックします。

注:サイバーリンク クラウドのサーバーからメディア ファイルをダウンロードする必要があるため、メディアの再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。動画 (MP4, M2TS, MTS, TS, MKV, MPG 形式) を再生する場合、サイバーリンク クラウドから動画がストリーミングされます。

サイバーリンク クラウドからメディアをダウンロードする

サイバーリンク クラウドに保存されるメディアをコンピューターにダウンロードすることができます。

注: [「サイバーリンク クラウドの設定」](#) から、コンピューターのダウンロード先フォルダーを設定できます。

サイバーリンク クラウドからメディアをダウンロードするには、次の操作を行います。

1. **[サイバーリンク クラウド]** タブをクリックして、ダウンロードするメディアの種類 (**[動画]**、**[画像]**、**[音楽]**) を選択します。
2. ダウンロードするメディア フォルダーまたはフォルダー中のメディア ファイルを選択します。
3. ウィンドウ右下の  ボタンをクリックして、選択したフォルダー/ファイルをダウンロードします。
4. ダウンロードが完了したら、**[OK]** をクリックします。

メディア プレイリストを作成する

[プレイリスト] セクションでは、音楽、動画、画像を含むプレイリストを作成することができます。**[マイ コンピューター]** タブまたは Windows ファイル エクスプローラーからフォルダー、ファイルをドラッグ&ドロップして、メディア ライブラリーに入っていないメディアをプレイリストに追加することもできます。

注:音楽、動画、画像はすべて同じメディア プレイリストに追加することができますが、オーディオ CD からトラックを追加することはできません。

カスタムのメディア プレイリストを作成するには、次の操作を行います。

1. メディア パネルの **[プレイリスト]** タブで、**[新規プレイリスト]** をクリックします。
2. 新しいプレイリストの **[名前]** を入力して、**[OK]** をクリックします。
3. プレイリストに追加するメディアを検索します。[マイ コンピューター] タブまたは Windows ファイル エクスプローラーからフォルダーとファイルを直接追加することもできます。
4. プレイリストにメディアを追加するには、メディア パネルの **[プレイリスト]** セクションのプレイリスト名にドラッグ&ドロップします。メディア ライブラリーのメディア ファイルを右クリックして **[追加先]** を選択し、プレイリストに追加することもできます。
5. 作成したプレイリストを他の位置にドラッグ&ドロップして、順序を変えることもできます。

注:マウスを **[プレイリスト]** セクションの上に置き、 をクリックして、作成したプレイリストを M3U、M3U8、PLS 形式で書き出します。プレイリストを選択して  をクリックして、リストから削除します。

スマート プレイリスト

メディア ライブラリーのメディアは、自動的にスマート プレイリストとして作成されます。スマート プレイリストは他のプレイリスト同様、**[プレイリスト]** セクションに表示されます。

スマート リストには次の内容が含まれます。

- **最高評価:**ライブラリー中のメディアで最高評価のものが表示されます。メディア評価に関する詳細は、[「メディアを評価する」](#) を参照してください。
- **最近再生:**最近再生された動画、音楽、画像が表示されます。
- **最近追加:**ライブラリーに最近読み込まれたメディアが表示されます。

プレイリストを読み込む

CyberLink PowerDVD 以外で作成されたプレイリスト (Windows Media Player で作成された WPL のプレイリストなど) を読み込むことができます。

注:プレイリストを読み込んでも、メディア ファイルは同時に読み込まれません。[「メディア ライブラリーの基本設定」](#)を参照して、プレイリストを読み込む前に、すべてのメディア ファイルが読み込まれていることを確認してください。

プレイリストを読み込むには、次の操作を行います。

注:プレイリストは、M3U、M3U8、PLS、WPL 形式で読み込むことができます。

1. メディア パネルの [**プレイリスト**] タブの上にマウスを置き、 をクリックします。
2. [**読み込み**] を選択します。
3. 読み込みを行うプレイリスト ファイルをコンピューターの中から検索、選択します。
4. [**開く**] をクリックして、プレイリストを読み込みます。

メディア プレイリストを再生する

メディア プレイリストには、音楽、動画、画像の3種類のメディアを含めることができます。プレイリスト中のメディアを再生するには、次の操作を行います。

1. メディア パネルから再生したいプレイリストを選択して、[再生] ボタンをクリックします。
2. プレイリスト中のファイルがすべて再生されます。
3. ボタンを使って、プレイリストの再生をコントロールします。コントロールに関する詳細は、[「再生コントロール」](#)を参照してください。

オンライン動画を再生する

CyberLink PowerDVD から、YouTube や Vimeo の動画を再生することができます。[オンライン動画] タブを選択して、ソーシャルメディア Web サイトの動画を再生します。

YouTube の動画を再生する

[オンライン動画] タブから、YouTube* の動画 (4K、HDR、360° 動画、ライブ映像を含む) を直接再生することができます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

YouTube の動画を再生するには、次の操作を行います。

1. メディア パネルの [オンライン動画] セクションの [YouTube] を選択します。

注: YouTube セクションの上にマウスを置いて  をクリックすると、YouTube アカウントにサインできます。これにより、登録チャンネル、お気に入り、アップロード済みの動画を再生することができます。

2. メディア ウィンドウ上のタブを使って YouTube の動画をフィルターにかけたり、検索ワードを入力して、動画を検索することができます。
3. 動画を選択し、[再生] ボタンをクリックして再生を開始します。YouTube 動画再生時の再生コントロールに関する詳細は、[「動画の再生コントロール」](#)を参照してください。
4. YouTube の動画を再生中に、画質を設定することができます。  ボタンをクリックして、[画質] から希望の解像度を選択します。

注: 表示される画質オプションは、YouTube で表示可能な画質によって異なります。

YouTube 動画をピン留めする

[YouTube] セクションのタブで動画を参照中に、後で再生したい動画をピン留めすることができます。これらの動画は、インターネットに接続していない時も再生が可能です。

YouTube 動画をピン留めするには、次の操作を行います。

1. メディア ウィンドウから、ピン留めする YouTube 動画を検索します。
2. 次のいずれかを行います。
 - ビデオ サムネイルの上にマウスを置き、 をクリックします。
 - ビデオ サムネイルを右クリックして、**[ピン留め]** を選択します。
3. ピン留め動画用の画質を選択します。
4. ダイアログが表示されたら、**[OK]** をクリックします。

ピン留めされた YouTube 動画を再生する

ピン留めされた動画を再生するには、**[オンライン動画]** の **[YouTube]** を選択して、 を選択します。再生する動画を選択して、再生ボタンをクリックします。

注:ピン留めされた YouTube 動画を再生中に、外部字幕を読み込む ことができます。

YouTube 動画再生時の再生コントロールに関する詳細は、「動画の再生コントロール」 を参照してください。

注:**[ピン留め動画]** タブ上の YouTube 動画は、ドラッグして再生順序を変更することができます。

ピン留めされた YouTube 動画から音声を抽出する

ピン留めされた YouTube 動画からオーディオトラックのみを抽出して、メディアライブラリーに読み込むことができます。ピン留めされた YouTube 動画から音声を抽出するには、次の操作を行います。

1. **[オンライン動画]** の **[YouTube]** を選択し、ドロップダウンから  を選択します。
2. 音声を抽出する動画を右クリックして、**[音声の抽出]** を選択します。
3. **[音声の抽出]** ダイアログに、作成する音声ファイルの **[タイトル]** (名前) を入力します。**[アーティスト]**、**[アルバム]**、**[ジャンル]** の内容を変更します。

注:アルバム アートのボックスをダブルクリックしてハードドライブから画像を選択し、抽出する音声用のアルバム アートを追加することもできます。

4. **[その他設定]** ボタンをクリックして、抽出する音声を設定します。
 - **出力先ディレクトリー:**抽出する音声の保存先フォルダーを設定します。**[変更]** ボタンをクリックして、新しいフォルダーを選択します。

注:メディアライブラリーに表示されるフォルダー以外を選択する場合、そのフォルダーは自動的に追加され、抽出された音声はメディアライブラリーに出力されます。

- **形式:**抽出する音声の音声形式を選択します。
 - **ビットレート:**抽出する音声の音質を設定します。
- [OK]** をクリックして、**[その他設定]** のダイアログを閉じます。
5. **[抽出]** ボタンをクリックし、音声を抽出して、メディアライブラリーに読み込みます。

Vimeo の動画を再生する

[オンライン動画] タブから、Vimeo* の動画 (360° 動画を含む) を直接再生することができます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

Vimeo の動画を再生するには、次の操作を行います。

1. メディアパネルの **[オンライン動画]** セクションの **[Vimeo]** を選択します。
2. アカウントにサインインすると、マイ動画やお気に入りなどを表示することができます。

注:動画を再生するには、Vimeo のアカウントが必要です。ない場合、**[Vimeo にサインアップ]** リンクをクリックして、**[Vimeo アカウント認証]** ウィンドウを開きます。

3. メディア ウィンドウ上のタブから Vimeo の動画をフィルターにかけます。
4. 動画を選択し、**[再生]** ボタンをクリックして再生を開始します。Vimeo 動画再生時の再生コントロールに関する詳細は、[「動画の再生コントロール」](#) を参照してください。
5. Vimeo の動画を再生中に、画質を設定することができます。  ボタンをクリックして、**[画質]** から希望の解像度を選択します。

注:表示される画質オプションは、Vimeo で表示可能な画質によって異なります。

デバイス/ホームメディア (DLNA) ネットワークで共有メディアを再生する

ネットワーク (DLNA, DTCP-IP) メディア サーバー* またはデバイス (Power Media Player または PowerDVD Remote がインストールされたもの) から共有された動画、音楽、画像を再生することができます。

注: ネットワークまたはデバイスから共有メディアを再生する場合、再生中のメディア種類によって、再生コントロールの表示形式は異なります。各メディアを再生中に利用可能なコントロールおよび再生機能は、[「再生コントロール」](#)を参照してください。* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

CyberLink アプリ (デバイス向け) を設定する

デバイスからメディアにアクセス、再生可能なアプリを 2 つご利用いただけます。

- **Power Media Player:** Android および iOS デバイスに対応しています。Power Media Player を使ってデバイスのメディアにアクセスし、コンピューターの CyberLink PowerDVD で再生することができます。CyberLink PowerDVD で共有されるメディアを再生することもできます (同じ Wi-Fi ネットワークに接続する場合)。
- **PowerDVD Remote:** Android および iOS のスマートフォンに対応します。デバイス中のメディアを再生することができます。PowerDVD Remote を CyberLink PowerDVD のリモコン代わりに使うこともできます。詳細は、[「PowerDVD Remote で再生をコントロールする」](#)を参照してください。

▼ Power Media Player を設定する

Power Media Player は、iOS および Android デバイスで実行可能な CyberLink のプログラムです。動画、音楽、画像をコンピューターからデバイスにワイヤレスでストリーミングしたり、デバイスから PC のすべてのメディアにアクセスすることができます。Power Media Player* は、Apple App Store または Google Play から入手することができます。

注:Power Media Player の機能リストや詳細は、ヘルプ ファイルを参照してください。* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

Power Media Player を実行するポータブル デバイス中のメディアにアクセス、再生する前に、次の操作を行います。

- CyberLink PowerDVD 12 以降がインストールされるコンピューターをワイヤレス ネットワークに接続します。
- ポータブル iOS または Android デバイスを同じワイヤレス ネットワークに接続します。
- Power Media Player アプリをポータブル デバイスにインストールします。
- Power Media Player が入った端末を接続すると、[デバイス&ホーム メディア (DLNA)] にリストが表示されます。

▼ PowerDVD Remote を設定する

PowerDVD Remote を実行するスマートフォン中のメディアにアクセス、再生する前に、次の操作を行います。

- CyberLink PowerDVD 11 以降がインストールされるコンピューターをワイヤレス ネットワークに接続します。
- Android または iOS デバイスを同じワイヤレス ネットワークに接続します。

- オンラインストア (Google Play、Apple App Store) から、PowerDVD Remote アプリ (無料) をダウンロードします。
- PowerDVD Remote アプリをポータブル デバイスにインストールします。
- ワイヤレス ネットワークに接続されたコンピューターで **[デバイス & ホーム メディア (DLNA)]** タブをクリックして、**[PowerDVD Remote]** を選択します。
- **[PowerDVD Remote によるこのコンピューターの接続、コントロールを許可]** オプションを選択します。

注:このオプションを有効にするには、管理者アカウントで Windows にログインする必要があります。ユーザー アカウント制御のダイアログが表示されたら、**[はい]** をクリックします。

- CyberLink PowerDVD で PowerDVD Remote を実行するデバイス中のメディアにアクセスするには、このタブに記載される 4 桁の パスコードをデバイスに入力します。

注:**[変更]** をクリックすると、新しいパスコードが生成されます。

対応するファイル形式

CyberLink PowerDVD でネットワークまたはモバイル デバイス (Power Media Player がインストールされたもの) の共有メディアを再生する場合、対応する形式は次の通りです。

動画:

264, 26L, 3G2, 3GP, 3GP2, 3GPP, ASF, AVC, AVI, BSF*, DAT, DIV, DIVX, FLV, H264, JSV, JVT, M1V, M2P, M2T, M2TS, M2V, M4V, MKV, MOD, MOV, MP4, MP4V, MPE, MPEG, MPG, MPV, MTS, MVC, QT, TOD, TP, TPD, TRP, TS, TTS, VC1, VOB, VRO, WM, WMV。

CyberLink PowerDVD 19

画像: BMP, HEIF (.HEIC)*, JPEG, JPG, PNG。

音声: AAC*, AC3, ADTS*, AOB*, DTS, LPCM, M4A, MKA, MP2, MP3, MPA, WAV, WMA。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

PowerDVD Remote の対応する形式

PowerDVD Remote を実行するポータブル デバイスでメディアを再生時に、CyberLink PowerDVD が対応するメディア形式は次の通りです。

デバイスの種類	メディアの種類	ファイル形式
Android	音声	AAC, M4A, MID, MP3, OGG, WAV, WMA
Android	動画	3G2, 3GP, 3GPP, ASF, AVI, FLV, M4V, MKV, MOV, MP4, MPEG, QT, WMV
Android	画像	BMP, JPEG, JPG, PNG
Apple iOS	動画	3GP, 3GPP, MP4, MOV
Apple iOS	画像	BMP, JPEG, JPG, PNG

共有メディアを再生する

ネットワーク (DLNA、DTCP-IP) メディア サーバーまたはデバイス (Power Media Player* または PowerDVD Remote を実行するもの) からメディア ファイルを再生するには、次の操作を行います。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

1. メディア パネルの [**デバイス&ホーム メディア (DLNA)**] タブをクリックします。
2. 再生するメディアが含まれるサーバー/デバイスを選択します。

注:CyberLink PowerDVD を実行するコンピューター中のメディアを再生するには、PowerDVD のメディア ライブラリーでメディアを共有する必要があります。詳細は、[「ネットワークでメディアを共有する」](#)を参照してください。

3. 再生するメディアの種類を選択して、デバイスからメディア ファイルの場所を検索します。
4. メディア ファイルをダブルクリックすると、再生が開始します。

共有メディアをダウンロードする

ネットワーク (DLNA、DTCP-IP) メディア サーバーまたはデバイス (Power Media Player* または PowerDVD Remote を実行するもの) からメディアをストリーミングする時に、メディアをお使いのコンピューターにダウンロードすることができます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

共有メディアをダウンロードするには、次の操作を行います。

1. メディア パネルの [**デバイス&ホーム メディア (DLNA)**] タブをクリックします。
2. ダウンロードするメディアが含まれるサーバー/デバイスを選択します。

注:CyberLink PowerDVD を実行するコンピューター中のメディアをダウンロードするには、PowerDVD のメディア ライブラリーでメディアを共有する必要があります。詳細は、[「ネットワークでメディアを共有する」](#)を参照してください。

3. ダウンロードするメディアの種類を選択し、デバイスからメディア ファイルの場所を検索します。
4. メディア ファイルを選択して、ウィンドウ右下の  ボタンをクリックします。

注:ダウンロード ボタンが非表示の場合は、右下のボタンの上にマウスを置くと表示されます。

5. ダイアログが開きます。**[参照]** ボタンをクリックして、メディアを保存するコンピューターの場所を選択します。
6. **[ダウンロード]** をクリックして、コンピューターにダウンロードします。

第 5 章:

VR モード (バーチャル リアリティ)

対応する VR (バーチャル リアリティ) ヘッドセットをお持ちの場合、VR* モードで再生することができます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

VR モードを設定、開始する

VR モードを開始する前に、次の内容を確認してください。

- VR ヘッドセットがコンピューターに接続されている。
- VR ヘッドセット メーカーからの必要なツール、プログラムがインストールされている。
- VR ヘッドセットがオンになっている (必要な場合)。

VR モードを開始するには、 ボタンをクリックして **[VR モードの開始]** を選択します。VR ヘッドセットを装着して、VR モードを開きます。

注:メディア ライブラリーからもメディアを選択することができます。 をクリックし、**[VR ヘッドセット]** を選択して VR モードを開きます。

VR ヘッドセットを着用しながら、同時に CyberLink PowerDVD のメディア ウィンドウにもコンテンツを表示するには、**[PowerDVD のウィンドウにも VR 映像を表示]** オプションを選択します。

注:VR モードのコントロールおよびヒントは、VR ヘッドセットを装着時に左側に表示されます。メディアを再生中に、トリガーを引く/トラックパッドをクリックすると(お持ちの VR ヘッドセットによって仕様が異なります)、プレーヤー コントロールおよびヒントが表示されます。

VR モードでメディアを再生する

VR モードで 360° 動画、画像、YouTube 動画を再生することができます。360° でないメディアを再生すると、VR の環境で、目の前に大きなバーチャルスクリーンが表示されます。

注:VR モードのコントロールおよびヒントは、VR ヘッドセットを装着時に左側に表示されます。メディアを再生中に、トリガーを引く/トラックパッドをクリックすると(お持ちの VR ヘッドセットによって仕様が異なります)、プレーヤー コントロールおよびヒントが表示されます。

メディア ライブラリー中のほとんどのメディア(音楽や YouTube の動画を含む)を VR モードで再生することができます。マイ コンピューターからハードドライブのメディア ファイルにアクセスしたり、SteamVR からストリーミング コンテンツにアクセスすることもできます。

注:ディスク、サイバーリンク クラウドのメディア、ホーム メディア(DLNA)、ISO ファイル、ディスク フォルダーは、VR モードに対応していません。

第 6 章:

他のディスプレイ/デバイスで メディアを再生する (再生先)



ボタンをクリックすると、次の再生先でメディアを再生することができます。

- VR ヘッドセット。詳細は、[「VR モード \(バーチャルリアリティ\)」](#) を参照してください。
- 同じ Wi-Fi ネットワークに接続されている Chromecast、Apple TV、Amazon Fire TV、Roku ストリーミング デバイス*。詳細は、[「ストリーミング デバイスにメディアをキャストする」](#) を参照してください。
- Miracast 認定の外部デバイス*。詳細は、[「外部ディスプレイでメディアを再生する」](#) を参照してください。
- HDMI、DisplayPort、DVI、D-Sub 端末* で接続された外部ディスプレイ。詳細は、[「外部ディスプレイでメディアを再生する」](#) を参照してください。
- デジタル メディア レンダラー (DLNA* ネットワーク)。詳細は、[「デジタル メディア レンダラーにメディアをストリーミングする」](#) を参照してください。
- CyberLink PowerDVD または Power Media Player を実行するコンピューター/デバイス。詳細は、[「デジタル メディア レンダラーにメディアをストリーミングする」](#) を参照してください。

他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生するには、次の操作を行います。

1. 再生するメディア ファイルをすべて選択します。



2. ボタンをクリックすると、接続されるデバイスが表示されます。
3. リストからメディアを再生するデバイスを選択します。メディアがストリーミングされ、選択したデバイスでメディア再生が開始します。

4.  をクリックすると、メディア ライブラリーに戻ります。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

ストリーミング デバイスにメディアをキャスト ングする

CyberLink PowerDVD を実行するコンピューターと同じ Wi-Fi ネットワークに接続されるストリーミング デバイスに、次のメディアをキャスト* することができます。

注: すべてのストリーミング デバイスで最高の互換性を確実にするため、5.1 チャンネル音声以上は、メディアをキャスト中に 2 チャンネルにダウンミックスされます。* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

- メディア ライブラリー中のムービー ファイル、シリーズ動画、動画。
- メディア ライブラリー中の画像、音楽。
- [マイ コンピューター] タブからアクセス可能なメディア。
- [オンライン動画] タブでピン留めした YouTube 動画。
- メディア プレイリスト。

注: ブルーレイ ディスク、DVD、ムービー フォルダー、ISO ファイルはストリーミング デバイスにキャストできません。

他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生する (再生先)

これらのストリーミング デバイスは通常テレビに接続されており、デバイスにキャストされたメディアは接続されたテレビで再生されます。対応するストリーミング デバイスは次の通りです。

- **Chromecast:** Google が開発するデジタル メディア プレーヤー。Chromecast に関する詳細は、次の Web サイトをご覧ください。
<https://www.google.co.jp/chrome/devices/chromecast/>
- **Apple TV:** Apple Inc が開発、販売するデジタル メディア プレーヤー。Apple TV に関する詳細は、次の Web サイトをご覧ください。
<https://www.apple.com/jp/tv/>
- **Amazon Fire TV:** Amazon が開発するデジタル メディア プレーヤー。Amazon Fire TV に関する詳細は、次の Web サイトをご覧ください。
<https://www.amazon.com/all-new-amazon-fire-tv-4k-uhd-streaming-media-player/dp/B01N32NCPM>
- **Roku:** Roku が製造するデジタル メディア プレーヤー セットアップボックス。Roku プレーヤーに関する詳細は、次の Web サイトをご覧ください。
<https://www.roku.com/>

注: Roku のデバイスに動画をキャストする前に、Roku ストアから PowerDVD のチャンネルをインストールする必要があります。

これらのデバイスのいずれかにメディアをキャストするには、最初に次の操作を行います。

- CyberLink PowerDVD 19 がインストールされるコンピューターをワイヤレス ネットワークに接続します。
- ストリーミング デバイスをオンにして、同じ Wi-Fi ネットワークに接続します。

これらのタスクが完了して  (再生先) ボタンをクリックすると、ストリーミング デバイスが表示されます。再生を開始するデバイスを選択します。

注: キャスティングされるメディアの音量は、再生先のデバイス/テレビ側で調整を行います。

動画のキャストイングについて

ストリーミング デバイスに動画をキャストイングする場合、次の情報をご確認ください。

▼ 対応する形式

動画キャストイングに対応するファイル形式:

3G2, 3GP, 3GP2, 3GPP, ASF, AVI, DAT, DIV, DIVX, DVR-MS, FLV, M2P, M2T, M2TS**, M4V, MKV**, MOD, MOV, MP4**, MP4V, MPE, MPEG, MPG, MPV, MTS, MVC, QT, TOD, TP, TPD, TRP, TS, TTS, VOB, VRO, WM, WMV, WTV

注:** H.265 ビデオコーデック (MKV、MP4、M2TS 動画ファイルに対応)。

▼ 動画再生オプション

動画をキャストイング時に、次の動画再生オプションがご利用いただけます。

注: Apple TV/Roku のリモコンの一部を使って、再生をコントロールすることもできます。

再生コントロール

再生時に、標準のプレーヤー コントロール (再生、一時停止、停止、前へ、次へ、検索) が表示されます。 ボタンをクリックすると、音声言語を変更、字幕を有効にすることができます。プレーヤー コントロール右の画質メニューをクリックして、ストリーミング動画の画質を選択することもできます。メディア ウィンドウを右クリックすると、他のコントロール (シャッフルやリピートなど) も表示されます。

注:動画キャストिंगに対応する外部字幕ファイル形式:ASS, PSB, SSA, SMI, SRT, SUB。字幕に関する詳細は、[「外部字幕、埋め込み字幕」](#)を参照してください。埋め込み字幕は、ストリーミング デバイスの制限により対応していません。

TrueTheater エンハンスメント

再生中に  ボタンをクリックすると、TrueTheater ビデオ エンハンスメントが適用されます。TrueTheater は、動画を高品質で再生するための CyberLink 独自の映像・音声技術です。詳細は、[「TrueTheater エンハンスメント」](#)を参照してください。

注:TrueTheater Motion、TrueTheater Noise Reduction、TrueTheater Stabilizer は、キャストिंगされる動画には対応していません。The TrueTheater ディスプレイ モードは、一部の動画ファイルには対応していません。

音声のキャストिंगについて

ストリーミング デバイスに音声をキャストिंगする場合、次の情報をご確認ください。

▼ 対応する形式

音声キャストに対応するファイル形式:

APE, FLAC, M4A (AAC, ALAC codec), MP3, OGG, WAV

▼ 音声再生オプション

再生時に、標準のプレーヤー コントロール (再生、一時停止、停止、前へ、次へ) が表示されます。

注:Apple TV/Roku のリモコンの一部を使って、再生をコントロールすることもできます。



をクリックしてランダム再生をしたり、再生中に  (1 曲リピート) ま

たは  (すべてリピート) を選択することもできます。ボタンが  このように表示される場合、リピート機能はオフになっています。

画像のキャストについて

ストリーミング デバイスに画像をキャストする場合、次の情報をご確認ください。

▼ 対応する形式

画像キャストに対応するファイル形式:

ARW, BMP, CR2, CRW, DCR, DNG, ERF, JPG, JPEG, JPS, KDC, MEF, MPO, MRW, NEF, ORF, PEF, PNG, RAF, RAW, RW2, SR2, SRF, TIF, TIFF, X3F

▼ 画像再生オプション

画像をキャスティング時に、前へ、次へのプレーヤー コントロールのみが表示されます。

注:Apple TV/Roku のリモコンの一部を使って、再生をコントロールすることもできます。



をクリックして、インスタント フォト サムネイルを表示し、フォルダー中のすべての画像を参照することもできます。

外部ディスプレイでメディアを再生する

Miracast 認定の外部* デバイスおよびディスプレイ (HDMI、DisplayPort、DVI、D-Sub 端末で接続) に対応するメディアは次の通りです。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

- ムービー ディスク (DVD/ブルーレイ)。

注:外部ディスプレイでムービー ディスクを再生するには、ディスク再生を開始し、メディア ウィンドウを右クリックして **[再生先]** のリストからディスプレイを選択します。

- メディア ライブラリー中のムービー ファイル、シリーズ動画、動画。
- メディア ライブラリー中の画像。
- [マイ コンピューター] タブからアクセスするメディア (音声ファイル以外)。
- [オンライン動画] タブでピン留めした YouTube 動画。
- メディア プレイリスト (音声ファイル以外)。

注:外部ディスプレイでメディアを再生する前に、ディスプレイが設定、接続され、Windows のディスプレイ設定 (キーボードの [Windows+P] を押して **[拡張]** を選択) で外部デスクトップが有効になっていることを確認します。詳細は、Windows およびデバイス メーカーのヘルプ/ユーザー ガイドをご覧ください。

外部ディスプレイでメディアを再生中も、再生コントロールを使うことができます。各メディアを再生中に利用可能なコントロールおよび再生機能は、[「再生コントロール」](#) を参照してください。

デジタル メディア レンダラーにメディアをストリーミングする

デジタル メディア レンダラー* (DMR) に次のメディアをストリーミングできません。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

- メディア ライブラリー中のムービー ファイル、シリーズ動画、動画。
- メディア ライブラリー中の画像、音楽。
- [マイ コンピューター] タブからアクセス可能なメディア。

他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生する (再生先)

- メディア プレイリスト。

注:ブルーレイ ディスク、DVD、YouTube の動画は、デジタル メディア レンダラーにストリーミングできません。

デジタル メディア レンダラーは、CyberLink PowerDVD を実行するコンピューターと同じネットワークに接続される DLNA 対応のメディア プレーヤーまたは他のデバイスです。DMR はデジタル メディア コントローラー (CyberLink PowerDVD など) に指示されるコンテンツを再生し、次が含まれます。

- CyberLink PowerDVD 12 以降のコピー (同じ Wi-Fi ネットワークに接続されるもの)。
- CyberLink Power Media Player アプリ (同じ Wi-Fi ネットワークに接続されるもの)。詳細は、[「Power Media Player を設定する」](#) を参照してください。
- 他の DLNA 対応コンピューター、メディア プレーヤー、デバイス (ネットワークに接続されるもの)。

CyberLink PowerDVD のコピーを DMR として設定するには、次の操作を行います。

注:CyberLink PowerDVD を [「アクセスコントロールの基本設定」](#) で DMR として設定することもできます。

1. **[デバイス&ホーム メディア (DLNA)]** タブの上にマウスを置きます。
2.  をクリックして、ホーム メディアのオプションにアクセスします。
3. **[ホーム メディア コントローラーがこのプレーヤーをコントロールするのを許可する]** オプションを選択して、有効にします。

注:他のコンピューターが DLNA 対応のコンピューター/デバイス上のメディアをコントロールする場合、再生前に認証が必要になる場合があります。

第 7 章:

再生コントロール

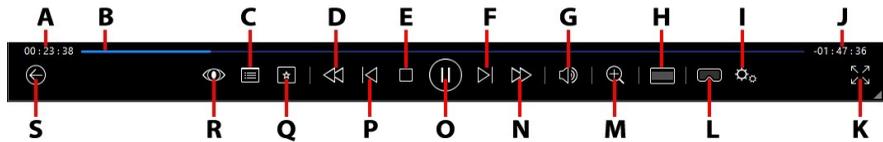
再生コントロールを使用すると、ディスクやその他のメディア、プログラムの再生機能のすべてに簡単にアクセスできます。

再生中のメディアの種類、メディアの再生、一時停止、停止の状態によって、表示される再生コントロールのボタンは異なります。

ムービー

ディスクの再生コントロール

[メディア ライブラリー] タブの [BD/DVD ムービー] セクションでムービー ディスクを再生する場合、再生コントロールは次のように表示されます。



注:次の表には、再生コントロール上の特定ボタンのホットキーも含まれます。PowerDVD のすべてのホットキーと動作に関する詳細は、[「PowerDVD のホットキー」](#) を参照してください。

	アイコン	ボタン	ホット キー	説明
A		経過時間		現在のムービーの経過時間が表示されます。マウスを上に乗けると 2 つのボタンが表示され、前後にジャンプすることができます。⏮ をクリックすると 8 秒戻

				<p>り、 をクリックすると 30 秒早送りします。これらのボタンを常に有効にするには、UI の基本設定 で設定を行います。</p>
B		ナビゲーション スライダー		<p>再生経過時間を表示します。ナビゲーション スライダーをクリックしてムービーの他のシーンに移動したり、スライダーをクリック & ドラッグしてインスタント シークを使い、ムービーから特定のシーンを検索します。スライダーの上にマウスを置き、インスタント サムネイルを使うと DVD を再生中に前に再生したシーンを簡単に検索することができます。</p>
C		DVD メニュー コントロール/ポップアップメニューにアクセス (ブルーレイ* 再生のみ)	M	<p>再生中にこのボタンをクリックすると、DVD のタイトルとルートメニューにアクセスします。詳細は、「ディスクメニューにアクセスする」 を参照してください。ブルーレイディスク* を再生時に、ここにポップアップメニュー ボタンが表示されません。</p> <p> またはキーボードの [M] をクリックすると、ディスク コンテンツの</p>

				ポップアップメニューが表示されます。
D		巻戻し/コマ戻し (一時停止時)	[再生時にこのボタンをクリックして、コンテンツを巻戻し、 [再生速度ナビゲーター] にアクセスします。再生を一時停止中に  ボタンを押すと、コマ戻しされます。
E		停止	S	メディアの再生を停止します。
F		次へ	N	ムービー ディスクの次のチャプターに進みます。
G		ミュート/音量調整	Q / + および -	音量をミュート/ミュートオフします。手動で音量を調整します。このボタンの上にマウスを置いて、スライダーを使って音量を調整します。
H		クロップして枠に入れる		ウルトラワイドの 21:9 モニターで 2:35:1 ブルーレイムービーを再生中にこのボタンをクリックすると、端の黒帯部分がクロップされて枠内に表示されます。 元の縦横比に戻すには、  をクリックします。
I		PowerDVD 設定メニュー		PowerDVD の設定メニュー (プレーヤー設定、PowerDVD の基本設定に

				アクセス)を開きます。詳細は、 「PowerDVD の設定 - プレーヤーの設定」 および 「PowerDVD の設定 - 基本設定」 を参照してください。
J		ムービー再生時間/残り時間		ムービーの再生時間と残り時間を切り替えます。
K		フルスクリーン表示	Z	フルスクリーンモードを開きます。
L		VRモードを開く/3D*を有効にする		VRモード を開いたり、 3D動画を有効化 したりします。
M		ズーム	Ctrl+マウスホイール**	このボタンをクリックして、スライダーを使ってDVDムービーのイメージをインスタントズーム(拡大、縮小)します。(注:この機能は、Ultra HDブルーレイ/ブルーレイディスクの再生中は利用できません)。拡大時に、イメージをクリック&ドラッグして他の位置に移動することができます。■をクリックしてズームメニュー(ズーム倍率を選択)にアクセスするか、 [ウィンドウに合わせる] を選択してウィンドウに合わせて動画を表示します。 注: この機能は、動画の解像度もしくはディスプレイ

				の解像度が 3300 x 1900 を超える場合、ご利用いただけません。** このホットキーは設定で変更可能なため、動作が異なる可能性があります。
N		早送り/コマ送り (一時停止時)]	再生時にこのボタンをクリックして、コンテンツを早送りし、 [再生速度ナビゲーター] にアクセスします。一時停止中に  ボタンをクリックすると、次のビデオ フレームに移動します。
O		再生/一時停止	スペース バー	メディアを再生/一時停止します。
P		前へ	P	ムービー ディスクの前のチャプターに戻ります。
Q		メディアの再生メニュー		再生中にこのボタンをクリックすると、メディアの再生メニューにアクセスします。詳細は、 [メディアの再生メニュー] を参照してください。
R		TrueTheater エフェクト		クリックして [TrueTheater エンハンスメント] を有効にします。
S		前のウィンドウに戻る	Backspace	クリックすると、再生を停止してメディア ライブラリーに戻ります。
		その他ボタン		CyberLink PowerDVD の UI と再生コントロールを

				<p>縮小すると、[その他] ボタンが表示されます。クリックすると、非表示になっているボタンが表示されます。</p>  <p>UI とコントロールに関する詳細は、「ミニプレーヤーでムービーを再生する」を参照してください。</p>
		フルスクリーンから元に戻す	Z / Esc	フルスクリーンモードを終了します。
		ディスクの取り出し	Ctrl+E	再生を停止すると、このボタンが表示されます。このボタンをクリックして、選択したディスクドライブからディスクを取り出します。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

ミニプレーヤーでムービーを再生する

PC モードでディスクを再生中に CyberLink PowerDVD ウィンドウの端をドラッグして、縮小表示することができます。



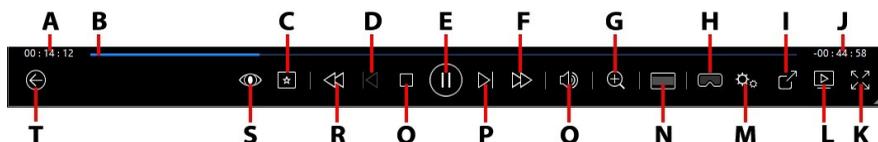
204 ピクセルまで縮小可能です。ただし、UI のサイズが 600 ピクセル未満になると、メインのプレーヤー コントロールのみが表示されます。



他のアプリケーションよりも上に表示するには、 をクリックします。

動画の再生コントロール

[メディア ライブラリー] の [ムービー] セクションでムービー ファイルを、[動画] タブで動画ファイルを、[オンライン動画] タブで YouTube や Vimeo の動画を再生する場合、再生コントロールは次のように表示されます。



注: 次の表には、再生コントロール上の特定ボタンのホットキーも含まれます。PowerDVD のすべてのホットキーと動作に関する詳細は、[「PowerDVD のホットキー」](#) を参照してください。

	アイコン	ボタン	ホット キー	説明
A		経過時間		現在の動画の経過時間が表示されます。マウスを上に乗けると 2 つのボタンが表示され、前後にジャンプすることができます。◀ をクリックすると 8 秒戻り、▶ をクリックすると 30 秒早送りします。これらのボタンを常に有効にするには、 UI の基本設定 で設定を行います。
B		ナビゲーション スライダー		再生経過時間を表示します。ナビゲーション スライダーをクリックして動画の他のシーンに移動したり、スライダーをクリック

				<p>&ドラッグしてインスタントシークを使い、動画から特定のシーンを検索します。スライダーの上にマウスを置き、インスタントプレビューを使うと、ムービーファイルを再生中に前に再生したシーンを簡単に検索することができます。</p>
C		メディアの再生メニュー		<p>再生中にこのボタンをクリックすると、メディアの再生メニューにアクセスします。詳細は、「ムービーファイル/動画の再生メニュー」を参照してください。</p>
D		前へ	P	<p>フォルダー/プレイリスト中の前の動画ファイルに戻ります。</p>
E		再生/一時停止	スペースバー	<p>メディアを再生/一時停止します。</p>
F		早送り/コマ送り (一時停止時)]	<p>再生時にこのボタンをクリックして、コンテンツを早送りし、「再生速度ナビゲーター」にアクセスします。一時停止中に  ボタンをクリックすると、次のビデオフレームに移動します。</p>
G		ズーム	Ctrl+マウスホイール**	<p>このボタンをクリックして、スライダーを使ってイメージをインスタントズ</p>

				<p>ーム (拡大、縮小) します。拡大時に、イメージをクリック & ドラッグして他の位置に移動することができます。■をクリックしてズームメニュー (ズーム倍率を選択) にアクセスするか、[ウィンドウに合わせる] を選択してウィンドウに合わせて動画を表示します。</p> <p>注:この機能は、動画の解像度もしくはディスプレイの解像度が 3300 x 1900 を超える場合、ご利用いただけません。** このホットキーは設定で変更可能なため、動作が異なる可能性があります。</p>
H		VR モードを開く/3D* を有効にする		VR モード を開いたり、 3D 動画を有効化 したりします。
I		共有		メディア ライブラリーの [動画] セクションで動画 ファイルを参照中に、YouTube または Vimeo で共有します。詳細は、 「ソーシャル ネットワークでメディアを共有する」 を参照してください。
J		動画再生時間/残り時間		ムービーの再生時間と残り時間を切り替えます。

K		フルスクリーン	Z	フルスクリーンモードを開きます。
L		再生先		メディアライブラリー中のムービーファイル、シリーズ動画、動画を選択し、このボタンをクリックして他のデバイスまたはディスプレイで再生します。詳細は、 「他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生する(再生先)」 を参照してください。
M		PowerDVD 設定メニュー		PowerDVD の設定メニュー (プレーヤー設定、PowerDVD の基本設定にアクセス) を開きます。詳細は、 「PowerDVD の設定 - プレーヤーの設定」 および 「PowerDVD の設定 - 基本設定」 を参照してください。
N		クロップして枠に入れる		<p>ウルトラワイドの 21:9 モニターで再生中にこのボタンをクリックすると、端の黒帯部分がクロップされて枠内に表示されます。標準の 16:9 モニターの場合も拡大表示されます。</p> <p>元の縦横比に戻すには、  をクリックします。</p>
O		ミュート/音量調整	Q / + および -	音量をミュート/ミュートオフします。手動で音量を

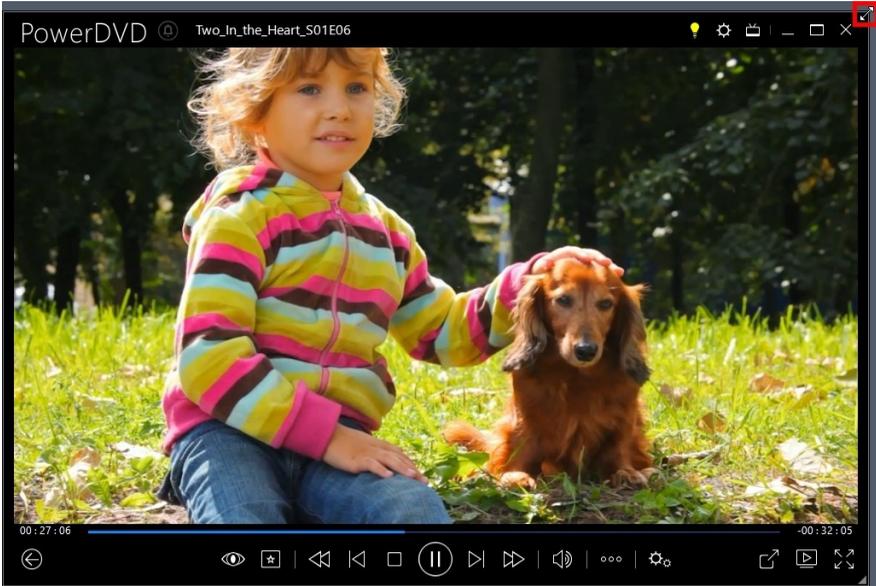
				調整します。このボタンの上にマウスを置いて、スライダーを使って音量を調整します。
P		次へ	N	フォルダー/プレイリスト中の次の動画に移動します。
Q		停止	S	メディアの再生を停止します。
R		巻戻し/コマ戻し (一時停止時)	[再生時にこのボタンをクリックして、コンテンツを巻戻し、 [再生速度ナビゲーター] にアクセスします。再生を一時停止中に  ボタンを押すと、コマ戻しされます。 注: この機能は、一部の動画ファイル形式ではご利用いただけません。
S		TrueTheater エフェクト		クリックして [TrueTheater エンハンスメント] を有効にします。
T		前のウィンドウに戻る	Backspace	クリックすると、再生を停止してメディア ライブラリーに戻ります。
		その他ボタン		CyberLink PowerDVD の UI と再生コントロールを縮小すると、[その他] ボタンが表示されます。クリックすると、非表示になっているボタンが表示されま

				<p>す。</p>  <p>UI とコントロールに関する詳細は、「ミニプレーヤーで動画を再生する」を参照してください。</p>
		右回転	Ctrl+.	[メディア ライブラリー] の [動画] セクションで動画ファイルを再生、参照中に、画像を右に 90 度回転します。
		フル スクリーンから元に戻す	Z / Esc	フルスクリーン モードを終了します。

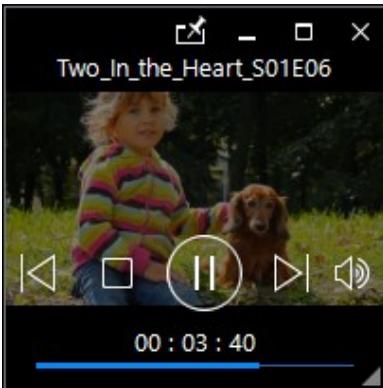
注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

ミニプレーヤーで動画を再生する

ムービー ファイル、動画ファイル、YouTube/Vimeo の動画を再生中に CyberLink PowerDVD ウィンドウの端をドラッグして、縮小表示することができます。



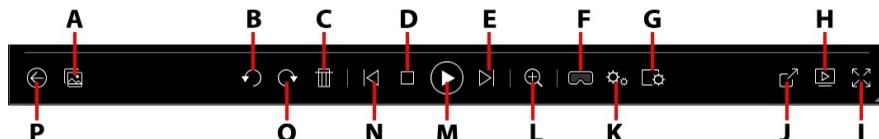
204 ピクセルまで縮小可能です。ただし、UI のサイズが 600 ピクセル未満になると、メインのプレーヤー コントロールのみが表示されます。



他のアプリケーションよりも上に表示するには、 をクリックします。

画像の再生コントロール

[メディア ライブラリー] の [画像] タブで画像/スライドショーを表示中に、再生コントロールは次のように表示されます。



注: 次の表には、再生コントロール上の特定ボタンのホットキーも含まれます。PowerDVD のすべてのホットキーと動作に関する詳細は、[「PowerDVD のホットキー」](#) を参照してください。

	アイコン	ボタン	ホット キー	説明
A		インスタント フォト サムネイルを有効にする		画像を 1 枚表示時にクリックすると、フォルダー中のすべての画像がインスタント フォト サムネイルに表示されます。有効にして ジェスチャーコントロール 、マウスのスクロールホイール、ナビゲーションスライダー、キーボードの矢印キーを使うと、フォルダー中のすべての画像を

				閲覧することができます。
B		左回転	Ctrl+,	画像を左に 90 度回転します。
C		画像の削除	Delete	コンピューターのハードドライブから現在の画像を削除します。
D		停止	S	スライドショーの再生を停止します。
E		次へ	N	フォルダー/スライドショー中の次の画像に移動します。
F		VR モードを開く/3D* を有効にする		VR モード を開いたり、 3D 動画を有効化 したりします。
G		スライドショーの基本設定を構成		スライドショーの基本設定を調整します。 [表示時間] で、次の画像を表示するまでの時間を指定します。スライドショーに適用する [エフェクト] を選択します。 [モーション] を選択すると、各画像にパン&ズームで移動します。 [フェード] を選択

				すると、画像間にフェードエフェクトが追加されます。トランジションエフェクトを使わない場合、 [なし] を選択します。
H		再生先		メディアライブラリー中のフォトアルバム、画像を選択し、このボタンをクリックして他のデバイスまたはディスプレイで表示します。詳細は、 「他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生する(再生先)」 を参照してください。
I		フルスクリーン	Z	フルスクリーンモードを開きません。
J		画像を共有、メール、印刷、他のプログラムで開く		[メール] を選択して規定のメールクライアントを開き、メールメッセージに画像を添付します。 [印刷] を選択して、接続するプリンターで画像を印刷しま

				<p>す。クリックすると、コンピューターのデフォルトのフォトビューアーに画像が送信されます。必要に応じて、コンピューターのデフォルトのフォトビューアーを使って画像を印刷します。他のプログラムで画像を開くには、[プログラムから開く] から使用するプログラムを選択します。</p>
K		PowerDVD 設定メニュー		<p>PowerDVD の設定メニュー（プレーヤー設定、PowerDVD の基本設定にアクセス）を開きます。詳細は、 「PowerDVD の設定 - プレーヤーの設定」 および 「PowerDVD の設定 - 基本設定」 を参照してください。</p>
L		ズーム	Ctrl+マウスホイール**	<p>このボタンをクリックして、スライダーを使ってイメージをインスタ</p>

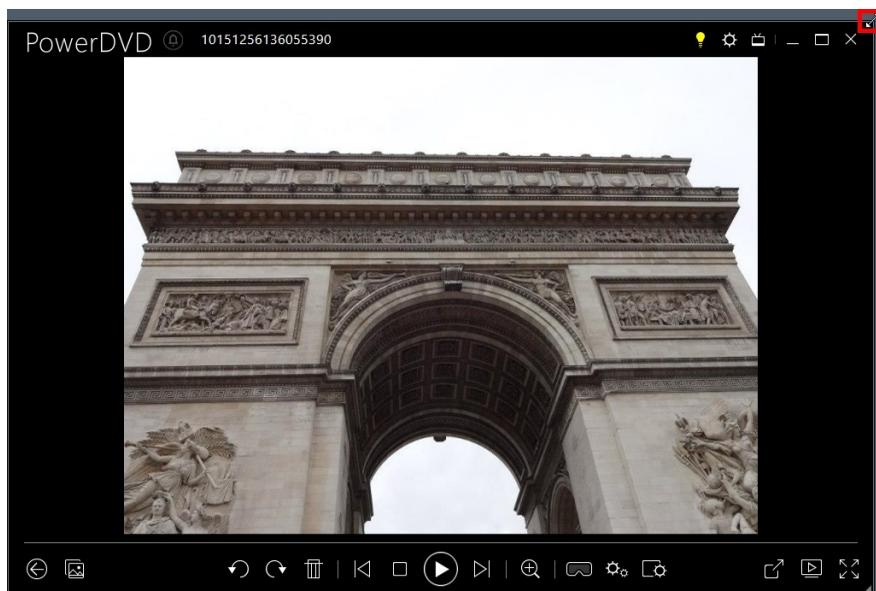
				<p>ントズーム (拡大、縮小) します。拡大時に、イメージをクリック & ドラッグして画像の他の位置に移動することができます。▲ をクリックしてズームメニュー (ズーム倍率を選択) にアクセスするか、[ウィンドウに合わせる] を選択してウィンドウに合わせて画像を表示します。** このホットキーは設定で変更可能なため、動作が異なる可能性があります。</p>
M		再生/一時停止	スペース バー	スライドショーを再生/一時停止します。
N		前へ	P	フォルダー/スライドショー中の前の画像に戻ります。
O		右回転	Ctrl+.	画像を右に 90 度回転します。
P		前のウィンドウに戻る	Backspace	クリックすると、再生を停止してメ

				ディア ライブラリーに戻ります。
		フル スクリーンから元に戻す	Z / Esc	フル スクリーンモードを終了します。

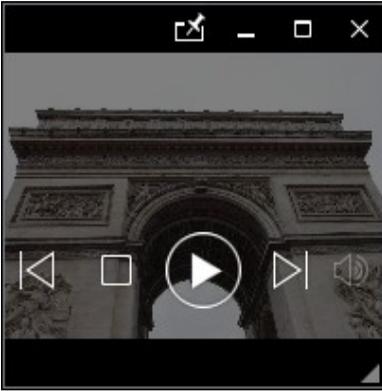
注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

ミニ プレーヤーで画像を表示する

画像、スライドショーを表示、再生中に CyberLink PowerDVD ウィンドウの端をドラッグして、縮小表示することができます。



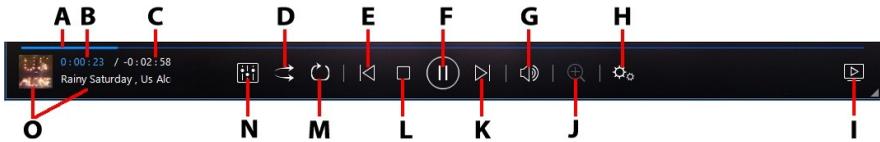
204 ピクセルまで縮小可能です。ただし、UI のサイズが 600 ピクセル未満になると、メインのプレーヤー コントロールのみが表示されます。



他のアプリケーションよりも上に表示するには、 をクリックします。

音楽の再生コントロール

[音楽] タブで音楽を再生中に、再生コントロールは次のように表示されます。



注: 次の表には、再生コントロール上の特定ボタンのホットキーも含まれます。PowerDVD のすべてのホットキーと動作に関する詳細は、[「PowerDVD のホットキー」](#)を参照してください。

	アイコン	ボタン	ホットキー	説明
A		ナビゲーション スライダ		再生経過時間を表示します。ナビゲーション スライダをクリックする

				と、曲の他のシーン(時間)に移動します。
B		経過時間		<p>現在の曲の経過時間が表示されます。マウスを上に乗けると2つのボタンが表示され、前後にジャンプすることができます。</p> <p> をクリックすると8秒戻り、  をクリックすると30秒早送りします。これらのボタンを常に有効にするには、UIの基本設定 で設定を行います。</p>
C		曲再生時間/残り時間		曲の再生時間と残り時間を切り替えます。
D		シャッフル	V	フォルダー、プレイリスト、ディスクの曲をランダムに再生します。
E		前へ	P	フォルダー、プレイリスト、ディスクの前の曲に戻ります。
F		再生/一時停止	スペースバー	音楽を再生/一時停止します。

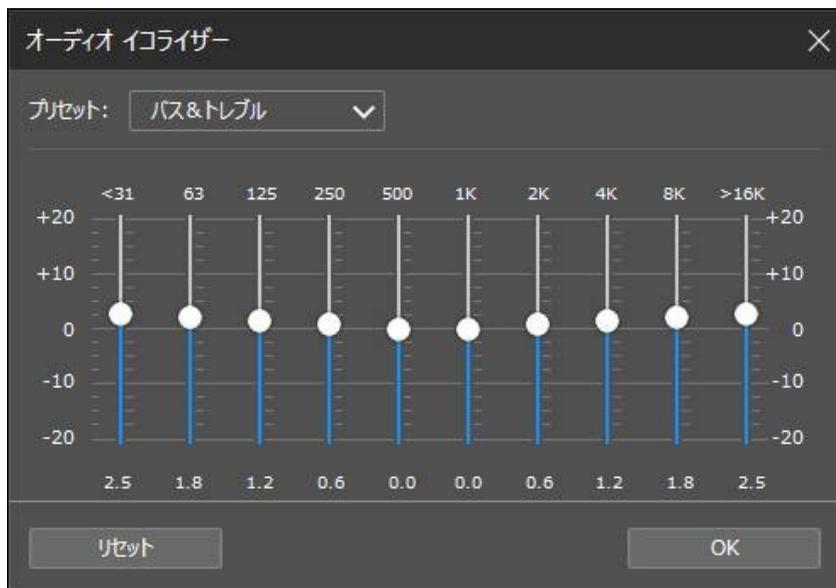
G		ミュート/音量調整	Q / + および -	<p>音量をミュート/ミュートオフします。手動で音量を調整します。このボタンの上にマウスを置いて、スライダーを使って音量を調整します。</p>
H		PowerDVD 設定メニュー		<p>PowerDVD の設定メニュー（プレーヤー設定、PowerDVD の基本設定にアクセス）を開きます。詳細は、「PowerDVD の設定 - プレーヤーの設定」 および 「PowerDVD の設定 - 基本設定」 を参照してください。</p>
I		再生先		<p>メディアライブラリー中の音楽を選択し、このボタンをクリックして他のデバイスまたはディスプレイで再生します。詳細は、「他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生する(再生先)」 を参照してください。</p>

J		ズーム	Ctrl+マウス ホイール**	このボタンをクリックして、スライダーを使ってアルバム アートをデジタルズーム (拡大、縮小) します (アーティスト/アルバム ビューを表示時)。** このホットキーは設定で変更可能なため、動作が異なる可能性があります。
K		次へ	N	フォルダー、プレイリスト、ディスクの次の曲に進みます。
L		停止	S	音楽の再生を停止します。
M		リピート	Ctrl+R	フォルダー/プレイリスト中の1曲  またはすべての曲  をリピート再生します。ボタンが  このように表示される場合、リピート機能はオフになっています。

N		オーディオ イコライザー		音楽を再生中にこのボタンをクリックすると、 [オーディオイコライザー] プリセットにアクセスします。
O		曲情報		再生中の音楽のアルバム アートおよび情報を表示します。音楽を再生時に、他のタブでメディアを閲覧中に曲情報をダブルクリックすると、[メディア ライブラリー] の [音楽] セクションに戻ります。

オーディオ イコライザーを使用する

音楽を再生中に  をクリックして [オーディオ イコライザー] を選択すると、イコライザーとオーディオ プリセットにアクセスして、音声を補正することができます。



[プリセット] のドロップダウンからプリセットを選択して、音声を変更します。選択するプリセットは、再生中の音声の種類または音楽のジャンルによって異なります。イコライザーのスライダーを手動で調整して、出力音声をカスタマイズすることもできます。スライダーを調整したら、[保存] ボタンをクリックします。[カスタムプリセット 1]、[2]、[3] のオプションを使って、カスタムのプリセットを3つまで保存できます。

ミニプレーヤーで音楽を再生する

PowerDVD のミニプレーヤーで、メディアライブラリー中の音楽を再生することができます。このモードは、コンピューターで他のタスクを実行中に便利です。

注:ミニプレーヤーモードで、音楽プレイリストを再生することもできます。音楽を含む動画または画像の場合、ミニプレーヤーモードは利用できません。

再生中にミニ プレーヤーにアクセスするには (アーティスト/アルバム ビューを表示時)、[音楽] タブのメディア ウィンドウの空きスペースを右クリックして、[ミニ プレーヤー] を選択します。左下のアルバム アートをダブルクリックして、アクセスすることもできます。

ミニ プレーヤーに切り替わり、Windows のタスク バー上にアルバム アートが表示されます。アルバム アートの上にマウスを置くと、ミニ プレーヤーのコントロールが表示されます。



このコントロールで一時停止/再生したり、フォルダー/プレイリストの前/次の曲に移動したり、 をクリックして音楽の音量をミュートしたりすることができます。現在の曲や再生情報を表示するには、右下の角をクリックするとミニ プレーヤーが拡張します。



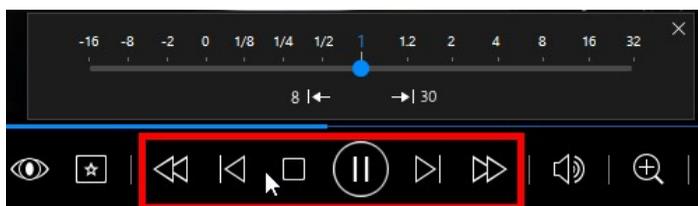
プレーヤーのコントロール以外の部分をクリック & ドラッグすると、コンピューターの他の位置に移動することができます。 をクリックするか、ミニ プレーヤーの UI をダブルクリックすると、PC モードに戻ります。

再生速度ナビゲーター

ムービー ディスク、ムービー ファイル中のコンテンツまたは動画ファイルを巻戻し/早送りするには、再生中に ◀◀ または ▶▶ ボタンをクリックして、再生速度ナビゲーターにアクセスします。



注:プレーヤー コントロールの上または下を右クリックして、このパネルにアクセスすることもできます。



ブルーのコントロール スライダーを左にドラッグすると標準再生速度の最大 16 倍速で、右にドラッグすると最大 32 倍速で巻戻し/早送りすることができます。
◀◀ をクリックして 8 秒前へ、▶▶ をクリックして 30 秒後へスキップすることもできます。

注:タッチ パネルを使用する場合、[ジェスチャー コントロール](#) を使って前後にスキップすることもできます。

キーボードのスペース バーを押すとコントロール パネルが閉じ、通常の再生に戻ります。

他の UI コントロール

CyberLink PowerDVD には、他にもメディア再生時に便利な再生機能やコントロールが搭載されています。

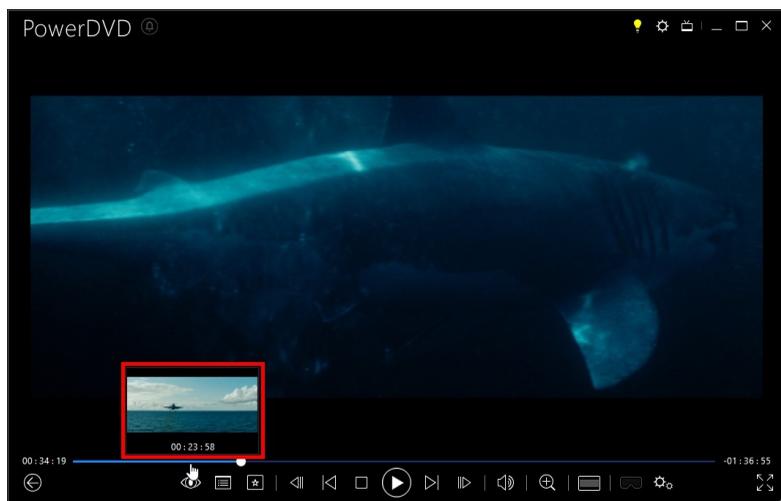
CyberLink PowerDVD 19

- ウィンドウ モードで、再生中にメディア ウィンドウをクリックすると、プログラム ウィンドウをデスクトップの他の位置にドラッグできます。
- フルスクリーン モードでマウス カーソルを画面の左右に移動することで、キャプションバーと再生コントロールを非表示にできます。
- フルスクリーン モードでは、コンピューター時計の時刻がキャプションバーに表示されます。



動画ファイルを再生中にタイトルバーの時刻の上にマウスを置くと、推定再生終了時間が表示されます。

- ナビゲーションスライダーの上にマウスを置くと、インスタントプレビューでDVDおよびムービーファイルを再生中にシーンを簡単に検索できます。



これらのサムネイルは再生中に生成され、前に再生した動画コンテンツにのみ有効です。

注:この機能は、動画の解像度もしくはディスプレイの解像度が 3300 x 1900 を超える場合、ご利用いただけません。

- CyberLink PowerDVD のボリューム コントロールは、コンピューター システムの音量コントロール (音量ミキサー) とは独立して利用できます。



例えば、CyberLink PowerDVD の音量をミュートにしても、他の Windows プログラムの音量はミュートになりません。  ボタンを右クリックすると、[音量ミキサー] が表示されます。

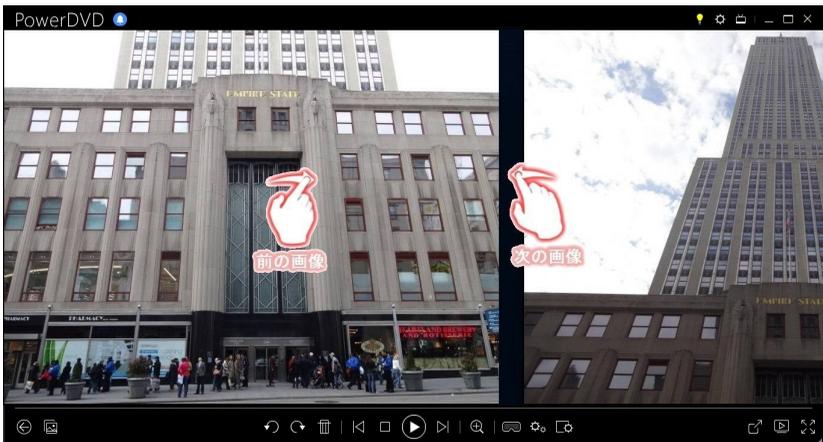
ジェスチャー コントロール

タッチ パネル搭載のコンピューターに CyberLink PowerDVD をインストールすると、再生中にジェスチャー コントロールを使ってメディアを閲覧することができます。

- 画像、ムービー、動画を再生中に指をピンチ、ピンチアウトしてイメージを拡大、縮小することができます。カレンダー ビューでもこのジェスチャーを使うことができます。カレンダー ビューで指をピンチ、ピンチアウトして複数の月を表示したり、特定の日を表示することができます。



- 画像を表示時に左右にスワイプすると、前後の画像が表示されます。カレンダービューで上下にスワイプすると、カレンダーの日付、月をスクロールすることができます。



- ムービー/動画ファイルを再生中に右にスワイプすると、8秒ジャンプ(巻き戻し)します。左にスワイプすると、30秒ジャンプ(早送り)します。

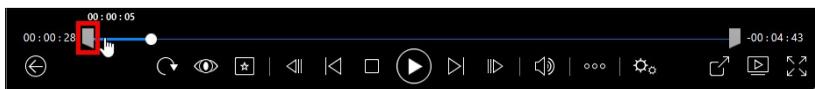


動画の開始/終了位置（A-B リピート、動画のシーンセクター）

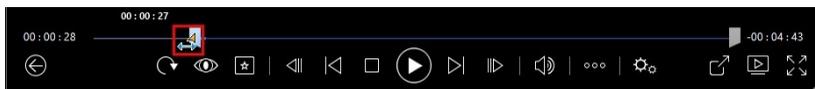
[メディア ライブラリー] のムービー ファイルや動画のお気に入りのシーンに、開始/終了位置（A-B リピート）を付けることができます。プログラムを閉じた後でもその開始/終了位置（A-B リピート）は記録され、次に起動する時もその部分のみが再生されます。

動画にマークを付けるには、次の操作を行います。

1. [メディア ライブラリー] のムービー ファイルや動画を参照して、ファイルをダブルクリックして再生を開始します。
2.  をクリックして、キーボードの [スペース] バーを押します。
3. ナビゲーション スライダーの上にマウスを置くと、再生マーカが表示されます。

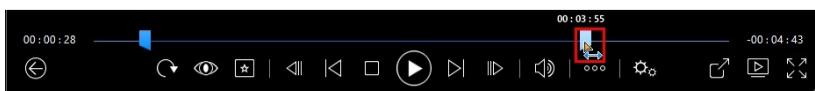


4. 開始位置（左側のアイコン）をクリックして、希望する開始位置までドラッグします。



注: マーカーを右クリックして、[時間で設定] を使って設定することもできます。詳細は、[「時間で設定」](#) を参照してください。

5. 終了位置 (右側のアイコン) をクリックして、希望する終了位置までドラッグします。



6. 再生を再開すると、マーカー間のシーンのみが再生されます。

注: 動画からマーカーを削除するには、いずれかを右クリックして **[A-B リピートの解除]** を選択します。

時間で設定

開始/終了の位置を秒単位で設定する場合、マーカーを右クリックして **[時間で設定]** を選択すると、次のダイアログが開きます。



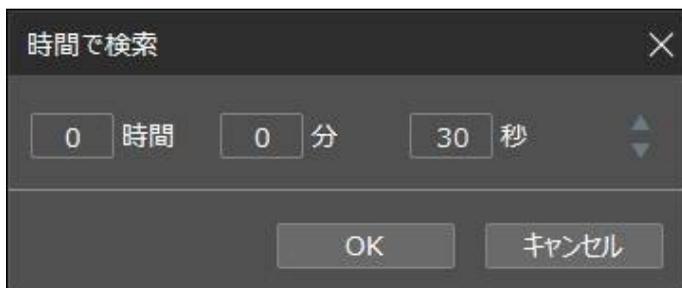
開始/終了位置 (A-B リピート) のタイムコード (時間、分、秒) を入力して、**[OK]** をクリックします。

時間で検索

[時間で検索] 機能を使用すると、ディスク、ムービー ファイル、動画、曲の特定の時間位置に移動できます。

[時間で検索] を使用するには、次の操作を行います。

1. メディアを再生中に、ナビゲーション スライダーを右クリックします。[時間で検索] ダイアログ ボックスが表示されます。



2. 時間 (時間、分、秒) を入力して、[OK] をクリックします。入力した時間から再生が続行します。

メディアの再生メニュー

メディアの再生メニューから様々な便利な機能にアクセスできます (再生中のメディアによってアクセス内容は異なります)。

注:メディアの再生メニューは、音楽、フォト スライドショー、VCD または SVCD の再生中は利用することができません。

DVD の再生メニュー

DVD を再生中に  ボタンをクリックすると、次の機能にアクセスできます。

- **ブックマークの追加:**ムービーにブックマークを追加します。詳細は、[「ブックマークの機能」](#)を参照してください。

- **ブックマーク/チャプター**:ディスクのチャプターに移動したり、現在のブックマークおよびチャプターをビューアーで表示します。詳細は、[「ブックマークビューアー」](#) または [「チャプタービューアー」](#) を参照してください。
- **メニュー選択**:表示可能なディスクメニューにアクセスします。
- **続きから再生**:再生中にディスクのメニューを開き、このオプションを選択すると、元のシーンに戻ります。

注:再生を停止した場合、メニューから [\[続きから再生\]](#) を選択することはできません。

- **音声言語**:再生する音声言語を選択します。再生可能な言語は、ディスクタイトルによって異なります。
- **字幕(主)**:デフォルトの字幕を選択します。通常、字幕(主)は画面の下部に表示されます。
- **字幕(副)**:デフォルト字幕(主)と共に表示する字幕(副)を選択します。通常、字幕(副)は画面の上部に表示されます。
- **画面アングル**:一部のディスクタイトルで使用できます。このオプションを選択すると、カメラのアングルを切り換えることができます。
- **スナップショット**:DVDのフレームを取り込みます。動画中のフレームはWindowsのクリップボードにコピーされ、スナップショットとしてコンピューターに保存されます。スナップショットの形式設定と保存フォルダーに関する詳細は、「他の全般設定」の [「スナップショット」](#) セクションを参照してください。
- **拡張機能**:A-Bリピート、アングルの切り換えなどの詳細機能にアクセスできます。詳細は、[「拡張機能」](#) を参照してください。

ブルーレイ ディスクの再生メニュー

ブルーレイ ディスク* を再生中に  ボタンをクリックすると、次の機能にアクセスできます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

- **メニュー選択:**表示可能なディスクメニューにアクセスします。
- **続きから再生:**再生中にディスクのメニューを開き、このオプションを選択すると、元のシーンに戻ります。

注:再生を停止した場合、メニューから [続きから再生] を選択することはできません。

- **静止オフ:**再生を一時停止し、メニューがアクティブである場合、再生を再開します。
- **チャプター:**ディスクのチャプターに移動したり、チャプターのリストをブラウザで表示します。詳細は、[「ブラウザ」](#)を参照してください。
- **PiP ビデオ:**追加コンテンツを含む PiP (ピクチャー イン ピクチャー) ウィンドウを有効にします (一部のブルーレイ ディスク タイトルで利用可能)。
- **音声言語:**利用可能なオーディオストリーム (ダイアログ言語) を選択します。再生可能な言語は、ディスクタイトルによって異なります。
- **PiP 音声言語:**PiP ビデオを再生中に、[PiP 音声言語] リストから PiP ビデオの言語を選択します。
- **字幕 (主):**デフォルトの字幕を選択します。通常、字幕 (主) は画面の下部に表示されます。
- **字幕 (副):**デフォルト字幕 (主) と共に表示する字幕 (副) を選択します。通常、字幕 (副) は画面の上部に表示されます。
- **画面アングル:**一部のディスクタイトルで使用できます。このオプションを選択すると、カメラのアングルを切り換えることができます。
- **拡張機能:**他の再生機能 (ナビゲーション ボタンやリモコン対応のカラー ボタンなど) にアクセスします。詳細は、[「拡張機能」](#)を参照してください。

ムービー ファイル/動画の再生メニュー

ムービー ファイル、YouTube/Vimeo の動画、ビデオ クリップを再生中に  ボタンをクリックすると、次の機能にアクセスできます。

注:[ムービー ライブラリー] セクションで DVD/ブルーレイ ディスクを再生中に  ボタンをクリックすると、通常のディスクとしてメディア再生メニューにアクセスできます。詳細は、[「DVD の再生メニュー」](#) または [「ブルーレイ ディスクの再生メニュー」](#) を参照してください。

- **ブックマークの追加:**ムービー ファイル/動画にブックマークを追加します。詳細は、[「ブックマークの機能」](#) を参照してください。
- **ブックマーク/チャプター:**ムービー ファイル/動画に追加されるブックマークを、ブックマーク ビューアーで表示します。詳細は、[「ブックマーク ビューアー」](#) を参照してください。
- **音声言語:**利用可能なオーディオ ストリーム (ダイアログ言語) を選択します。再生可能な言語は、動画ファイルによって異なります。
- **画質:**YouTube または Vimeo の動画を再生中にこのオプションを選択して、画質を設定します。
- **字幕 (主):**外部の字幕ファイルを読み込んで、字幕設定にアクセスします。詳細は、[「外部字幕ファイルを読み込む」](#) または [「字幕設定」](#) を参照してください。
- **字幕 (副):**デフォルトの字幕 (主) と共に表示する字幕 (副) を読み込んで、字幕 (副) の設定を編集します。詳細は、[「外部字幕ファイルを読み込む」](#) または [「字幕設定」](#) を参照してください。
- **画面アングル:**一部のムービー ファイルで使用できます。このオプションを選択すると、カメラのアングルを切り換えることができます。
- **スナップショット:**動画中のフレームを取り込みます。動画中のフレームは Windows のクリップボードにコピーされ、スナップショットとしてコンピューターに保存されます。スナップショットの形式設定と保存フォルダー

に関する詳細は、「他の全般設定」の [「スナップショット」](#) セクションを参照してください。

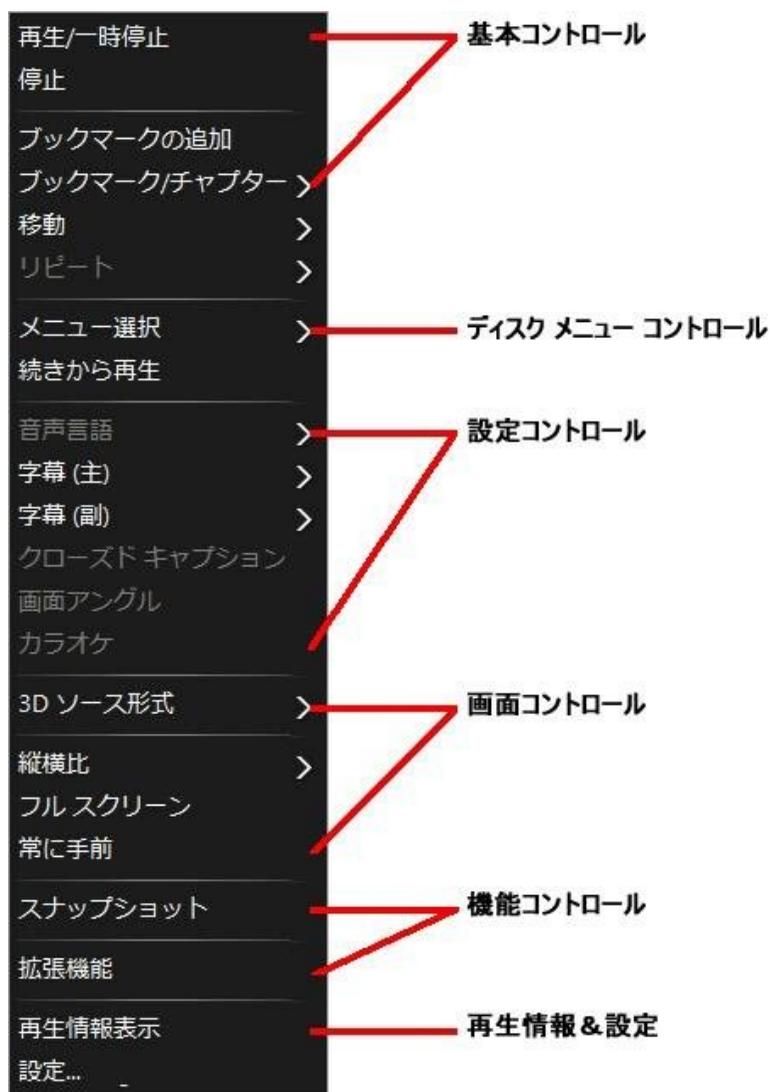
注:WTV ファイルの再生中は、これらの動画再生メニュー オプションはご利用いただけません。ただし、WTV の再生中に、好みのビデオ/オーディオストリームや、字幕を選択することはできます。

動画再生を停止時に  ボタンをクリックすると、次の機能にアクセスできます。

- **ブックマーク ビューアー:**ムービー ファイル/動画に追加されるブックマークを、ブックマーク ビューアーで表示します。詳細は、[「ブックマーク ビューアー」](#) を参照してください。

エクスプレス メニュー

コンテンツの再生中に、エクスプレス メニューから、CyberLink PowerDVD のコントロールや再生機能にアクセスできます。エクスプレス メニューにアクセスするには、再生中にメディア ウィンドウを右クリックします。



注:エクスプレスメニューに表示される機能は、再生中のメディアの種類、および特定のメディア（ディスクタイトル、動画ファイルなど）の機能によって異なります。

基本コントロール

[基本コントロール] は、ムービーおよび動画を再生中に、移動メニューやブックマーク等にアクセス可能なコントロールです。

再生コントロール

CyberLink PowerDVD の再生コントロール（再生、停止、一時停止など）が表示されます。[再生先] を選択して、他のデバイスまたはディスプレイで現在のメディアを再生します。詳細は、[「他のディスプレイ/デバイスでメディアを再生する\(再生先\)」](#)を参照してください。

ブックマークの追加

[ブックマークの追加] オプションを選択すると、ムービー/動画の再生中にブックマークが追加されます。

ブックマーク/チャプター

ディスクのブックマーク/チャプター サムネイルを表示します。詳細は、[「ブックマークビューアー」](#)または[「チャプタービューアー」](#)を参照してください。

移動

[移動] オプションから、再生可能なタイトルのチャプターを選択します。チェックマークが付いているものは現在再生中のタイトルで、タイトルの右矢印にマウスカーソルを移動するとチャプターが表示されます。チャプターへのアクセスは、[ブラウザー] または [チャプタービューアー] オプションを使うこともできます。

リピート

チャプター、メディア ファイル、ディスク タイトルの再生を繰り返します。ディスクを再生中に、[\[Say-It-Again\]](#) および [\[A-B リピート\]](#) にアクセスすることもできます。

シャッフル

スライドショー、ムービー ファイル、動画を再生中にこのオプションを選択すると、フォルダー/プレイリスト中のメディアがランダムに再生されます。

ディスク メニュー コントロール

ディスクを再生中に、エクスプレス メニューからディスク メニュー コントロールにアクセスすることができます。

DVD メニュー コントロール

DVD タイトルを再生中に、エクスプレス メニューでは次のメニュー コントロールが利用できます。

メニュー選択

[メニュー選択] オプションを使うと、表示可能なメニューに移動します。詳細は、[「ディスク メニューにアクセスする」](#) を参照してください。

続きから再生

再生中にディスクのメニューを開き、**[続きから再生]** を選択すると、元のシーンに戻ります。

注:再生を停止した場合、メニューから **[続きから再生]** を選択することはできません。

ブルーレイ ディスク メニュー コントロール

ブルーレイ ディスク* タイトルを再生中に、エクスプレス メニューでは次のディスク メニュー コントロールも利用できます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

静止オフ

再生を一時停止し、メニューがアクティブである場合、再生を再開します。

基本設定コントロール

設定コントロールから、音声言語、字幕、画面アングルなどの機能にアクセスすることができます。

DVD および動画設定コントロール

ディスクを再生中に、エクスプレス メニューでは次の設定が可能です。

音声言語

[音声言語] メニューから、再生する音声言語を選択します。再生可能な言語は、ディスク タイトルによって異なります。

字幕

[字幕(主)] で、デフォルトの字幕を選択します。通常、字幕(主)は画面の下部に表示されます。

[字幕(副)] では、デフォルトの字幕と同時に、副字幕が必要な場合に選択します。通常、字幕(副)は画面の上部に表示されます。

クローズド キャプション

クローズド キャプションは、聴覚障害者向けの機能で（一部のディスク タイトルに対応）、動画コンテンツ上に文字で表示されます。オープン キャプションとは異なり、ビデオ信号では表示されず、特殊なデコーダーが必要です。**[設定]** オプションを選択して、クローズド キャプション テキストの表示方法を変更します。詳細は、「クローズド キャプションの設定」を参照してください。

画面アングル

一部のディスク タイトルで使用できます。このオプションを選択すると、カメラのアングルを切り換えることができます。

カラオケ

[カラオケ] オプションは、カラオケ ディスクの再生時に使用できます。詳細は、[「カラオケディスクを再生する」](#)を参照してください。

ブルーレイ ディスク設定コントロール

ブルーレイ ディスク* タイトルを再生中に、エクスプレス メニューでは次の設定コントロールも利用できます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

PiP ビデオ

追加コンテンツを含む PiP (ピクチャー イン ピクチャー) ウィンドウを有効にします (一部のブルーレイ ディスク タイトルで利用可能)。

PiP 音声言語

一覧から、PiP ビデオの言語を選択します。

字幕 (主) (ブルーレイ ディスク)

PiP ビデオを表示する場合、**字幕 (主)** に PiP ビデオ用の追加字幕が表示される場合もあります (言語の横に、「**PiP から**」 と表示)。PiP の字幕を選択すると、字幕はメインの映像に表示されます。

注:PiP ビデオが終了または閉じられた場合、最初に選択された字幕 (主) に戻ります。

画面コントロール

[画面コントロール] は、3D ソース形式を設定したり、再生中のメディア コンテンツの縦横比などが調整可能なコントロールです。

3D ソース形式

3D コンテンツの表示形式を変更する場合、このオプションを選択します。詳細は、[「3D ソース形式を変更する」](#) を参照してください。

360° 映写形式の設定

360° コンテンツの表示形式を変更する場合、このオプションを選択します。詳細は、[「360° 映写形式を設定する」](#) を参照してください。

縦横比

[縦横比] オプションでは、TrueTheater Stretch、デジタルズーム、Pan&Scanなどの機能にアクセスできます。

縦横比を維持

[縦横比を維持] オプションを選択すると、動画コンテンツとウィンドウの縦横比が保たれ、必要に応じてレターボックスが追加されます。

画面に合わせてストレッチ

[画面に合わせてストレッチ] では、ムービーをストレッチしてウィンドウのサイズに合わせてみます。

クロップして枠に入れる

ウルトラワイドの 21:9 モニターで 2:35:1 ブルーレイムービー/動画を再生中に **[クロップして枠に入れる]** を選択すると、端の黒帯部分がクロップされて枠内に表示されます。標準の 16:9 モニターの場合も拡大表示されます。

TrueTheater Stretch*

[TrueTheater Stretch] 機能は、フルスクリーンモードでのみ使用できます。ワイドスクリーンの縦横比の DVD に適しています (例: 4:3 モニターで 16:9 が最適)。この機能では CyberLink 独自の Pano Vision ビデオテクノロジーを使用してムービーをストレッチし、モニターのサイズに合わせます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

利用可能な TrueTheater Stretch モードは次の通りです。

- **スマートストレッチ:**画像の中央はそのまま、端をわずかにクロップ&ストレッチします。
- **フィットスクリーン:**画像の中央はそのまま、端をわずかにストレッチします。
- **スマート 2.35:1:2.35:1** 縦横比のディスクを再生する場合、ワイドスクリーン (16:9 または 16:10) のディスプレイスペースに最大に表示します。

Pan&Scan

[Pan&Scan] では、ディスクコンテンツの中央部分を表示し、表示エリアをドラッグすることで動画の全範囲を表示します。この機能は、フルスクリーンモード、および 2.35:1 か 1.85:1 のディスクタイトルでのみ利用できます (4:3 モニターでのワイドスクリーンコンテンツが最適)。この機能を使用する場合は、ディスクタイトルの縦横比を確認してください。

Pan&Scan 機能では、レターボックスなしにコンテンツが表示されますが、映像の一部が表示されなくなります。Pan&Scan のデフォルト位置は中央に設定されていますが、画面を左右にドラッグして移動させることもできます。

フルスクリーン/元に戻す

[フルスクリーン/元に戻す] を選択すると、フルスクリーンモードに切り替わります。

常に手前に表示する

他のプログラムやウィンドウを開いても、常に CyberLink PowerDVD はコンピューターの手前に表示されます。

機能コントロール

ディスク/他のメディア ファイルを再生中に、エクスプレスメニューでは次の機能にアクセスできます。

スナップショット

DVD/動画中のフレームを取り込みます。動画中のフレームは Windows のクリップボードにコピーされ、スナップショットとしてコンピューターに保存されます。スナップショットの形式設定と保存フォルダーに関する詳細は、「他の全般設定」の [「スナップショット」](#) セクションを参照してください。

拡張機能

A-B リピート、アングルの切り換えなどの詳細機能にアクセスできます。詳細は、[「拡張機能」](#) を参照してください。

共有先

画像を表示時に選択し、ソーシャル ネットワークまたはメールで共有します。

印刷

フォト スライドショーを再生時に選択し、現在の画像をプリンターで印刷します。クリックすると、コンピューターのデフォルトのフォト ビューアーに画像が

送信されます。必要に応じて、コンピューターのデフォルトのフォトビューアーを使って画像を印刷します。

PowerDVD の壁紙として設定

現在の画像を PowerDVD のカスタムの壁紙として使用します。詳細は、[「壁紙」](#)を参照してください。

プログラムから開く

他のプログラムで画像を開くには、**[プログラムから開く]** から使用するプログラムを選択します。

ディスクから削除

現在の画像をライブラリーおよびコンピューターのハードドライブから削除します。

ファイル保存先

ファイルが保存されるフォルダーを Windows のエクスプローラーで表示する場合、このオプションを選択します。

再生情報と設定

エクスプレスメニューのこのセクションでは、OSD (オンスクリーンディスプレイ) をオン/オフにしたり、PowerDVD の設定ウィンドウにアクセスしたりすることができます。

再生情報表示

[再生情報表示] を有効にすると、可変ビデオビットレートや、Dolby Digital 5.1、Dolby Digital 2.0、DTS 5.1 といった音声形式、オーディオビットレートが

OSD (オン スクリーン ディスプレイ) 上に表示されます。また、経過時間、残り時間、チャプター、タイトルの情報も表示されます。

注:この機能は、動画の解像度もしくはディスプレイの解像度が 3300 x 1900 を超える場合、ご利用いただけません。

スライドショーの基本設定

フォト スライドショーを再生時に選択し、スライドショーの基本設定を調整します。各画像の **[表示時間]** を選択して、次の画像を表示するまでの時間を指定します。スライドショーに適用する **[エフェクト]** を選択します。**[モーション]** を選択すると、各画像にパン&ズームで移動します。**[フェード]** を選択すると、画像間にフェード エフェクトが追加されます。

設定

設定ウィンドウにアクセスします。詳細は、[「PowerDVD の設定 - プレーヤーの設定」](#) を参照してください。

再生メニュー

再生メニューには、チャプターのショートカットがあり、ムービー ディスクの再生中に、ブラウザーとチャプター ビューアーにもアクセスできます。

1. 再生メニューにアクセスするには、再生中に再生コントロールの  か  ボタンを右クリックします。チェックが付いたものは、現在再生中のチャプターです。
2. 再生するチャプターを選択して、そのチャプターに移動します。

ブラウザー

ディスクを再生中に、[ブラウザー] から再生可能なタイトル、チャプター、追加済み BookMark が選択できます。

1. [ブラウザ]を開くには、再生中にメディア ウィンドウを右クリックして、[移動] > [参照]を選択します。赤いポイントが付いたものは、現在再生中のチャプターです。



2. チャプターまたはブックマークを選択し、[移動]をクリックして再生を開始します。

チャプター ビューアー

チャプタービューアーでは、グリッドビューでDVDチャプターサムネイルを表示します。再生メニュー()をクリックして、[ブックマーク/チャプター]の[チャプタービューアー]を選択)またはエクスプレスメニューの[移動]または[ブックマーク/チャプター]オプションからもアクセスすることができます。

注:チャプタービューアーは、コンテンツ保護の理由により、ブルーレイディスク再生中は利用できません。

リモコンかマウスを使って、チャプターサムネイルをブラウズします。特定のチャプターを選択して、そのチャプターから再生を開始します。

注:チャプタービューアーを使用すると、コンピューターに全チャプターのサムネイルが保存されます。サムネイルを管理し、ディスクの空き容量を確保するには、[「全般の設定」](#)の「**キャッシュファイル**」セクションを参照してください。

PowerDVD Remote で再生をコントロールする

PowerDVD Remote* がインストールされている Android または iOS デバイスを使って、CyberLink PowerDVD がインストールされているコンピューター中のメディアをコントロールすることができます。アプリのダウンロードおよび設定に関する詳細は、[「PowerDVD Remote を設定する」](#)を参照してください。

注:PowerDVD Remote は、CyberLink PowerDVD の TV モード向けに最適化されています。最適に表示させるには、[TV モードに切り替え](#)ることをお勧めします。* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

PC モードで PowerDVD Remote を使用するには、**[ナビゲーション]** および **[マウス]** タブを使って再生するメディアを検索、選択します。**[再生]** タブを使って、メディアの再生をコントロールします。

第 8 章:

再生機能

CyberLink PowerDVD には、メディアをさらに高品質で視聴可能な様々な再生機能が搭載されています。

TrueTheater エンハンスメント

TrueTheater は、メディアを高品質で再生するための CyberLink 独自の映像・音声技術です。ブルーレイ、DVD、動画ファイル (ムービー ファイルを含む)、YouTube や Vimeo の動画を再生中に、TrueTheater ビデオ エンハンスメントを有効にすると、高画質で再生することができます。

注:再生中に TrueTheater エンハンスメントが使えない場合、次のセクションから考えられる原因を確認してみてください。[TrueTheater が利用できない環境](#)

再生中に  ボタンをクリックして、[TrueTheater エンハンスメント] を有効にします。

注:再生を停止中に  をクリックして [可能時に TrueTheater を有効にする] を選択すると、再生中に TrueTheater エンハンスメントが自動的に適用されます (動画が TrueTheater に対応する場合)。

有効時には、 のように表示されます。TrueTheater を無効にするには、もう一度  をクリックします。

TrueTheater の設定を行う

[TrueTheater] のウィンドウを開くには、 をクリックして [TrueTheater の設定] を選択するか、 を右クリックします。[TrueTheater の設定] ウィンドウでは、次のオプションを設定することができます。

▼ エンハンスメント (スマート)

このタブから、再生中に TrueTheater エンハンスメントを自動的に適用することができます。TrueTheater ビデオ エンハンスメントが自動的に適用 (オン、オフ) され、パフォーマンスが最適化され、高画質、高音質で再生できます。

- **動画:**ビデオ エンハンスメントを有効にして画質を補正します。スライダーを左右にドラッグして、TrueTheater ビデオ エンハンスメントの適用レベルを調整します。TrueTheater ビデオ エンハンスメントにより、動画の明るさ、コントラスト、色彩が補正され、より鮮明に表示されます。また、動画がさらにシャープに表示され、動画のダイナミックレンジも HDR で表示されます (システムおよびディスプレイが対応する場合)。

注:動画の解像度が 720p を超える場合、50% 以上を選択します。

- **音声:**オーディオ エンハンスメントを有効にして音質を補正します。スライダーを左右にドラッグして、TrueTheater オーディオ エンハンスメントの適用レベルを調整します。TrueTheater オーディオ エンハンスメントにより音声が増幅し、低音と会話の音量が拡大します。

▼ エンハンスメント (詳細設定)

このタブから TrueTheater エンハンスメントを次のように手動で有効化、設定します。

動画

[動画] オプションを選択すると、次の TrueTheater ビデオ エンハンスメントを有効にできます。

- **TrueTheater HD:**元の動画をより高い解像度（よりシャープ、ノイズなし）にアップスケールします。TrueTheater HD は、480p から1080p までブースト可能です。スライダーを使ってシャープを最適に調節します。
- **TrueTheater Lighting (CyberLink Eagle Vision2):**CyberLink 独自の映像技術で、動画コンテンツの明るさ、コントラストを調整します。これにより、非常に暗いシーンから明るいシーンまで幅広い映像が入った動画を再生する際にも、色の設定を変更する必要はなくなります。スライダーを使って、TrueTheater Lighting をお好みのレベルに調整します。
- **TrueTheater Color:**動画の彩度を調整します。スライダーを使って、動画の色をさらに鮮やかにします（肌の色に影響することなく）。
- **TrueTheater HDR*:**お使いのグラフィック プロセッサおよびディスプレイがハイ ダイナミック レンジ (HDR) に対応する場合、このオプションを選択して動画を HDR で表示します。

注:* この機能は、HDR 対応のシステム上でのみご利用いただけます。TrueTheater HDR は、HDR 動画には適用されません。また、3D 動画や他のデバイスで再生中の動画には適用されません。この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

- **TrueTheater Motion:**フレーム レートを 24 fps から 60 fps にアップサンプリングし、アクション ムービー等の動きをさらにスムーズに再生します。TrueTheater Motion は、フレーム レートを 60 または 72 fps に改善します（ディスプレイの出力フレームによって異なります）。
- **TrueTheater Noise Reduction:**ホーム ビデオ ファイルのビデオ ノイズ（High-ISO やテレビ信号のノイズを含む）を低減します。有効にしてから、スライダーをドラッグしてノイズ リダクションのレベルを調整します。

注:この機能は、ディスク再生ではご利用いただけません。

- **TrueTheater Stabilizer:**手ぶれのあるホームビデオファイルに動き補償(モーションコンペンセーション)を適用します。三脚を使わずに撮影されたものや動きながら撮影された動画ファイルに適しています。

注:この機能は、ディスク再生ではご利用いただけません。

音声

[音声] オプションを有効にすると、TrueTheater オーディオエンハンスメントが有効になります。スライダーを左右にドラッグして、適用レベルを調整します。TrueTheater オーディオエンハンスメントにより音声が増幅し、低音と会話の音量が拡大します。

TrueTheater が利用できない環境

再生中に TrueTheater エンハンスメントが利用できない環境は次の通りです。

注:TrueTheater エンハンスメントを適用中は、ハードウェアの設定内容によっては、30 FPS を超えるフレームレートの動画は 30 FPS に制限される可能性があります。

- Ultra ブルーレイ、ブルーレイ 3D ディスク、3D 動画ファイル、MOV (alpha PNG) ファイルを再生時は、TrueTheater ビデオエンハンスメントは利用できません。
- 動画の解像度が 4096×2160* を超える場合、TrueTheater Lighting、Color、HDR は調整できません。
- 動画の解像度が 1920×1080 を超える場合、TrueTheater HD、Motion、Noise Reduction は調整できません。
- キャスティングの解像度が 1920×1080 を超える場合、TrueTheater HD、Motion、Noise Reduction は調整できません。

- TrueTheater ビデオ エンハンスメントは、DLNA ネットワーク (DTCP-IP) の動画には対応しません。
- TrueTheater HDR は、HDR 動画には対応しません。
- TrueTheater HDR は、ウィンドウ** モードにのみ対応します (グラフィック カードおよびディスプレイに対応する場合)。
- DVD ムービー、360° 動画、3D 動画、動画ファイルの解像度が 4096×2160 を超える場合、TrueTheater HDR は調整できません。
- HDMI 音声出力モードが [\[その他音声設定\]](#) で "デコードされていない" パススルーが外部デバイス オプションのいずれかに設定されている場合、TrueTheater オーディオ エンハンスメントは利用できません。

注:* TrueTheater ビデオ エンハンスメントは、Windows 64 ビットの 4K ビデオにのみ対応します。 ** 特定の NVIDIA/Intel/AMD GPU 搭載のコンピューターでのみ、ウィンドウ モードで TrueTheater HDR を実行できません。

TrueTheater ディスプレイ モード

[ディスプレイ モード] オプションは、TrueTheater ビデオ エンハンスメントを有効時に使用可能で、再生中に表示されるエンハンスメントの形式を選択することができます。

次のディスプレイ モードから選択できます。

- : 全体の映像にビデオ エンハンスメントが適用されます (通常モード)。
- : 左半分には元の映像が、右半分にはビデオ エンハンスメントが適用され、両方を比較することができます (分割モード)。
- : 映像全体にビデオ エンハンスメントが適用され、比較モードでプレビューされます。左側には元の映像が、右側には補正した映像 (左右同じもの) が表示されます。

360° メディアの再生

[PowerDVD メディア ライブラリー](#) に入っている 360° * の動画ファイルおよび画像 (360° および 3D 360°) を表示することができます。YouTube および Vimeo の 360° 動画や、空間音声が含まれる 360° 動画を再生することもできます。

注:360° メディアは、[VR モード \(バーチャルリアリティー\)](#) からアクセスすると最適に表示されます (対応する VR ヘッドセットを使う場合)。

メディア ライブラリーに読み込むと 360° 動画/画像ファイルが自動的に検出され、左上に [360°] のロゴが表示されます。

注:読み込んだ 360° のメディア ファイルが正常に表示されないことがあります (360° のロゴが表示されない)。通常、正距円筒図法または正距円筒図法 (パック) の映写形式が使われていない場合に起こります。これらの形式のメディア ファイルの出力に関する詳細は、360° カメラの説明書をご覧ください。* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

▼ 360° 映写形式を設定する

360° メディア ファイルが未検出であっても、表示可能な形式で出力されている場合、360° 映写形式を手動で設定することができます。間違っ360° ファイルとして検出されたものは、360° モードを無効にすることもできます。

360° 映写形式を設定するには、次の操作を行います。

1. メディア ウィンドウを右クリックして、**[360° 映写形式の設定]** を選択します。
2. 次のいずれかを選択して、360° 映写形式を設定します。

- **正距円筒図法:**「正距円筒図法」は、360° 動画に使われる標準の投影法で、360° の環境を、長方形の画面上に球状で映し出します。
- **正距円筒図法 (パック):**「正距円筒図法 (パック)」は、サムネイルを表示時に、上下にコンテンツ (2つのイメージ) が表示されます。
- **等角キューブマップ:**この投影法を選択すると、キュービック状の映像が表示されます。映像は、全方向に回転できます。
- **3D 等角キューブマップ:**等角キューブマップの形式に、3D 効果がついた形式です。
- **非 360° :**選択したメディア ファイルが 2D コンテンツの場合、このオプションを選択します。

▼ 360° ビュー モードを変更する

360° メディア ファイルを再生する場合、4つのビュー モードを使うことができます。

360° ビュー モードを変更するには、次の操作を行います。

1. メディア ウィンドウを右クリックして、**[360° ビュー モード]** を選択します。
2. 次のいずれかを選択して、360° ビュー モードを設定します。
 - **シングル ビュー (デフォルト):**映像の中心から 360° の環境を表示することができます。マウスをクリック & ドラッグするか、キーボードの矢印キーを使ってボールの位置を変更し、360° の環境を表示します。
 - **前後ビュー:**メインに 360° メディアが表示され、小さいウィンドウに後部の映像が表示されます。小さいウィンドウをクリックすると、その映像に移動します。
 - **三面ビュー:**メインに 360° メディアが表示され、2つの小さいウィンドウに左右の映像が表示されます。プレビュー ウィンドウをクリックすると、その映像に移動します。

- **パノラマビュー:360°** メディアがパノラマビューで一度に表示されません。

▼ 360° 動画ファイルを再生する

メディアライブラリーに 360° 動画ファイルが読み込まれていれば、360° ビューアーモードで再生することができます。360° ビューアーモードで 360° 動画ファイルを再生するには、次の操作を行います。

1. メディアライブラリーから 360° 動画ファイルを選択します。
2. [再生] ボタンをクリックして、再生を開始します。自動的に 360° モードで再生されます。
3. マウスを使う (プレビューウィンドウをクリック&ドラッグ) かキーボードの矢印キーを使って、360° の環境を表示します。360° ナビゲーターをクリックして、表示する方向を変更することもできます。

▼ 360° の写真を表示する

360° の写真をメディアライブラリーに読み込む方法は、多少異なります。360° ビューアーモードで 360° の写真を表示するには、次の操作を行います。

1. メディアライブラリー中の 360° の写真ファイルをダブルクリックします。自動的に 360° モードで表示されます。

注:プレイリストのフォルダーまたはスライドショーのプレイリストから複数の 360° 写真を表示するには、再生ボタンをクリックしてスライドショーを開始します。スライドショーは 360° モードで再生され、表示方向が自動的に切り替わります。

2. マウスを使う（プレビュー ウィンドウをクリック&ドラッグ）かキーボードの矢印キーを使って、360° の環境を表示します。360° ナビゲーターをクリックして、表示する方向を変更することもできます。

注:360° モードで表示中に写真を右クリックし [クリップボードにコピー] を選択すると、スクリーンショットが取得されます。コピーした画像を CyberLink PowerDVD 以外のプログラムに貼り付けることができます。

▼ 360° Vimeo/YouTube 動画を再生する

360° Vimeo / YouTube 動画 (+ ピン留め 360° YouTube 動画) は、360° ビューアー モードで再生することができます。360° ビューアー モードで 360° Vimeo/YouTube 動画を再生するには、次の操作を行います。

1. メディア パネルの [オンライン動画] セクションの [Vimeo] または [YouTube] タブを開き、360° 動画を選択します。
2. [再生] ボタンをクリックして、再生を開始します。自動的に 360° モードで再生されます。
3. マウスを使う（プレビュー ウィンドウをクリック&ドラッグ）かキーボードの矢印キーを使って、360° の環境を表示します。360° ナビゲーターをクリックして、表示する方向を変更することもできます。

▼ 360° ナビゲーター

360° メディアを表示すると、メディア ウィンドウの左上に 360° ナビゲーターが表示されます。映し出される方向がマークで示されます。

360° ナビゲーターをクリックして、他の方向を表示することができます。



▼ 360° コンテンツを再生中に利用できない機能

360° 動画を再生中に、3D モード、動画の回転、字幕、再生先 (メディアのキャスト、ストリーミングなど) などの機能は利用できません。360° 写真は、回転、共有、印刷、PowerDVD の壁紙として設定できません。

3D 再生

CyberLink PowerDVD は、3D ブルーレイ ディスク*、DVD*、動画ファイル*、3D YouTube 動画* の再生および、JPS、MPO、サイドバイサイド 3D 画像* の 3D 表示に対応しています。TrueTheater 3D* を使って 2D ブルーレイ ディスク、DVD ムービー、動画ファイル、YouTube 動画、画像 を 3D に変換することもできます。

3D 再生時の注意:3D 動画を再生中に頭痛、眩暈、吐き気、目がぼやける、その他の症状を感じた場合は、直ちに動画鑑賞を止め、医者 の指示を仰ぐようお勧めします。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

3D 再生を開始する前に、3D ディスプレイを設定することをお勧めします。3D ディスプレイ設定に関する詳細は、[「ディスプレイ」](#) を参照してください。

3D 再生を有効にする

3D* 再生を有効にするには、再生コントロールの  ボタンを選択して、[3D メディアを 3D で再生] オプションを選択します。すべての 3D メディア (3D** ブルーレイ ディスク、DVD、3D 動画ファイル、3D 画像) の再生が有効になり、3D メディアを選択すると 3D で自動的に再生されます。

注:** 3D ブルーレイ ディスク再生対応の CyberLink PowerDVD のエディションでは、設定で再生を有効にする必要があります。有効化に関する詳細は、[「ブルーレイ 3D」](#) を参照してください。

2D メディアを 3D に変換* する場合、[「3D ディスプレイの基本設定 - 全般」](#) の [2D メディアを 3D に変換] オプションを選択します。再生を開始すると、TrueTheater 3D により、すべての 2D メディア (2D ブルーレイ ディスク、DVD、動画ファイル、YouTube 動画、画像) が 3D に変換されます。

注: 3D 再生を無効にするには、上のオプションを選択解除してください。

3D ディスプレイまたは再生の設定を調整するには、再生コントロールの  をクリックして [その他 3D 設定] を選択します。設定オプションに関する詳細は、[「3D ディスプレイの基本設定」](#) を参照してください。

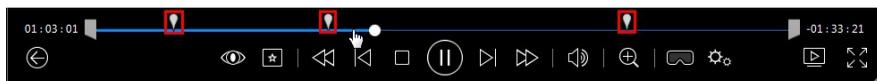
注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。3D の再生中は、一部の機能が無効になります。

ブックマークを追加する

DVD、ムービー ファイル、動画を再生中に  を選択すると、お気に入りのシーンをブックマークしたり、ブックマーク ビューアーにアクセスすることができます。

シーンにブックマークを追加するには、 をクリックして [ブックマークの追加] を選択します。動画にブックマークを付けると、ナビゲーションスライダー

の上にマークが追記されるため、あとでそのシーンに瞬時に移動することができます。



ブックマーク ビューアー

[ブックマーク ビューアー] では、DVD、ムービー ファイル、動画にブックマークした全シーンを表示、編集することができます。既存のブックマークにコメントを追加したり、DVD のブックマークをハードドライブに書き出したり、ハードドライブから読み込んだりして、編集することもできます。

再生中に [ブックマーク ビューアー] を開くには、 をクリックして [ブックマーク/チャプター] > [ブックマーク ビューアー] を選択します。[動画] タブで再生を停止した場合、 をクリックして [ブックマーク ビューアー] を選択します。

DVD の場合、再生中のディスクの全ブックマークが表示されます。動画の場合、再生中の動画の全てのブックマークが表示されます。左側には、ブックマークが含まれる全ての動画が表示されます。

[ブックマーク ビューアー] では、次のタスクを実行することができます。

注:動画のブックマークでは、一部のタスクはご利用いただけません。

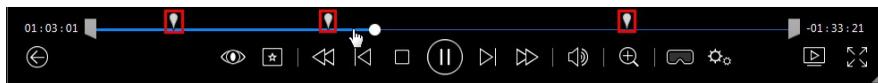
- 左側の動画ファイルを選択すると、その動画の全ブックマークが表示されず。
- メイン ウィンドウのブックマークをクリックするとそのシーンから再生します。または [再生] ボタンをクリックすると、最初のブックマークのシーンを再生します。詳細は、[「ブックマークを再生する」](#) を参照してください。
- [編集] をクリックして、コメントをブックマークに追加します。[保存] をクリックして変更内容を保存するか、[キャンセル] をクリックして変更内容を破棄します。

- 特定のブックマークを削除するには、**[編集]** ボタンをクリックして、ブックマーク横の  ボタンをクリックします。
- **DVD のブックマークの場合、[書き出し]** をクリックすると、ハードドライブに MovieMark ファイルとしてブックマークが保存されます。BMK 形式で保存され、別のコンピューターに読み込んだり、友達にメールで送信したりすることができます。
- DVD のブックマークの場合、 をクリックして、ブックマーク (MovieMark) をブックマーク ビューアーに読み込みます (BMK 形式)。左上のドロップダウンをクリックすると、読み込まれた MovieMark が含まれるムービーの一覧が表示されます。ブックマークしたムービーのシーンを表示するには、そのムービーの DVD が挿入されている必要があります。
- リスト ビューからブックマーク (MovieMark) を削除するには、それを選択して  をクリックします。
- **[終了]** をクリックすると [ブックマーク ビューアー] が閉じ、DVD または動画に戻ります。

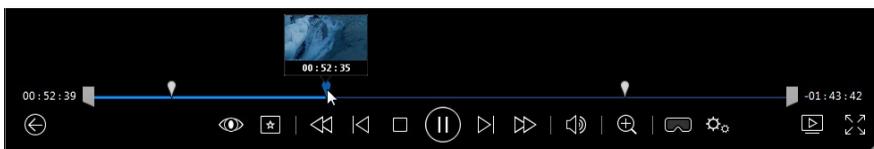
ブックマークを再生する

個々の MovieMark またはブックマークを再生すると、ブックマークが追加された位置から開始します。次のブックマークの位置に移動するには、キーボードの [G] キーを押します。

ムービー ファイルや動画の場合、ナビゲーション スライダーの上にマウスを置くと、ブックマークしたシーンが表示されます。



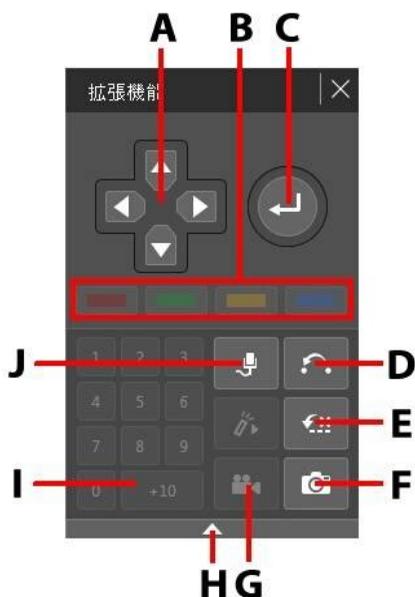
ブックマークの上にマウスを置くとシーン (サムネイル) が表示されます。クリックすると、ブックマークを付けた位置から動画の再生が開始します。



拡張機能

[拡張機能] ウィンドウでは、A-B リピートやアングルの切り換えなどの詳細機能にアクセスできます (ディスク再生中)。

[拡張機能] ウィンドウを表示するには、ディスクを再生中に  をクリックします。また、[拡張機能] の  をクリックすると、詳細ボタンが表示されます。



注:次の表には、拡張機能の特定ボタンのホットキーも含まれます。
PowerDVD のすべてのホットキーと動作に関する詳細は、[「PowerDVD のホットキー」](#)を参照してください。

	ボタン/アイコン	ホット キー	説明
A	ナビゲーション ボタン	上/下/左/右 矢印	ディスク メニューを操作します。
B		F9 (赤)、F10 (緑)、F11 (黄)、F12 (青)	リモコンの同色のボタンに対応しています。ブルーレイ ディスクの再生時のみ表示されます。
C	Enter	Enter	選択したオプションを確定します。
D	A-B リピート	X	選択したシーンをリピートします。 「A-B リピート」 を参照してください。
E	Say-It-Again	W	直前の会話を繰り返します。詳細は、 「Say-It-Again」 を参照してください。
F	スナップショット	C	動画コンテンツを画像ファイルとして取り込みます。(ブルーレイ ディスクには対応していません。)詳細は、 「スナップショットを取得する」 を参照してください。

G	アングル切り替え	A	アングルを切り換えます (切り換え可能な場合)。詳細は、 「アングル切り替え」 を参照してください。
H	拡張/折りたたむ		ウィンドウを拡張・折りたたみます。
I	1 - +10	0-9、+10 は *	ナンバー パッドです。
J	カラオケ	K	カラオケ モードを切り換えます。詳細は、 「カラオケディスクを再生する」 を参照してください。

A-B リポート

A-B リポート機能を使うと、ムービーの好きな部分を繰り返し再生できます。リポート再生の始点と終点が設定できます。現在の会話部分のみがリポートされる Say-It-Again 機能とは、この点が異なります。

A-B リポートを実行するには、次の操作を行います。

- 再生中に  ボタンをクリックすると (またはキーボードの [X] を押す)、[A-B リポート] のダイアログ ウィンドウにアクセスします。
- リポートしたいシーンの先頭で、 ボタンをクリックして始点を設定します。
-  をクリックして終点を設定します。[A-B リポート] のダイアログを閉じて、設定したシーンは繰り返し連続再生されます。
- A-B リポートをキャンセルするには、 ボタンをクリックするか、リポートシーンから移動します (ナビゲーション スライダーで次または前のチャプターへ移動)。

注:この機能は、ブルーレイ ディスク タイトルには対応していません。

Say-It-Again

Say-It-Again 機能を使うと、再生中の会話を繰り返すことができます。Say-It-Again 機能を実行するには、次の操作を行います。

1. 繰り返し再生したい会話シーンで  をクリックします。
2. オフにするには、もう一度  をクリックします。

アングル切り換え

アングル切り替え機能は、音楽コンサート ディスクの一部でご利用できます。再生中に  をクリックして、アングルを切り換えます。

メニュー/ナンバー パッド

メニュー/ナンバー パッドには、ナビゲーション ボタン、数字入力用キーパッド、その他の機能のボタンがついています。

スナップショットを取得する

DVD、ムービー ファイル、動画を再生中に、お気に入りのシーンから個々のフレームを取り込むことができます。動画中のフレームは Windows のクリップボードにコピーされ、画像ファイルとしてコンピューターに保存されます。スナップショットのファイル形式設定と保存フォルダーに関する詳細は、「他の全般設定」の [「スナップショット」](#) セクションを参照してください。

注:この機能は、ブルーレイ ディスク タイトルを再生中は利用できません。この機能は、3D モード、動画の解像度もしくはディスプレイの解像度が 3300 x 1900 を超える場合、ご利用いただけません。

動画中のフレームを取り込む

動画の 1 フレームを取り込んで画像ファイルとして保存するには、次の操作を行います。

1. 再生中に、次のいずれかを行います。
 -  ボタンをクリックして、[スナップショット] を選択します。
 - キーボードの [C] キーを押します。
 - [\[拡張機能\]](#) ウィンドウの  ボタンをクリックします (DVD ディスク再生のみ)。

注:より正確に処理するには、再生を一時停止してコマ送り/コマ戻しボタンを押して、希望するフレームを指定して取り込みます。

2. 取り込まれた画像は、「他の全般設定」の [「スナップショット」](#) セクションで指定されたフォルダーに保存されます。

注:スナップショットを取得すると、スナップショットのダイアログが表示されます (デフォルト)。画像の取り込み先 (コンピューターのハードドライブ) を表示するには、[\[フォルダーを開く\]](#) ボタンをクリックします。画像形式や保存場所を変更するには、[\[設定\]](#) をクリックします。

外部/埋め込み字幕

Ultra HD ブルーレイ、ブルーレイ ディスク、ムービー ファイル、シリーズ動画、ピン留めした YouTube 動画を再生中に、外部ファイルの字幕を読み込むことができます。MKV 動画ファイルの埋め込み字幕にも対応します。

外部字幕ファイルを読み込む

Ultra HD ブルーレイ**、ブルーレイ ディスク**、ムービー ファイル、シリーズ動画、ピン留めした YouTube 動画を再生中に、外部ファイルの字幕を読み込むこ

とができます。CyberLink PowerDVD が対応する外部字幕の形式は次の通りです。ASS, PSB, SSA, SMI, SRT, SUB, VTT。

注: Ultra HD ブルーレイおよびブルーレイ ディスクは、ASS および SRT ファイル形式の外部字幕にのみ対応します。**

外部字幕ファイルを読み込むには、次の操作を行います。

注:再生中に字幕ファイルを CyberLink PowerDVD のユーザー インターフェイスにドラッグ&ドロップして、読み込むこともできます。

1. 再生中に  ボタンをクリック (またはメディア ウィンドウを右クリック) して、**[字幕 (主) > 読み込み]** または **[字幕 (副) > 読み込み]** を選択します。
2. ダイアログから読み込む字幕ファイルを検索、選択します。
3. **[OK]** ボタンをクリックして、字幕ファイルを読み込みます。

注:再生中のムービー ファイルと同じディレクトリーにある他の対応字幕ファイルも自動的に読み込まれます。最大 10 個の字幕ファイルを読み込みますが、再生中は最大 2 つの字幕のみが表示されます。

読み込みが完了したら、フォント スタイル、位置、エンコーディングの設定を変更することができます。詳細は、[「字幕設定」](#) を参照してください。

字幕の表示/変更

再生中に読み込み/埋め込み字幕を表示/変更するには、次の操作を行います。

1.  ボタンをクリック (またはメディア ウィンドウを右クリックしてエクスプレスメニューを表示) します。
2. **[字幕 (主)]** または **[字幕 (副)]** を選択して、希望の字幕言語を選択します。希望の字幕がない場合、字幕ファイルを読み込む必要があります。詳細は、[「外部字幕ファイルを読み込む」](#) を参照してください。

3. 字幕を非表示にするには、 ボタンをクリック (またはメディア ウィンドウを右クリック) して **[字幕 (主) > オフ]** または **[字幕 (副) > オフ]** を選択します。

外部/埋め込み字幕のフォント スタイル、位置、エンコーディング変更に関する詳細は、[「字幕設定」](#) を参照してください。

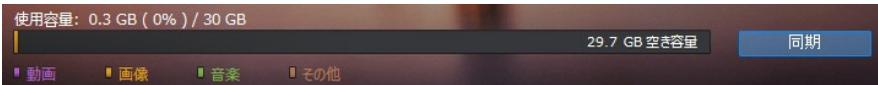
第 9 章:

サイバークラウドを利用する

[サイバークラウド]* タブをクリックすると、CyberLink のクラウド サービスに保存されたメディアを表示することができます。コンピューターのハードドライブの動画、画像、音楽をサイバークラウドにアップロードできます。バックアップすることで、Power Media Player を実行するポータブルデバイスでどこからも表示できるようになります。CyberLink PowerDVD のメディアライブラリー中のメディアをサイバークラウドと同期させることもできます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

メディア ウィンドウの下に、サイバークラウドに保存される各メディアの容量が表示されます。空き容量も表示されます。



サイバークラウドにメディアをアップロードする

メディアライブラリーとコンピューターのハードドライブに保存されるメディアをサイバークラウドに簡単にアップロードすることができます。CyberLink PowerDVD で作成したプレイリストのみをアップロードすることもできます。メディアファイル(プレイリストのリスト)は、自動的にプレイリストと共にアップロードされます。

注:サイバーリンク クラウドなどに保存されるメディアを再生することができます。詳細は、[「サイバーリンク クラウドに保存されるメディアを再生する」](#)を参照してください。

サイバーリンク クラウドにメディアをアップロードするには、次の操作を行います。

1. 次のいずれかを行います。
 - **[メディア ライブラリー]** タブをクリックして、アップロードするメディアをライブラリーから検索します。
 - **[マイ コンピューター]** タブをクリックして、アップロードするメディアをコンピューターのハード ドライブから検索します。
 - **[プレイリスト]** タブをクリックして、アップロードするプレイリストを選択します。

注:Windows ファイル エクスプローラーからメディア ファイルとフォルダーを、メディア パネルのサイバーリンク クラウドのエリアにドロップして、アップロードすることもできます。

2. アップロードするメディアを選択します。個々のメディア ファイルか、メディア フォルダーまたはミュージック アルバム全体を選択することができます。プレイリストをアップロードする場合は、メディア パネルからプレイリスト名を選択します。
3. 選択したメディア/フォルダー/プレイリストをドラッグして、メディア パネルの [サイバーリンク クラウド] エリアにドロップします。選択したすべてのコンテンツがサイバーリンク クラウドにアップロードされます。

注:サイバーリンク クラウドにムービー ファイルをアップロードする場合、字幕もアップロードするかどうか表示されます (字幕が利用可能な場合)。

サイバーリンク クラウドとメディアを同期する

CyberLink PowerDVD のメディア ライブラリー中のメディアはサイバーリンク クラウド中のメディアと自動的に同期されるため、必要な時にどこからでも利用することができます。

注:メディアを同期する場合、[「サイバーリンク クラウドの設定」](#) から同期オプションを設定することができます。

メディアをサイバーリンク クラウドと同期するには、次の操作を行います。

1. メディア パネルの **[サイバーリンク クラウド]** タブの **[情報]** セクションをクリックします。
2. メディア ウィンドウの  をクリックして、オプションを次のように設定します。
 - **他のデバイスからアップロードされた動画を自動的にダウンロードする:**サイバーリンク クラウドに表示される新しい動画をメディア ライブラリーにダウンロード、読み込みます。
 - **サイバーリンク クラウドと自動的に動画を同期する:**メディア ライブラリー中の動画をサイバーリンク クラウド中の動画と同期します。このオプションを選択したら、**[すべての動画]** か **[選択したプレイリスト、フォルダー]** から選択することができます。
3. メディア ウィンドウの  をクリックして、オプションを次のように設定します。
 - **他のデバイスからアップロードされた画像を自動的にダウンロードする:**サイバーリンク クラウドに表示される新しい画像をメディア ライブラリーにダウンロード、読み込みます。
 - **サイバーリンク クラウドと自動的に画像を同期する:**メディア ライブラリー中の画像をサイバーリンク クラウド中の画像と同期します。このオプション

を選択したら、[すべての画像] が [選択したプレイリスト、フォルダー] から選択することができます。

4. メディア ウィンドウの  をクリックして、オプションを次のように設定します。
 - **他のデバイスからアップロードされた音楽を自動的にダウンロードする:**サイバーリンク クラウドに表示される新しい音楽をメディア ライブラリーにダウンロード、読み込みます。
 - **サイバーリンク クラウドと自動的に音楽を同期する:**メディア ライブラリー中の音楽をサイバーリンク クラウド中の音楽と同期します。このオプションを選択したら、[すべての音楽] が [選択したプレイリスト、アーティスト、アルバム、ジャンル] から選択することができます。
5. 同期プロセスの準備ができたなら、[同期] ボタンをクリックします。選択されたオプションに基づいて、すべてのメディアが同期されます。

第 10 章:

メディア ライブラリー中のメディアを 共有、同期、転送する

CyberLink PowerDVD を使うと、メディア ライブラリー中のメディアを共有でき、他のコンピューターやデバイス (同じネットワークに接続したもの) でも利用できるようになります。メディア ライブラリー中の動画/画像をソーシャル ネットワーキング Web サイトで共有したり、メディア ライブラリー中のメディアを Android のデバイス (USB ケーブルで接続) と同期* したり、ムービー ファイルを [デバイス & ホーム メディア (DLNA)] タブのデバイスに転送したりすることもできます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

ネットワークでメディアを共有する

PowerDVD メディア ライブラリー中のメディアを共有すると、他のコンピューターやデバイス (同じホーム ネットワークに接続されたもの) でも利用できるようになります。

ホーム ネットワークを介して CyberLink PowerDVD を実行するコンピューター中のメディアを共有するには、次の操作を行います。

1. コンピューターを Wi-Fi ネットワークに接続します。
2. PowerDVD メディア パネルの [デバイス & ホーム メディア (DLNA)] タブの上にマウスを置き、 メニュー ボタンをクリックし、[ホーム メディア デバイスとマイ メディアを共有] を選択します。[ホーム メディア (DLNA)] の設定ウィンドウが表示されます。

3. ホームメディア (DLNA) の基本設定ウィンドウで、すべての共有オプションを設定します。オプション設定に関する詳細は、[「ホームメディア \(DLNA\) の基本設定」](#) を参照してください。
4. **[OK]** をクリックして変更内容を保存し、特定のホームメディアクライアントとメディアを共有します。

注:ホームネットワークのメディア再生に関する詳細は、[「共有メディアを再生する」](#) を参照してください。

ソーシャル ネットワークでメディアを共有する

メディアライブラリー中の動画を YouTube および Vimeo にアップロードすることができます。

YouTube に動画をアップロードする

メディアライブラリー中の動画を YouTube* に直接アップロードすることができます。YouTube に著作権保護されていない動画をアップロードするには、次の操作を行います。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

1. **[メディアライブラリー]** タブの **[動画]** セクションを選択して、動画ファイルを表示します。
2. YouTube にアップロードする動画を検索、選択します。
3. 再生コントロール右下の  をクリックして、**[YouTube]** を選択します。

注:共有ボタンを表示するには、 ボタンの上にマウスを置く必要があります。

- アップロード ウィザードが開き、サインイン ウィンドウが表示されます。YouTube にサインインするには、次のいずれかを実行します。
 - YouTube のアカウントをお持ちの場合、ユーザー名およびパスワードを入力し、**[サインイン]** ボタンを選択してサインインし、アカウントに動画をアップロードする認証を得ます。
 - YouTube のアカウントをお持ちでない場合、**[YouTube にサインアップ]** リンクを選択して、新規のアカウントを作成し、アカウントに動画をアップロードする認証を得ます。
- 著作権情報を確認して **[次へ]** をクリックして、次に進みます。
- 動画の詳細を次のように入力します。
 - タイトル:**動画のタイトルを入力します。このフィールドがグレー表示の場合、**[ファイル名を使う]** のチェックボックスを選択解除します。
 - 説明:**動画の説明を入力します。
 - タグ:**タグを入力します。複数のタグを入力するには、カンマで区切ります。タグは、YouTube サイトでの検索キーワードとして使用されます。

注:動画をアップロードする前に、**タイトル、説明、1 つ以上のタグ**を入力する必要があります。

- 動画のカテゴリ:**一覧から、動画のカテゴリを選択します。
- プライバシー:****[公開]** または **[非公開]** のいずれかを選択して、公開の有無を設定します。
- 3D オプション*:**YouTube 3D に動画をアップロードする場合は、**[3D にアップロード]** オプションを選択します。アップロードする動画が 2D の場合は、アップロードする前に TrueTheater 3D* により 3D に変換されます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

7. **[アップロード]** ボタンをクリックして、YouTube に動画をアップロードします。動画のアップロードが完了したら、**[完了]** ボタンをクリックします。

Vimeo に動画をアップロードする

メディア ライブラリー中の動画を Vimeo* に直接アップロードすることができます。著作権保護されていない動画を Vimeo にアップロードするには、次の操作を行います。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

1. **[メディア ライブラリー]** タブの **[動画]** セクションを選択して、動画ファイルを表示します。
2. Vimeo にアップロードする動画を検索、選択します。
3. 再生コントロール右下の  をクリックして、**[Vimeo]** を選択します。

注:共有ボタンを表示するには、 ボタンの上にマウスを置く必要があります。

4. アップロード ウィザードが開き、サインイン ウィンドウが表示されます。Vimeo にサインインするには、次のいずれかを実行します。
 - Vimeo のアカウントをお持ちの場合、ユーザー名およびパスワードを入力し、**[サインイン]** ボタンを選択してサインインし、アカウントに動画をアップロードする認証を得ます。
 - Vimeo のアカウントをお持ちでない場合、**[Vimeo にサインアップ]** リンクを選択して、新規のアカウントを作成し、アカウントに動画をアップロードする認証を得ます。

5. 著作権情報を確認して **[次へ]** をクリックして、次に進みます。
6. 動画の詳細を次のように入力します。
 - **タイトル:**動画のタイトルを入力します。このフィールドがグレー表示の場合、**[ファイル名を使う]** のチェックボックスを選択解除します。
 - **説明:**動画の説明を入力します。
 - **タグ:**タグを入力します。複数のタグを入力するには、カンマで区切ります。タグは、Vimeo サイトでの検索キーワードとして使用されます。

注:動画をアップロードする前に、タイトル、説明、1つ以上のタグを入力する必要があります。

- **プライバシー:****[公開]** または **[非公開]** のいずれかを選択して、公開の有無を設定します。
7. **[アップロード]** ボタンをクリックして、Vimeo に動画をアップロードします。動画のアップロードが完了したら、**[完了]** ボタンをクリックします。

メディアを接続したデバイスと同期する

メディア ライブラリー中のメディアを、Android デバイス* のメディアと同期することができます。

注:メディアを同期する前に、CyberLink PowerDVD を実行するコンピューターに Android デバイスを接続する必要があります (USB ケーブルで接続)。* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

メディアを接続したデバイスと同期するには、次の操作を行います。

1. メディア パネルの **[デバイス&ホーム メディア (DLNA)]** タブをクリックして、リストから接続したデバイスを選択します。

2. **[全般]** タブをクリックして、オプションを次のように設定します。
 - **USB でデバイスに接続時に PowerDVD を開く:**コンピューターにデバイスが接続されたら自動的に CyberLink PowerDVD を起動します。
 - **USB でデバイスに接続されると同期処理を自動的に開始する:**接続されたデバイス中の全メディアをメディア ライブラリー中のメディアと自動的に同期します。
 - **動画を自動的にトランスコード:**このオプションを選択して、CyberLink PowerDVD が Android デバイスと同期するファイルの変換動画の画質を選択します。同期プロセス中に MP4 以外の動画を MP4 形式に変換して、Android デバイスで再生できるように処理します。
 3. **[動画]** タブをクリックして、オプションを次のように設定します。
 - **デバイスから新たに検出された動画を読み込む:**接続された Android デバイス中の新しい動画をメディア ライブラリーに読み込みます。
 - **ライブラリー中の動画をデバイスと同期する:**メディア ライブラリー中の動画を接続された Android デバイス中の動画と同期します。このオプションを選択したら、**[すべての動画]** か **[選択したプレイリスト、フォルダー]** から選択することができます。
- 注:**接続された Android デバイス中の動画を手動でメディア ライブラリーに転送することもできます (逆も可能)。**[デバイス]** タブからデバイスをクリックして、**[動画]** をクリックします。デバイス中の動画を検索・選択して、**[メディア ライブラリー]** タブの **[動画]** セクションにドラッグ&ドロップします。メディア ライブラリー中の動画をデバイスに手動で転送するには、メディアを **[デバイス]** タブのデバイスにドラッグ&ドロップします。
4. **[画像]** タブをクリックして、オプションを次のように設定します。
 - **デバイスから新たに検出された画像を読み込む:**接続された Android デバイス中の新しい画像をメディア ライブラリーに読み込みます。
 - **ライブラリー中の画像をデバイスと同期する:**メディア ライブラリー中の画像を接続された Android デバイス中の画像と同期します。このオプションを選択したら、**[すべての画像]** か **[選択したプレイリスト、フォルダー]** から選択することができます。

注:接続された Android デバイス中の画像を手動でメディア ライブラリーに転送することもできます (逆も可能)。[デバイス] タブからデバイスをクリックして、[画像] をクリックします。デバイス中の画像を検索・選択して、[メディア ライブラリー] タブの [画像] セクションにドラッグ&ドロップします。メディア ライブラリー中の画像をデバイスに手動で転送するには、メディアを [デバイス] タブのデバイスにドラッグ&ドロップします。

5. [音楽] タブをクリックして、オプションを次のように設定します。
 - **デバイスから新たに検出された音楽を読み込む:** 接続された Android デバイス中の新しい音楽をメディア ライブラリーに読み込みます。
 - **ライブラリー中の音楽をデバイスと同期する:** メディア ライブラリー中の音楽を接続された Android デバイス中の音楽と同期します。このオプションを選択したら、[すべての音楽] か [選択したプレイリスト、アーティスト、アルバム、ジャンル] から選択することができます。

注:接続された Android デバイス中の音楽を手動でメディア ライブラリーに転送することもできます (逆も可能)。[デバイス] タブからデバイスをクリックして、[音楽] をクリックします。デバイス中の音楽を検索・選択して、[メディア ライブラリー] タブの [音楽] セクションにドラッグ&ドロップします。メディア ライブラリー中の音楽をデバイスに手動で転送するには、メディアを [デバイス] タブのデバイスにドラッグ&ドロップします。

6. 同期プロセスの準備ができたなら、[同期] ボタンをクリックします。選択されたオプションに基づいて、すべてのメディアが同期されます。

ムービー ファイルをデバイスに転送する

ムービー ライブラリー中のムービー ファイルを、手動で接続するデバイスに転送することができます。ムービーで利用可能な字幕も同時にデバイスに転送されます。

注:DVD およびブルーレイ ディスク フォルダーから接続するデバイスに転送することはできません。

接続するデバイスにメディアを手動で転送するには、次の操作を行います。

1. [ムービー] タブの [ムービー ライブラリー] セクションをクリックします。
2. デバイスに転送するムービー ファイルを選択し、[デバイス&ホーム メディア (DLNA)] タブにドラッグ&ドロップします。
3. 選択したムービー ファイルで字幕が利用可能な場合、[字幕コピー オプション] ウィンドウが表示されます。
 - **個々の字幕ファイルとして字幕をコピーします:**デバイスの Power Media Player でムービーを再生する場合、このオプションを選択します。
 - **次の字幕ファイルを動画に埋め込みます:**接続するデバイスのムービー再生ソフトウェアが字幕ファイルに対応しない場合、このオプションを選択します。埋め込みたい字幕ファイルをリストから選択します。
 - **いいえ、字幕ファイルをコピーしません:**字幕ファイルをデバイスにコピーしない場合、このオプションを選択します。
4. [OK] をクリックして、接続するデバイスにムービー ファイルと字幕を転送します。

第 11 章:

PowerDVD の設定 - プレーヤーの設定

この章では、CyberLink PowerDVD のプレーヤー設定を説明します。設定を再生要件に合わせて変更します。

[プレーヤーの設定] タブに次のようにアクセスします。

- キャプションバー (ウィンドウの上) の  ボタンをクリックします。
- 再生コントロールの  ボタンをクリックして、[プレーヤーの設定] を選択します。
- キーボードの [Ctrl+Shift+C] を押します。

注:Dolby, Dolby Digital Plus, Dolby TrueHD, double-D シンボルは、Dolby Laboratories の登録商標です。DTS, DTS 96/24, DTS-HD は、DTS (デジタル・シアター・システムズ) の登録商標です。

全般の設定

[全般] タブでは、PowerDVD に名前を付けたり、ユーザー インターフェイスの言語やプレーヤー オプションを設定したりすることができます。次のように設定します。

PowerDVD の名前

使用するコンピューター用の CyberLink PowerDVD の名前を入力します。この名前により、ネットワーク上のコンピューターや PowerDVD を実行する他のコンピューターの [ホーム メディア (DLNA)] タブを識別できます。

UI 言語

[UI 言語] オプションでは、ユーザー インターフェイスの言語を設定できます。ドロップダウンから、使用する言語を選択します。コンピューター システムと同じ言語にするには、[システム デフォルト] を選択します。

プレーヤー オプション

- **Windows を起動時に PowerDVD を自動起動する:**コンピューターを起動すると、自動的に CyberLink PowerDVD が起動します。
- **OSD (オン スクリーン ディスプレイ) を表示する:**再生中に OSD (オン スクリーン ディスプレイ) が表示されます。
- **動画が終了したら自動的に次の動画を再生する:**動画が終了すると、フォルダー中の次の動画が再生されます。
- **製品のアップデート情報を確認する:**PowerDVD の新規アップデート/バージョン情報が自動的に表示されます。

オート レジューム (続きから再生) 設定

[オート レジューム (続きから再生) 設定] オプションで、DVD ディスクまたは動画ファイル (ムービー ライブラリー) を開始時に、どこから再生するかを選択します。設定内容をドロップダウン リストから選択します。プロンプト表示をしない場合は、[ムービーの始めから再生する] か [前回の続きから再生する] を選択します。この機能に関する詳細は、[「オート レジューム \(続きから再生\)」](#) を参照してください。

マイ コンピューター ビュー

- **システム フォルダーを検索しない:**[マイ コンピューター] タブを開く時、Windows のシステム フォルダーを検索しないようにするには、このオプションを選択します。

PowerDVD で開いたファイルを選択する

[ファイルの関連付けを設定] ボタンをクリックして、CyberLink PowerDVD がデフォルトのプレーヤーの場合のファイル形式を設定します。[ファイルの関連付けを設定] ウィンドウで選択されるファイル形式をダブルクリックすると、CyberLink PowerDVD が自動的に起動して再生が開始します。

注:この機能は Windows 8 ではご利用いただけません。ただし、**[PowerDVD の関連付けを設定]** ボタンをクリックすると、Windows の **[プログラムの関連付けを設定する]** 機能にアクセスすることができます。

チェック ボックスの定義は次の通りです。

- このファイル形式には、CyberLink PowerDVD がデフォルト プレーヤーとして指定されていません。
- このファイル形式の一部に、CyberLink PowerDVD がデフォルト プレーヤーとして指定されています。
- このファイル形式のすべてに、CyberLink PowerDVD がデフォルト プレーヤーとして指定されています。
- **挿入したディスクを自動再生する:**ディスクをディスク ドライブに挿入すると、自動的に再生が開始します。

CyberLink 製品向上プログラム

- **参加する:**CyberLink の製品向上プログラムに参加する場合、このアイテムを選択します。参加する場合、コンピューター システムのハードウェアとソフトウェアの設定およびソフトウェアに関連する動作と統計情報が収集されます。収集内容に関する詳細は、**[詳細]** のリンクをクリックします。

注:PowerDVD の CyberLink 製品向上プログラムでは、個人情報は収集しません。

[次回からこのメッセージを表示しない] をリセット

[次回からこのメッセージを表示しない]の確認ダイアログをデフォルト設定に戻すには、[リセット] ボタンをクリックします。このボタンをクリックすると、CyberLink PowerDVD のすべてのダイアログが再度表示されるようになります。

キャッシュ ファイル

[**キャッシュ ファイル**] ボタンをクリックして、チャプター サムネイルとインスタント サムネイル (動画コンテンツ再生として生成、ピン留め動画作り) の保存に使われるキャッシュを管理します。このキャッシュは、ブルーレイ ディスク再生 (BD-Live コンテンツやブルーレイ アプリケーションなど) 時にダウンロードされたその他コンテンツの保存にも使われます。

[キャッシュ] ファイル ウィンドウで、オプションを次のように変更します。

- **キャッシュ ファイルの保存先:**キャッシュ ファイルの保存先を変更するには、[参照] をクリックして保存するフォルダーを検索します。
- **キャッシュ ストレージのサイズ上限値:**このオプションを選択して、フィールドに、キャッシュ ファイルが保存可能なディスク容量の上限値を入力します。この上限値に達すると、以前のキャッシュ ファイルは削除され、新しいキャッシュ ファイルと置き換わります。
- **現在のキャッシュ サイズ:**キャッシュ ファイル ストレージの現在のサイズが表示されます。
- **[キャッシュのクリア]** ボタンをクリックして、コンピューターからキャッシュと追加コンテンツを削除し、ディスクの空き容量を確保することもできます。

全般のその他設定

[**その他設定**] ボタンをクリックすると、他の設定 (スナップショットの設定やムービー言語の選択など) にアクセスすることができます。詳細は、[「全般のその他設定」](#) を参照してください。

全般のその他設定

[その他設定] ボタンをクリックすると、他の設定 (スナップショットの設定、ムービー言語の選択) にアクセスすることができます。

全般のその他設定には、[\[スナップショット\]](#) および [\[ムービー言語\]](#) のタブがあります。次のように設定します。

▼ スナップショット

[スナップショット] タブでは、動画またはムービーのフレーム キャプチャー (スナップショット) の方法を設定します。詳細は、[「スナップショットを取得する」](#) を参照してください。

- **スナップショット形式**: ドロップダウンから、スナップショットのファイル形式を選択します。
- **スナップショット保存先**: スナップショットの保存先を変更するには、[\[参照\]](#) をクリックして保存するフォルダーを検索します。

▼ ムービー言語

[ムービー言語] のタブで、ディスク コンテンツのデフォルトのムービー言語を設定します。

ムービーのデフォルト言語設定

- **[カスタマイズ]** オプションで、ディスクのメニュー、字幕、音声のデフォルト言語を指定します。
- **[PowerDVD の言語設定と同じ]** を選択すると、オペレーション システムと同一のディスク メニュー、字幕、音声が表示されます。

注:デフォルト言語として設定しても、ディスク コンテンツにその言語が含まれない場合は利用できません。

動画、音声、字幕の設定

[動画、音声、字幕] 設定タブでは、動画と音声の再生を設定することができます。ムービー ファイルの字幕や、DVD/ブルーレイ ムービーのクローズド キャプションをカスタマイズすることもできます。次のように設定します。

動画

[動画] セクションでは、ハードウェア アクセラレーションを有効にしたり、ビデオ エンハンスメントを適用したりすることができます。次のように設定します。

- **可能な場合ハードウェアの映像処理機能を利用して再生する:**このオプションを選択すると、GPU アクセラレーションで動画がデコーディングされ、よりスムーズに再生されます。ブルーレイ/DVD/動画ファイルを再生時にハードウェア アクセラレーションが有効になります(可能な場合)。ハードウェア アクセラレーションが有効になるかどうかは、コンピューターの GPU (Intel、NVIDIA、AMD など) の能力によって異なります。詳細は、GPU のメーカーまたは当社のカスタマー サポート チームまでお問い合わせください。

注:動画ファイル/DVD を再生中に TrueTheater ビデオ エンハンスメントが有効になっていると、ハードウェア アクセラレーションは有効になりません(オプションが有効になっている場合も)。

- **AMD Fluid Motion (ブルーレイ向け):**コンピューターのグラフィック カードが AMD™ Fluid Motion に対応する場合、このオプションが表示されます。選択すると、ブルーレイがよりスムーズに再生されます。

注:ブルーレイ 3D を再生中、または 3D モードの場合、TrueTheater ビデオエンハンスメントは無効になります (AMD™ Fluid Motion を有効時)。

- **[ビデオ エンハンスメント]** ボタンをクリックすると、再生中の動画にエンハンスメントを適用することができます。機能および設定に関する詳細は、[「ビデオ エンハンスメントを有効にする」](#) を参照してください。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

[その他動画設定] ボタンをクリックすると、他の設定 (デインターレースや縦横比) にアクセスすることができます。詳細は、[「その他動画設定」](#) を参照してください。

音声

[音声] セクションでは、音声出力モードなどを設定することができます。次のように設定します。

- **出力:**お持ちのサウンドカード/スピーカー数に合わせて、出力環境を選択します。出力種類に関する詳細は、[「スピーカー環境」](#) を参照してください。

[その他音声設定] ボタンをクリックすると、他の設定 (出力音質や出力同期設定など) にアクセスすることができます。詳細は、[「その他音声設定」](#) を参照してください。

字幕とクローズド キャプション

ここでは、ムービー ファイル字幕のスタイル、位置、エンコーディングなどを変更することができます。クローズド キャプション テキストのフォント、サイズ、カラーを変更することもできます。**[字幕設定]** ボタンをクリックして、これらの設定にアクセスします。詳細は、[「字幕設定」](#) を参照してください。

注:これらの設定は、ムービー ファイルの外部および埋め込み字幕にのみ適用されます。ブルーレイおよび DVD ディスク/フォルダーの字幕は、この設定では変更できません。

その他動画設定

[動画、音声、字幕] 設定の [**その他動画設定**] ボタンをクリックすると、他の設定 (デインターレースや縦横比) にアクセスすることができます。

[その他動画設定] には、[\[デインターレース\]](#) と [\[その他\]](#) の 2 つのタブがあります。次のように設定します。

▼ デインターレース

[**デインターレース**] タブでは、インターレース ビデオをノンインターレース形式に変換する方法と場合を設定します。

デインターレース設定

- デインターレース モードを使用しない場合は、**[なし]** を選択します。
- デインターレースを使用するには **[デインターレースを使用する]** を選択し、**[インターレースを適用時]** のドロップダウンから選択します。

注:ビデオ エンハンスメントが有効になっている場合、デインターレース オプションは使用できません。

- 再生中にハードウェア アクセラレーションを使用時に、2 つ目のドロップダウン リストから **[デインターレース アルゴリズム]** を選択します。各オプションを試して、最も適切なオプションを適用します。
- 再生中にソフトウェア デコーディングを使用時に、3 つ目のドロップダウン リストから **[デインターレース アルゴリズム]** を選択します。各オプションを試して、最も適切なオプションを適用します。

▼ その他

[その他] タブでは、縦横比 4:3 の映像を 16:9 に変換する (あるいはその逆) 設定ができます。

縦横比の設定

- **常に縦横比を保持する:**ディスプレイのサイズ (縦横比) を変更しても、縦横比は変わりません。このオプションは、下の TrueTheater Stretch オプションには対応しません。
- **ストレッチを適用する:**動画全体を平均的にストレッチします。ビデオディスプレイとモニターの縦横比が合わない、歪みが大きくなります。
- **クロップして枠に入れる:**ウルトラワイドの 21:9 モニターで 2:35:1 ブルーレイムービーを再生中にこのオプションを使用すると、端の黒帯部分がクロップされて枠内に表示されます。標準の 16:9 モニターの場合も拡大表示されます。

TrueTheater Stretch

TrueTheater Stretch* は、非線形のビデオストレッチング技術で、画像中央のゆがみを最少に抑えます。TrueTheater Stretch 機能は、フルスクリーンモードでのみ使用できます。ワイドスクリーンの縦横比の DVD に適しています (例: 4:3 モニターで 16:9 が最適)。この機能では CyberLink 独自の Pano Vision ビデオテクノロジーを使用してムービーをストレッチし、モニターのサイズに合わせます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。この機能は、DxVA 使用時にブルーレイディスクを再生する間、無効になります。

有効にしてから、次のいずれかのオプションから選択します。

- **スマート ストレッチ:**(ほとんどの動画に推奨) 画像の中央はそのまま、端をわずかにクロップ&ストレッチします。
- **フィット スクリーン:**画像の中央はそのまま、端をわずかにストレッチします。
- **スマート 2.35:1:2.35:1** 縦横比のディスクを再生する場合、ワイド スクリーン (16:9 または 16:10) のディスプレイ スペースに最大に表示します。

ハイ パフォーマンス モード

- **UHD 動画およびディスプレイ向けに、ハイ パフォーマンス モードを有効にする:**ハイ パフォーマンス モードを有効にします。Quad HD+ (または 3300 X 1900 の解像度以上) 以上のディスプレイで動画を再生すると、ハイ パフォーマンス モードに切り替わり、次の再生機能は無効になります。
 - 動画の回転。
 - 動画のシーン セレクター (動画の開始/終了位置、A-B リピート)。
 - インスタント プレビュー。
 - インスタント ズーム (拡大/縮小)。
 - 二重字幕表示。
 - 字幕のカスタマイズ (フォント、カラー、サイズ)。

その他音声設定

[動画、音声、字幕] 設定の [**その他音声設定**] ボタンをクリックすると、他の設定 (出力音質や出力同期設定など) にアクセスすることができます。

[その他音声設定] には、[\[出力画質/音声\]](#) と [\[その他\]](#) の 2 つのタブがあります。次のように設定します。

▼ 出力画質/音質

[出力画質/音質] タブでは、スピーカー環境、出力モード、ダイナミックレンジ圧縮の設定を行うことができます。

スピーカー環境

注:これらの設定は、再生音声を最適化するドルビー PCEE 対応バージョンの CyberLink PowerDVD では無効になります。

使用しているサウンドカードやスピーカーの数、コンテンツの聴取環境に合わせて、[スピーカー環境] を選択します。

- **[ヘッドフォン]** は、ヘッドフォンを使用して音声を聴くノートパソコンユーザー向けの設定です。
- **[2 スピーカー]** は、スピーカーが 2 つしかないか、サウンドカードが 2 チャンネル出力のみに対応するデスクトップやラップトップユーザー向けの設定です。
- **[4 スピーカー]** は、4 チャンネル出力対応のサウンドカードを搭載したコンピューター向けの設定です。
- **[6 スピーカー]** (5.1チャンネル) は、6 チャンネル出力対応のサウンドカードを搭載したコンピューター向けの設定で、Dolby Digital 5.1 や DTS 5.1 のようなマルチチャンネルエンコーディングに対応する DVD 動画タイトルに適しています。
- **[8 スピーカー]** (7.1 チャンネル) オプションは、複数のスピーカーを使用して音声を出力したいユーザー向けの設定です。
- **[S/PDIF を使用]** オプションは高度な技術を使用したデジタルインターフェイス (Digital InterFace) で、ソニーとフィリップス (Sony, Philips) 両社によって考案された規格です (アナログインターフェイスを介した従来型転送信号に対比)。6 スピーカーを十分に楽しみいただくには、

外部 Dolby Digital/DTS デコーダーと S/PDIF 互換サウンドカードが必要です。

注:S/PDIF 音声出力が有効で、出力ストリームが PCM ではない場合、CyberLink PowerDVD のボリューム コントロールは使用できません (デコーダーがタスクを代行するため)。

- **[HDMI 出力]** は、オーディオを HDMI 端子に接続しているユーザー向けの設定です。

出力モード:

このオプションを使用すると、オーディオ信号で使用される特定の処理を指定できます。利用可能な設定を試して、好みの設定を選択します。

注:[出力モード] のドロップダウンメニューに表示されるオプションは、[スピーカー環境] での選択内容や使用しているコンピューターの設定によって異なります。

ヘッドフォン出力オプション

スピーカー環境をヘッドフォンに設定する場合、次の出力オプションが利用できます。

- **[TrueTheater Surround]*** オプションは、ノートパソコンの音声をヘッドフォン出力向けに CyberLink が開発した技術です。リビングルーム、シアター、スタジアムといった異なるリスニング環境が設定できます。聴取環境にあわせて、次のオプションから 1 つを選択します。
- **リビングルーム:**映画と音楽の録画/録音用の小さな防音個室をシミュレートします。
- **シアター:**音楽聴取に最適な、ライブコンサート環境をシミュレートします。
- **スタジアム:**より大きなコンサート環境をシミュレートします。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

2 スピーカー出力オプション

2 スピーカーを選択する場合、次の出力オプションが利用できます。

- **TrueTheater Surround***:CyberLink が開発したバーチャル サラウンド技術です。聴取環境にあわせて、次のオプションから 1 つを選択します。
- **リビング ルーム**:映画と音楽の録画/録音用の小さな防音個室をシミュレートします。
- **シアター**:音楽聴取に最適な、ライブ コンサート環境をシミュレートします。
- **スタジアム**:より大きなコンサート環境をシミュレートします。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

4/6/8 スピーカー出力オプション

4、6、8 スピーカーを選択する場合、次の出力オプションが利用できます。

- **TrueTheater Surround***:CyberLink が開発したオーディオ チャンネル拡張技術で、ステレオ オーディオ サウンドを変換して複数のチャンネルに出力します (2 チャンネルの音源を 4、6、7、8 スピーカーに、または 2 チャンネルの音源を 7、8 スピーカーに変換)。聴取環境にあわせて、次のオプションから 1 つを選択します。
- **ムービー再生**:ムービーの再生に適しています。
- **ミュージック モード - スタンダード**:聴衆の間で演奏するコンサートをシミュレートします。

- **ミュージックモード - オンステージ:**ステージでのコンサートをシミュレートします。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

S/PDIF 出力モードを使用する

ブルーレイ ディスクの再生時に、[S/PDIF] がスピーカー環境として選択されている場合、次の出力モードが使用できます。選択するモードは、コンピューターに接続されている外部デコーダー (AV レシーバー) によって異なります。

- **主音声のみ:**このモードでは、主映像の音声のみが出力されます (ピクチャー イン ピクチャー、セカンダリー ビデオストリーム、ディレクターズ コメントには音声が付きません)。圧縮された音声は外部デコーダー (AV レシーバー) にパススルーされます。

注:主音声形式が Dolby Digital、DD+、DTS、DTS-HD 以外である場合、両方の音声信号が同時に出力されます。

- **Dolby Digital* ミキシング:**このモードでは、主映像の音声と副映像の音声をミキシングして Dolby Digital ビットストリームにエンコードすることで、両方の音声信号が同時に出力されます。使用している外部デコーダー (AV レシーバー) が Dolby Digital に対応する場合に、このオプションを選択します。
- **DTS* ミキシング:**このモードでは、主映像の音声と副映像の音声をミキシングして DTS ビットストリームにエンコードすることで、両方の音声信号が同時に出力されます。使用している外部デコーダー (AV レシーバー) が DTS に対応する場合に、このオプションを選択します。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

HDMI 出力モード

次の出力モードは、Windows 8、7 または Vista の環境で、外部デコーダー (AV レシーバー) が HDMI 端子に接続されている場合に使用できます。選択するモードは、コンピューターに接続されている外部デコーダー (AV レシーバー) によって異なります。

- **PCM (PowerDVD でデコード)**:このモードでは、アナログ信号のデジタル表現を作成します。このオプションは、使用している外部デコーダー (AV レシーバー) が、デジタル音声出力向けに Dolby Digital か DTS に対応していない場合に選択します。
- **デコードされていない Dolby Digital/DTS オーディオを外部デバイスへ**:このモードでは、圧縮された音声が入力された外部デコーダー (AV レシーバー) に渡されます。このオプションは、アンプや受信機が、再生時に Dolby Digital か DTS に対応している場合に選択します。
- **デコードされていないハイデフィニション音声を外部デバイスへ (HDMI 1.3 以上)**:このモードでは、ロスレスの音声が入力された外部デコーダー (AV レシーバー) に渡されます。このオプションは、アンプや受信機が、再生時にハイデフィニション音声に対応している場合に選択します。

ダイナミックレンジ圧縮

このセクションは、Dolby Digital テクノロジーに対応するディスクにのみ対応します。

- 静かな環境で視聴中は、最初のオプションを選択します。聞き取り可能な音はすべて、低周波から高周波まで際立ったものとなり、Dolby Digital のダイナミックレンジをフル活用したものとなります。
- 標準的な環境で視聴中は、2 つ目のオプションを選択します。Dolby Digital 音声スペクトルの極端な範囲にあたる音声エフェクトは圧縮されます。

- 騒がしい環境やノートブック（ラップトップ）で視聴中は、3つ目のオプションを選択します。このオプションでは、低域のオーディオ信号が増幅され、聴取可能な音量が増します。

▼ その他

[その他] タブでは、音声出力を同期したり、排他的音声出力を有効にすることができます。

音声出力同期

[音声出力同期] オプションで、同期されていないオーディオ/ビデオ ストリームを修正します。異なるインターフェイスで音声/動画が接続されている場合に発生します。テレビの後処理により動画が遅延することがあるためです。Bluetooth ヘッドフォンで音声が遅延する場合もこのオプションを使うことができます。

- **音声遅延:** 音声遅延の長さを指定します (2 秒以内)。音声動画より遅延する場合、マイナスの値 (-0.5 以内) を指定することもできます。

排他的音声出力 (WASAPI 排他)

注:この機能は、次のコーデックの音声を再生時にのみ利用できます。
ALAC, AAC, AMR-NB, Dolby Digital, Dolby Digital Plus, Dolby TrueHD,
DTS, DTS-HD, FLAC, MP3, MPEG Audio, LPCM, WAV, WMA。

- Windows オーディオ セッション API (WASAPI) を使用して再生中に他の音声をミュートし、Windows ミキサーを回避して Windows サウンド ミキシングによる音質低下を避ける場合、このオプションを選択します。お使いの音声デバイス (カード/チップ) およびドライバーが対応する場合、音声は高音質になります。選択すると対象の音声は排他的に再

生まれ、コンピューターの他の音声 (ブルーレイ ディスクの副音声を含む) は無音になります。

DSD 音声出力モード

DSD (ダイレクト ストリーム デジタル) 音声は、高音質の音声形式です。再生中の音声ファイルが DSD 音声を出力する場合、次の出力モードのいずれかを選択します。

注:CyberLink PowerDVD は、DSD 音声ファイル (.dsf または .dff のファイル拡張子) の再生に対応します。SACD または DSD 音声ディスクには対応していません。

- **DSD 音声を PCM にデコードする (最高の互換性):**DSD 音声を PCM 形式にダウンミックスします。外部デコーダー (AV レシーバーまたはサウンドカード) が対応しない場合、または DSD 音声の再生が難しい場合、このオプションを選択します。
- **デコードされていない DSD ビットストリーム (DoP) を外部のオーディオデバイスに飛ばす (最高の音質):**このモードでは、DSD 音声は外部デコーダー (AV レシーバーまたはサウンドカード) に渡されます。再生時に出力デバイスが DSD 音声に対応する場合に、このオプションを選択します。

字幕とクローズド キャプションの設定

[字幕とクローズド キャプションの設定] ウィンドウで、ムービー ファイルの字幕設定を変更できます。クローズド キャプション テキストのフォント、サイズ、カラーを変更することもできます。クローズド キャプションのその他設定は、[「クローズド キャプションのその他設定」](#)を参照してください。

▼ 字幕設定

[動画、音声、字幕] 設定の **[字幕設定]** ボタンをクリックすると、ムービーファイルのフォントスタイル、位置、エンコーディングなどを変更することができます。次のように設定します。

注:これらの設定は、ブルーレイの外部字幕およびムービーファイル、ピン留めした YouTube 動画の外部、埋め込み字幕にのみ適用できません。ブルーレイおよび DVD ディスク/フォルダーの字幕は、この設定では変更できません。

フォントスタイル

注:この機能は、動画の解像度もしくはディスプレイの解像度が 3300 x 1900 を超える場合、ご利用いただけません。

- **フォント:**ドロップダウンから、字幕テキストのフォントとサイズを選択します。これらのフォント設定は、クローズドキャプションにも適用されます (有効になっている場合)。
- **フォントカラー:**字幕テキストのカラーを設定します。このフォントカラーは、クローズドキャプションにも適用されます (有効になっている場合)。
- **枠線カラー:**字幕テキストの枠線カラーを設定します。テキストの色が動画の色と近い場合、枠線カラーを変更することで読みやすくなります。
- **位置:**画面の字幕位置を指定します。%が高くなると、画面の上に表示されます。

デフォルトエンコーディング

- 非ユニコード字幕ファイルの言語エンコーディングを選択します。

読み込みファイルの設定

注:これらの設定は、読み込み/埋め込み字幕ファイルが選択されている場合のみ表示されます。他の字幕ファイルが選択されると、変更内容は既定値にリセットされます。

- **現在のファイル:**このフィールドには、場所と、現在再生に用いられる読み込み済みの字幕ファイルが表示されます。
- **エンコーディング:**読み込む字幕の言語エンコーディングを選択します。
- **遅延:**字幕がセリフの前に表示される場合は、上矢印を使って時間を遅らせます。字幕がセリフの後に表示される場合は、下矢印を使ってマイナス値に設定し、字幕を前に表示させます。

▼ クローズド キャプションのその他設定

ディスクを再生中に [字幕とクローズド キャプションの設定] ウィンドウの [クローズド キャプションのその他設定] ボタンをクリックすると、DVD/ブルーレイ ディスクのクローズド キャプションの表示方法をカスタマイズできます。次のように設定します。

- **DVD/ブルーレイ ムービーのクローズド キャプション (通常字幕を除く) のカスタム フォント スタイル、サイズ、カラーを適用する:**このオプションを選択すると、クローズド キャプション テキストのカスタマイズが有効になります。

注:このオプションを選択すると、[字幕とクローズド キャプションの設定] ウィンドウで選択されたフォント、サイズ、カラーが適用されます。

枠線

- **スタイル:**ドロップダウンから、クローズド キャプション テキストの枠線スタイルを選択します。

フォント背景

- **カラー:**このオプションを使って、クローズド キャプション テキストの背景の色を選択します。クローズド キャプション テキスト背景色の [**不透明度**] を選択します。

クローズド キャプション ウィンドウ背景

- **カラー:**このオプションを使って、クローズド キャプション テキストが表示される背景の色を設定します。クローズド キャプション テキストが表示される背景の [**不透明度**] を選択します。

ブルーレイ ディスクの設定

[ブルーレイ ディスク] 設定タブ* では、ブルーレイ ディスク タイトルの再生を設定することができます。次のように設定します。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

ブルーレイ国・地域の設定

一部のブルーレイ ディスクは国が指定されており、該当国を選択時のみ再生可能です。ディスク ドライブがセットされている国、地域を選択します。特定のリージョンに設定すると、そのリージョンのタイトルだけをディスク ドライブおよび CyberLink PowerDVD で再生できるようになります。

注:ディスク ドライブのリージョン設定の変更は、5 回まで行えます。

ドロップダウンから、CyberLink PowerDVD を使用する国を指定します。オペレーション システムと同じ国にするには、[**システムの場所**] を選択します。

リージョン コード

このセクションには、コンピューターのブルーレイ ディスク ドライブの国・地域設定ができる残りの回数が表示されます。変更は 5 回まで可能で、ブルーレイの国・地域設定を変更するたびに、1 つずつ数字が減っていきます。

ブルーレイ ディスクのその他設定

[**その他設定**] ボタンをクリックすると、他の設定 (BD-Live やハイブリッド ディスク プレーヤーの動作設定など) にアクセスすることができます。詳細は、[「ブルーレイ ディスクのその他設定」](#) を参照してください。

ブルーレイ ディスクのその他設定

ブルーレイ ディスク設定の [**その他設定**] ボタンをクリックすると、他の設定 (BD-Live のオプションやハイブリッド ディスク プレーヤーの動作設定など) にアクセスすることができます。

ブルーレイ ディスクのその他設定には、[「その他」](#) および [「ハイブリッド ディスク」](#) の 2 つのタブがあります。次のように設定します。

▼ その他

[その他] タブでは、BD-Live オプションを設定したり、ブルーレイ 3D サポートを有効にしたり、Windows Aero を無効にしたりすることができます。

- **BD-Live のネットワークを有効にする:**ブルーレイ ディスクでインターネットから他の BD-J コンテンツにアクセス、ダウンロードを可能にする場合、このオプションを選択します。ブルーレイ ディスクの起動を速くするには、このオプションを無効にします。
- **BD-J キーボード対応を有効にする:**BD-J コンテンツのキーボード対応を有効にします。

注:この機能を有効にすると、CyberLink PowerDVD のすべての既存ホットキーは無効になります。

- **認証が無効の場合に接続する:**ブルーレイ ディスクの BD-Live コンテンツにアクセス時に、ディスクのデジタル署名が認識されていないまたは無効の場合、続けてインターネットに接続するか、確認メッセージが表示されます。コンテンツが安全でない場合があるためです。このオプションを選択すると、BD-Live への接続時に確認メッセージは表示されません。
- **ブルーレイ 3D* サポートを有効にする:**CyberLink PowerDVD でブルーレイ 3D ディスクを再生する場合、このオプションを選択します。ブルーレイ 3D 再生を無効にするには、選択を解除します。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

▼ ハイブリッド ディスク

[ハイブリッド ディスク] タブでは、ハイブリッド ディスクがディスク ドライブに挿入されている場合のデフォルトの動作を設定します。

ハイブリッド ディスク

- **ハイブリッド ブルーレイ ディスクの再生時に優先するディスク形式:** ドロップダウンから、ハイブリッド ディスク (DVD/ブルーレイ ディスク) がディスク ドライブに挿入されている場合の動作を設定します。ハイブリッド ディスクがブルーレイ ディスク ドライブに挿入されている場合、**[ディスク ドライブの種類に合った形式を再生する]** を選択します。DVD ビデオを再生するには、**[常に DVD ビデオを再生する]** を選択します。

サイバーリンク クラウドの設定

[サイバーリンク クラウド]* 設定タブでは、サイバーリンク クラウドの同期オプションや、デフォルトのダウンロード フォルダー、アップロード前のメディア変換法を設定します。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

[サイバーリンク クラウド] 設定には、[\[全般\]](#) と [\[変換\]](#) のタブがあります。

全般の設定

[全般] タブでは、次のように設定します。

同期オプション

- **PowerDVD を実行していない時に同期する (バックグラウンド同期):**CyberLink PowerDVD を実行中のみメディア ライブラリーのメディアをサイバーリンク クラウドのメディアと同期する場合、このオプションを選択解除します。
- **バッテリーが 20% を切ったら同期を停止する:**ラップトップ/ノートブックのバッテリーが 20% を切ると、自動的に同期が停止します。

ダウンロード フォルダー

- サイバーリンク クラウドのメディア ダウンロード先フォルダー (コンピューターのハード ドライブ) を設定できます。フォルダーを変更するには、**[参照]** ボタンをクリックし、ダウンロードするメディアの保管先を検索し、**[フォルダーの選択]** をクリックします。
- **サイバーリンク クラウドのキャッシュをクリア:****[キャッシュをクリア]** ボタンをクリックすると、サイバーリンク クラウドからコンテンツをダウンロード時に保存された一時ファイルをクリアしてディスクの空き容量を確保することができます。

変換設定

[変換] タブでは、次のように設定します。

- **アップロードの前に、ポータブル デバイス向けに動画を変換する:**サイバーリンク クラウドにアップロードする前に動画の解像度を変更します。選択してから、動画の **[解像度]** を選択します。
- **アップロードの前に、ポータブル デバイス向けに画像を JPEG 形式に変換する:**サイバーリンク クラウドにアップロードする前に画像の解像度を変更します。選択してから、画像の **[解像度]** を選択します。
- **アップロードの前に、Android / iOS デバイス向けに音楽ファイルを AAC 形式に変換する:**サイバーリンク クラウドにアップロードする前に音楽ファイルのビットレートを変更します。選択してから、画像の **[ビットレート]** を選択します。

ホットキー/マウス ホイールの設定

[**ホットキー/マウス ホイール**] 設定タブでは、メディア再生中の一部キーボードホットキー、マウスホイールの動作を設定することができます。次のように設定します。

キーボード ホットキー

- **Ctrl + 右/左**:ドロップダウンから、キーボードの [Ctrl] キーと左右方向キーを押した場合の動作を選択します。

注:動画ファイル、YouTube/Vimeo の動画を再生中は、このホットキーは左右の矢印キーからもアクセスできます。

- **Shift + 右/左**:ドロップダウンから、キーボードの [Shift] キーと左右方向キーを押した場合の動作を選択します。
- **Alt + 右/左**:ドロップダウンから、キーボードの [Alt] キーと左右方向キーを押した場合の動作を選択します。

マウス ホイール ホットキー

- **マウス ホイール**:ドロップダウンから、再生中にマウスのスクロール ホイールで操作する動作を選択します。
- **Ctrl + マウス ホイール**:ドロップダウンから、キーボードの [Ctrl] キーとマウスのスクロール ホイールを使う場合の動作を選択します。
- **シフト + マウス ホイール**:ドロップダウンから、キーボードの [Shift] キーとマウスのスクロール ホイールを使う場合の動作を選択します。

ムービー情報の設定

[**ムービー情報**] 設定タブから、CyberLink PowerDVD とムービー情報 Web サービスのインタラクションを設定します。

自動サインイン

CyberLink PowerDVD を起動時に、自動的に MoovieLive にサインインします。

- **[自動サインイン]** を選択し、**[メール]** と **[パスワード]** を入力すると、常に MoovieLive から情報を取得することができます。

注:ユーザー名とパスワードがない場合、**[サインアップ]** を選択します。

ムービー情報機能

- このオプションを選択すると、CyberLink PowerDVD から、ムービー情報サービスの詳細機能および利点 (ディスク挿入時にディスク情報をダウンロードなど) が有効になります。

注:有効時にこのセクションのリンクをクリックすると、プライバシーポリシーと利用規約が表示されます。

ムービー データ表示デフォルト言語

このオプションでは、CyberLink PowerDVD に表示されるムービー情報サービスのムービー情報の言語を選択します。

ドロップダウンから、使用する言語を選択します。[全般] で指定した言語と同じものを使用するには、**[PowerDVD の言語設定と同じ]** を選択します。詳細は、[「UI 言語」](#) を参照してください。

情報

[情報] 設定タブには、再生中のディスク、コンピューターのディスクドライブとハードウェアの設定、CyberLink PowerDVD の設定情報等の詳細が表示されません。

注:表示される情報は、お使いのコンピューターの内容によって異なります。一部、英語のみで表示される情報もあります。

第 12 章:

PowerDVD の設定 - 基本設定

この章では、CyberLink PowerDVD の基本設定を説明します。CyberLink PowerDVD の UI、メディアライブラリー、ホームメディア、3D ディスプレイをカスタマイズ、設定する場合、これらの基本設定を変更します。

[基本設定] タブに次のようにアクセスします。

- キャプションバー (ウィンドウの上) の  ボタンをクリックして、[基本設定] タブをクリックします。
- 再生コントロールの  ボタンをクリックして、[3D ディスプレイ]、[ホームメディア (DLNA)]、[メディアライブラリー]、[UI カスタマイズ] から選択します。
- キーボードの [Ctrl+Shift+C] を押して、[基本設定] タブをクリックします。

UI カスタマイズの基本設定

[UI カスタマイズ] 基本設定タブでは、PowerDVD の壁紙を設定したり、メディアパネル、キャプションバー、[ムービー] タブ、再生コントロールに表示されるアイテムと機能をカスタマイズすることができます。

[UI カスタマイズ] の基本設定には、[壁紙](#)、[メディアパネル](#)、[その他](#) の3つのタブがあります。

壁紙

プレーヤーの壁紙をカスタマイズすることができます。MoovieLive から壁紙をダウンロードしたり、自分の画像から選択したりすることができます。次のように設定します。

[壁紙を選択して PowerDVD の背景に設定](#)

PowerDVD の UI 背景を変更するには、表示されるサムネイルから好みの壁紙を選択します。

[+] ボタンをクリックして **[コンピューターからファイルを選択]** を選択すると、コンピューターから壁紙用の画像を読み込みこむことができます。

[MoovieLive の情報を見る] オプションを選択すると、MoovieLive から壁紙用の画像をダウンロードすることができます。ダウンロードして .pbgz ファイルをクリックすると、壁紙として表示されます。

注:メディア ライブラリーの画像を右クリックして、**[PowerDVD の壁紙として設定]** を選択することもできます。

[毎日異なる壁紙を表示] オプションを選択すると、毎日自動的に壁紙の種類が変わります。利用可能な壁紙がローテーションで表示されます。

メディア パネル

[メディア パネル] タブでは、メディア パネルに表示されるアイテムと機能をカスタマイズすることができます。次のように設定します。

メディア パネルの表示アイテムをカスタマイズ

このリストから、メディア パネルに表示するアイテムを選択します。非表示にするアイテムは、選択解除します。

メディア ライブラリー

メディア ライブラリーに **[動画]**、**[画像]**、**[音楽]** タブを表示しない場合、チェックを外します。**[ムービー]** タブは常に表示されます。

マイ コンピューター

[マイ コンピューター] タブを表示し、コンピューターのハード ドライブ中のすべてのフォルダーにアクセスできるようにします。Windows の既存のライブラリーからメディア パネルに表示するアイテムを選択します (Dropbox、Google ドライブ、OneDrive など)。

プレイリスト

[プレイリスト] タブを表示し、メディア プレイリストにアクセスできるようにします。選択したら、このタブに表示/非表示するプレイリストを指定することができます。

オンライン動画

[オンライン動画] タブを表示し、YouTube、Vimeo にアクセスできるようにします。選択したら、このタブに表示/非表示するソーシャル メディア Web サイトを指定することができます。

サイバーリンク クラウド

[サイバーリンク クラウド] タブを表示し、サイバーリンク クラウドのサービスにアクセスできるようにします。

デバイス&ホーム メディア (DLNA)

[デバイス&ホーム メディア] タブを表示し、コンピューターに接続されるすべてのデバイスおよびホーム メディア クライアントにアクセスできるようにします。選択したら、このタブに表示/非表示するデバイスを指定することができます。

その他

[その他] 基本設定タブでは、キャプション バーや [ムービー] タブ、再生コントロール、共有サブメニューに表示されるアイテムと機能をカスタマイズすることができます。次のように設定します。

キャプション バーの表示アイテムをカスタマイズ

ラーニング センターを開く

キャプション バーに [ラーニング センター] アイコンを表示します。アイコンをクリックすると、ラーニング センターが表示されます。

TV モードに切り替え

キャプション バーに [TV モードに切り替え] のアイコンを表示します。アイコンをクリックすると、CyberLink PowerDVD の TV モードが起動します。

[ムービー] タブの表示アイテムをカスタマイズ

このリストから、[メディア ライブラリー] の [ムービー] タブに表示するアイテムを選択します。非表示にするアイテムは、選択解除します。

注:デフォルトで、[BD/DVD ムービー] と [ムービー情報] セクションが表示されます。非表示にすることはできません。

ムービー ライブラリー

[メディア ライブラリー] の [ムービー ライブラリー] のセクションを表示します。

シリーズ動画

[メディア ライブラリー] の [シリーズ動画] のセクションを表示します。

再生コントロールの表示アイテムをカスタマイズ

回転ボタンを表示

再生コントロールに  ボタンを表示します。

早送り/巻戻しを表示

再生コントロールに  および  ボタンを表示します。

30 秒/8 秒スキップ ボタンを表示

再生コントロール (経過時間の横) に  および  ボタンを表示します。

ズーム コントロールを表示

再生コントロールに  ボタンを表示します。

クロップして枠に入れる

再生コントロールに  ボタンを表示します。

VR/3D オプション

再生コントロールに  ボタンを表示します。

再生速度ナビゲーター

再生中に巻戻し/早送りボタンをクリック時に [再生速度ナビゲーター] にアクセスします。詳細は、[「再生速度ナビゲーター」](#) を参照してください。

動画の開始/終了位置 (A-B リピート)

再生中に動画の開始/終了位置 (A-B リピート) 機能にアクセスします。詳細は、[「動画の開始/終了位置 \(A-B リピート\)」](#) を参照してください。

再生先

再生コントロールに  ボタンを表示します。

共有サブメニューに表示されるアイテムをカスタマイズ

共有

再生コントロールに  ボタンを表示します。

注:共有ボタンが無効になると、下の共有サブメニュー ボタンもすべて無効になります。

プログラムから開く

画像/スライドショーを再生時に、共有サブメニューに [プログラムから開く] オプションを表示します。

メール

画像/スライドショーを再生時に、共有サブメニューに [メール] オプションを表示します。

印刷

画像/スライドショーを再生時に、共有サブメニューに **[印刷]** オプションを表示します。

YouTube にアップロード

共有サブメニューに **[YouTube]** オプションを表示します。

Vimeo で共有

共有サブメニューに **[Vimeo]** オプションを表示します。

メディア ライブラリーの基本設定

[**メディア ライブラリー**] の基本設定タブでは、メディアの読み込み元のフォルダーを設定することができます。これを設定すると、メディア ライブラリーの各タブに表示されるメディアをコントロールすることができます。

[**メディア ライブラリー**] の基本設定には、[\[ムービー\]](#)、[\[シリーズ動画\]](#)、[\[動画/画像\]](#)、[\[音楽\]](#) の4つのタブがあります。

ムービー

[**ムービー**] タブをクリックして、ムービー ファイルの読み込み元のフォルダーを設定します。ムービー ファイルは、コンピューターのハードドライブと接続されたネットワーク デバイスに保存される DVD/ブルーレイ ディスク* フォルダーおよび個々の動画ファイルです。

指定するフォルダーに含まれるムービー ファイルは、[**メディア ライブラリー**] の [**ムービー ライブラリー**] セクションに読み込まれます。詳細は、[\[メディア ライブラリーのムービー\]](#) を参照してください。

ムービー ライブラリー

ムービー ライブラリーのリストには、対応するムービー ファイルの読み込み元のフォルダーが表示されます。対応するファイル形式の一覧は、[\[対応するムービーファイル/シリーズ動画の形式\]](#) を参照してください。

注:これらのフォルダーに新しいメディアが入るとスキャンされ、フォルダーのメディアが追加/削除されると、メディア ライブラリーは自動的に更新されます。

ムービー ライブラリーにフォルダーを追加するには、次の操作を行います。

1. **[ムービー フォルダーの追加]** ボタンをクリックします。
2. 追加するフォルダーを検索します。コンピューターのハード ドライブまたは接続されたネットワーク デバイスから選択します。
3. **[フォルダーの選択]** ボタンをクリックして、リストに追加します。
4. 上の手順を繰り返して他のフォルダーを追加します。
5. **[次未満の動画を無視する]** オプションを選択して、時間 (分) を入力します。これにより短い動画は除外され、ムービー ライブラリーに追加されません。
6. メディア ライブラリーで未接続のネットワーク デバイス中のムービー ファイルを表示するには、**[未接続のメディアを再生する]** オプションを選択します。
7. フォルダーの追加が完了したら **[OK]** をクリックして、メディア ライブラリーの基本設定ウィンドウを閉じます。フォルダーがスキャンされ、対応するすべてのムービー ファイルが読み込まれます。

注:ムービー ライブラリーからフォルダーを削除するには、リストのフォルダーの上にマウスを置いて  を選択します。

シリーズ動画

[シリーズ動画] タブをクリックして、シリーズ動画の読み込み元のフォルダーを設定します。シリーズ動画は、コンピューターのハード ドライブと接続されたネットワーク デバイスに保存される動画ファイルでも利用できます。

指定するフォルダーに含まれるシリーズ動画は、[メディアライブラリー]の[シリーズ動画]セクションに読み込まれます。詳細は、[「メディアライブラリーのムービー」](#)を参照してください。

シリーズ動画ライブラリー

シリーズ動画ライブラリーのリストには、対応するシリーズ動画の読み込み元のフォルダーが表示されます。対応するファイル形式の一覧は、[「対応するムービーファイル/シリーズ動画の形式」](#)を参照してください。

注:これらのフォルダーに新しいメディアが入るとスキャンされ、フォルダーのメディアが追加/削除されると、メディアライブラリーは自動的に更新されます。

シリーズ動画ライブラリーにフォルダーを追加するには、次の操作を行います。

1. **[シリーズ動画フォルダーの追加]** ボタンをクリックします。
2. 追加するフォルダーを検索します。コンピューターのハードドライブまたは接続されたネットワーク デバイスから選択します。
3. **[フォルダーの選択]** ボタンをクリックして、リストに追加します。
4. 上の手順を繰り返して他のフォルダーを追加します。
5. **[次未満の動画を無視する]** オプションを選択して、時間 (分) を入力します。これにより短い動画は除外され、シリーズ動画ライブラリーに追加されません。
6. メディアライブラリーで未接続のネットワーク デバイス中のシリーズ動画を表示するには、**[未接続のメディアを再生する]** オプションを選択します。
7. フォルダーの追加が完了したら **[OK]** をクリックして、メディアライブラリーの基本設定ウィンドウを閉じます。フォルダーがスキャンされ、対応するすべてのムービー ファイルが読み込まれます。

注:シリーズ動画ライブラリーからフォルダーを削除するには、リストのフォルダーの上にマウスを置いて  を選択します。

シリーズ動画を整理する

シリーズ動画はシリーズとエピソードで整理されます。シリーズ動画とフォルダー名に基づいて、自動的に並べ替えられます。シリーズ動画のファイルとフォルダー名は次のように指定してください。

- ファイルまたはファイルの親フォルダーにシリーズ動画の名前を入れます。
- "XX" はシーズン (期) の番号を示します。ファイル名を "SXX" またはファイルの親フォルダーを "Season XX" と入力します。
- "YY" はエピソード (第～話) を示します。ファイル名を "YY" または "EYY" と入力します。

名前指定の例

例えば次のように命名すると、シリーズ動画ライブラリーに正確に配置されます。

最上フォルダー名	サブフォルダーの名前	ファイル名
シリーズ動画	--	The.PowerDVD.Show.S01E01.MP4, The.PowerDVD.Show.S01E02.MP4, The.PowerDVD.Show.S02E01.MP4, ...
シリーズ動画	The PowerDVD Show	S01E01.MP4, S01E02.MP4, S02E01.MP4, ...

The PowerDVD Show	Season 1	E01.MP4, S01E02.MP4, ...
The PowerDVD Show	Season 1	01.MP4, 02.MP4, ...

注:ファイル名に追加の文字 (エピソード番号とファイル拡張子の間) がある場合、それらはシリーズ動画ライブラリーには表示されません。

動画/画像

[動画/画像] タブをクリックして、動画/画像の読み込み元のフォルダーを設定します。ムービー ライブラリー セクションに入れないホームムービーやショートクリップなどの動画ファイルを入れることをお勧めします。詳細は、[「メディアライブラリーの動画」](#)を参照してください。読み込む画像は、スライドショー、共有や他の機能に使用することができます。詳細は、[「メディアライブラリーの画像」](#)を参照してください。

動画/画像ライブラリー

動画/画像ライブラリーのリストには、対応する動画ファイル/画像の読み込み元のフォルダーが表示されます。対応するファイル形式の一覧は、[「対応する動画ファイル形式」](#) および [「対応する画像形式」](#) を参照してください。

注:これらのフォルダーに新しいメディアが入るとスキャンされ、フォルダーのメディアが追加/削除されると、メディアライブラリーは自動的に更新されます。

動画/画像ライブラリーにフォルダーを追加するには、次の操作を行います。

1. **[動画/画像フォルダーの追加]** ボタンをクリックします。
2. 追加するフォルダーを検索します。コンピューターのハードドライブまたは接続されたネットワーク デバイスから選択します。
3. **[フォルダーの選択]** ボタンをクリックして、リストに追加します。
4. 上の手順を繰り返して他のフォルダーを追加します。

5. 次のオプションを選択します。
 - **次未満の画像ファイルを無視する**: ドロップダウンで選択するサイズ未満の画像ファイルを読み込まない場合、このオプションを選択します。
 - **次未満の動画ファイルを無視する**: ドロップダウンで選択するサイズ未満の動画ファイルを読み込まない場合、このオプションを選択します。
6. メディアライブラリーで未接続のネットワーク デバイス中の動画/画像を表示するには、**[未接続のメディアを再生する]** オプションを選択します。
7. フォルダーの追加が完了したら **[OK]** をクリックして、メディアライブラリーの基本設定ウィンドウを閉じます。フォルダーがスキャンされ、対応するすべての動画/画像が読み込まれます。

注: 動画/画像ライブラリーからフォルダーを削除するには、リストのフォルダーの上にマウスを置いて  を選択します。

音楽

[音楽] タブをクリックして、音声ファイルの読み込み元のフォルダーを設定します。対応する音声ファイルを音楽ライブラリーに読み込みますが、ファイルは **[メディアライブラリー]** の **[音楽]** タブに読み込まれます。詳細は、[「メディアライブラリーの音楽」](#) を参照してください。

音楽ライブラリー

音楽ライブラリーのリストには、対応する音声の読み込み元のフォルダーが表示されます。対応するファイル形式の一覧は、[「対応する音声形式」](#) を参照してください。

注: これらのフォルダーに新しいメディアが入るとスキャンされ、フォルダーのメディアが追加/削除されると、メディアライブラリーは自動的に更新されます。

音楽ライブラリーにフォルダーを追加するには、次の操作を行います。

1. **[ミュージック フォルダーの追加]** ボタンをクリックします。
2. 追加するフォルダーを検索します。コンピューターのハード ドライブまたは接続されたネットワーク デバイスから選択します。
3. **[フォルダーの選択]** ボタンをクリックして、リストに追加します。
4. 上の手順を繰り返して他のフォルダーを追加します。
5. メディア ライブラリーで未接続のネットワーク デバイス中の音楽ファイルを表示するには、**[未接続のメディアを再生する]** オプションを選択します。
6. フォルダーの追加が完了したら **[OK]** をクリックして、メディア ライブラリーの基本設定ウィンドウを閉じます。フォルダーがスキャンされ、対応するすべての音声ファイルが読み込まれます。

注:音楽ライブラリーからフォルダーを削除するには、リストのフォルダーの上にマウスを置いて  を選択します。

ホーム メディア (DLNA) の基本設定

[ホーム メディア (DLNA)] 基本設定タブ* では、メディア ライブラリーのメディアをネットワークを通して、他のネットワーク デバイスのメディアをコンピューターの CyberLink PowerDVD でストリーミング再生する設定を行うことができます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

[ホーム メディア (DLNA)] の基本設定には、**[アクセスコントロール]** と **[フォルダーの共有]** の 2 つのタブがあります。

アクセス コントロール

[アクセス コントロール] タブでは、他のネットワーク デバイスのメディアをコンピューターの CyberLink PowerDVD でストリーミング再生したり、ネットワークでライブラリーのメディア共有を有効にしたりする設定を行います。次のように設定します。

- **他のホーム メディア コンピューター/デバイスを許可して、この PowerDVD でメディア コンテンツを再生する**: ネットワーク コンピューター/デバイスのメディアをコンピューターの CyberLink PowerDVD で再生します。このオプションを選択すると、コンピューター中の CyberLink PowerDVD がデジタル メディア レンダラーになります。詳細は、[「デジタル メディア レンダラーにメディアをストリーミングする」](#) を参照してください。
- **PowerDVD のライブラリー コンテンツを他のホーム メディア コンピューター/デバイスにストリーミングする**: メディア ライブラリーのメディアを同じネットワークに接続されるコンピューターとデバイスと共有する場合、このオプションを選択します。有効にしてから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - **すべてのホーム メディア デバイスにストリーミング**: ライブラリーのメディアをネットワークに接続されるすべてのコンピューターとデバイスと共有する場合、このオプションを選択します。
 - **次の選択デバイスにはストリーミングのみ**: 特定のコンピューターとデバイスでのみメディアを共有する場合、このオプションを選択します。次に、メディアを共有するデバイスをリストから選択して、 をクリックして [許可] リストに追加します。

注: 共有するコンピューター/デバイスがリストに表示されない場合、これらが有効であり、ネットワークに接続されていることを確認してください。ホーム メディア コンピューター/デバイスのリストを更新するには、 をクリックします。

フォルダーの共有

[**フォルダーの共有**] タブでは、ネットワークで利用可能なメディア ライブラリーのフォルダーを設定することができます。次のように設定します。

注:フォルダーを共有する前に、[アクセス コントロール] タブの [PowerDVD のライブラリー コンテンツを他のホーム メディア コンピューター/デバイスにストリーミングする] オプションを有効にする必要があります。

- **ライブラリー中のすべてのメディア:**メディア ライブラリー中のすべてのメディアを共有する場合、このオプションを選択します。
- **次の選択フォルダーのみ:**共有するメディア ライブラリー フォルダーを指定するには、このオプションを選択します。共有するフォルダーをリストから選択します。

3D ディスプレイの基本設定

[**3D ディスプレイ**]* タブでは、3D 再生を有効にしたり、3D ディスプレイを設定したりすることができます。

注:* この機能は、CyberLink PowerDVD 19 の一部のエディションではご利用いただけません。

[3D ディスプレイ] の基本設定には、[\[全般\]](#) と [\[ディスプレイ\]](#) の 2 つのタブがあります。

全般

[**全般**] タブでは、3D ディスプレイの設定を行います。次のように設定します。

3D メディアを 3D で再生

すべての 3D メディア (3D** ブルーレイ ディスク、DVD、3D 動画ファイル、3D 画像) を自動的に再生します。有効にすると、3D メディアを開始すると自動的に

3D で再生されます。一度有効にすると、3D メディアを再生時に毎回 3D 再生を有効にする必要はありません。

注:** 3D ブルーレイ ディスク再生対応の CyberLink PowerDVD のエディションでは、設定で再生を有効にする必要があります。有効化に関する詳細は、[「ブルーレイ 3D」](#) を参照してください。

2D メディアを 3D に変換

すべての 2D メディア (2D ブルーレイ ディスク、DVD、動画ファイル、YouTube 動画、画像) を 3D (TrueTheater 3D を適用) に変換します。一度有効にすると、2D メディアを変換時に毎回 3D 再生を有効にする必要はありません。

- **3D シーン深度:** スライダーを使ってビデオ イメージの 3D シーンの深度を調整します。3D シーン深度のスライダーは、TrueTheater 3D の変換コンテンツのみを調整することができます。

視覚の切り換え

3D コンテンツを見ると、不快感を覚える場合がありますが、これは一般的なコンテンツと 3D 映像とではレイアウトが異なるためです。3D を再生中に目の疲れを覚える場合、左右の映像を切り換えてみてください。これによりディスプレイに表示される 3D コンテンツの方法が切り換わり、不快感が低減する場合があります。

ディスプレイ

[**ディスプレイ**] タブでは、3D ディスプレイの設定を行います。次のように設定します。

3D ディスプレイの選択

- **自動検出:** 自動的にデバイスを検出します。3D ディスプレイが接続されていない場合は、2D か 3D (アナグリフ赤青モード) のどちらかで再生するか、表

示されます。このモードでは、アナグリフ (赤青) 3D メガネを使って 3D コンテンツを視聴します。

- 手動で 3D デバイスを選択するには、下のオプションを選択して、ドロップダウンメニューからデバイスを選択します。3D ディスプレイが接続されていない場合は、**[アナグリフ赤青モード]** を選択すると、アナグリフ 3D メガネ (赤青) を使って 3D コンテンツを視聴することができます。

第 13 章:

PowerDVD のホットキー

このセクションでは、CyberLink PowerDVD のホットキーを紹介します。

ホットキー	説明
再生コントロール	
`	再生速度ナビゲーターにアクセスします。
B または [メディア コンテンツを逆再生します。繰り返し押すと、逆再生の速度が上がります。
E または ,	再生を一時停止すると、コマ戻しされます。連続して押すと、コンテンツがコマ戻しされます。 注: この機能は、一部の動画ファイル形式ではご利用いただけません。
P	プレイリスト/フォルダーの前のチャプター/メディアに戻ります。ミュージック ディスクの前の曲に戻ります。
S	再生を停止します。
スペース バ ー	メディアを再生/一時停止します。
N	プレイリスト/フォルダーの次のチャプター/メディアに移動します。ミュージック ディスクの次の曲に移動します。
F または]	メディア コンテンツを早送りします。繰り返し押すと、早送りの速度が上がります。
T または .	再生を一時停止し、動画の次のフレームに移動します。繰り返し押すと、メディアがコマ送りされます。
}	メディア コンテンツを遅送りします。繰り返し押すと、遅送りの速度が上がります。
Q	ミュートをオン/オフします。
= または +	音量を上げます。

-	音量を下げます。
Ctrl+R	フォルダー/プレイリスト中のメディア ファイルの 1 つ/すべてを繰り返します。
V	音楽のシャッフルをオン/オフにします。
Ctrl+,	画像を左に 90 度回転します。
Ctrl+.	画像/動画を右に 90 度回転します。
メニュー	
M	DVD を再生中に、DVD メニュー コントロールにアクセスします。ブルーレイ ディスク* を再生中にこのボタンを押すと、ポップアップメニューが表示されます。
Ctrl+P	再生メニューが表示されます。
R	メニューの上をナビゲートします。
その他のホットキー	
F1 または ?	PowerDVD ヘルプを開きます。
F5	CyberLink PowerDVD プログラムを最大化します。
F9, F10, F11, F12	リモコンの赤、緑、黄色、青ボタンに対応します。
左矢印キー	メニューの左側をナビゲートします。
右矢印キー	メニューの右側をナビゲートします。
上矢印キー	メニューの上をナビゲートします。
下矢印キー	メニューの下をナビゲートします。
Enter	矢印キーでメニューをナビゲート中に選択したオプションを確定します。
Ctrl+Shift+A	[PowerDVD バージョン情報] ウィンドウを開きます。
Ctrl+Shift+C	[設定] ウィンドウを開きます。
Ctrl+C	スナップショットを取得します。

Ctrl+D	ブルーレイ ディスク ムービーの副音声を有効/無効にします。
Ctrl+E	選択したディスク ドライブから、ディスクを取り出します。
Ctrl+G	PG textST を有効化/無効化します。有効化すると、BD-ROM プレーヤーは、文字の字幕ストリームまたはプレゼンテーション グラフィックスの字幕ストリームを表示します (表示可能な場合)。
Ctrl+K	クローズド キャプションを有効化/無効化します。
Ctrl+M	音楽を再生中にミニ プレーヤー モードに切り替えます。
Ctrl+N	CyberLink PowerDVD プログラムを最小化します。
Ctrl+U	字幕 (副) を有効化/無効化します。
Ctrl+V	セカンダリー ビデオを有効化/無効化します。
Ctrl+W	動画の再生を一時停止し、メニューがアクティブである場合、再生を再開します。
Ctrl+Y	字幕 (副) の位置を変更します (Read-it-Clearly)。
Esc	アクティブ ダイアログまたはフル スクリーン モードを閉じます。
Ctrl+上矢印 キー	画面の明るさ** を 5~10% 上げます。
Ctrl+下矢印 キー	画面の明るさ** を 5~10% 下げます。
A	次のアングルに移動します。
C	スナップショットを取得します。
D	OSD (オン スクリーン ディスプレイ) の再生詳細をオン/オフに切り替えます。
G	ブックマークに移動します。
H	オーディオ チャンネルを切り替えます。

I	PowerDVD の [アップグレード] 情報ダイアログにアクセスします。
J	DVD ルート メニューに移動します。
K	カラオケ モードを切り替えます。
L	ディスク メニューに移動します。
W	Say-It-Again を有効にします。
X	[A-B リピート] ダイアログ ウィンドウを開きます。
Z	フルスクリーン モードを切り替えます。
特殊キーボード用追加ホット キー	
Apps	コンテキスト メニューを表示します。
Previous	5 秒前へタイム シークします。
Next	5 秒後へタイム シークします。
Select	選択したオプションを確定します。
ユーザー定義 (「ホットキー/マウス ホイールの設定」 でカスタマイズ可能)	
Ctrl+左右矢印キー	30 秒スキップ (早送り)/8 秒スキップ (巻き戻し) します (デフォルト)。
左右矢印キー	動画ファイルおよび YouTube/Vimeo の動画を再生中に、30 秒スキップ (早送り)/8 秒スキップ (巻き戻し) します (デフォルト)。
Shift+左右矢印キー	2 分前/後へスキップします (デフォルト)。
Alt+左右矢印キー	5 分前/後へスキップします (デフォルト)。
マウス ホイール	音量を調整します (デフォルト)。
Ctrl+マウスホイール	インスタントズーム (デフォルト)。

Shift+マウス ホイール	早送り/巻戻します (デフォルト)。
-------------------	--------------------

注:** ディスプレイの能力によって、明るさの調整度合いは異なります。
CyberLink PowerDVD は、一部のディスプレイの明るさ調整をサポートしていません。

第 14 章:

ライセンスおよび著作権情報

This section contains the PowerDVD licensing and copyright information. There is also a list of the third-party components used in PowerDVD.

Dolby Laboratories

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio, and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright 1995-2015 Dolby Laboratories. すべての権利は Verance Corporation が保有します。

DTS

For DTS patents, see <https://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS Digital Surround is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

DTS-HD

For DTS patents, see <https://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, DTS-HD, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

Apple Lossless Audio Codec

CyberLink PowerDVD uses Apple Lossless Audio Codec. It's licensed under Apache license. Related files are located in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\ALAC.

Java

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.



BSD License

1/Under BSD license:

Redistribution of source code must retain the following copyright notice and following disclaimer:

Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson

Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,

DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Cinavia

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、<https://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

Copyright 2004-2013 Verance Corporation. Cinavia は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

Python 27

CyberLink PowerDVD uses Python, related license files are available in C:

¥Program

Files¥CyberLink¥PowerDVD19¥Custom¥Setting¥FreeLicense¥python27/* .txt

and in C:¥Program

Files¥CyberLink¥PowerDVD19¥Custom¥Setting¥FreeLicenses¥python27¥from
_pydocs¥*.html.

Pthreads-win32

Cyberlink H.264 video decoder is a software work uses open-source PThread library (namely PThreadVC2.dll) which is under LGPL (GNU Lesser General Public License).

0. Pthreads-win32 license file only deals with license of PThread library, not including the license of other parts of Cyberlink H.264 video decoder. The Pthreads-win32 license file could be found in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\pthreadswin32/copying.html.
1. The PThread library is available at <https://sources.redhat.com/pthreads-win32/>.
2. One copy of LGPL is provided in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\licenses\lgpl-2.1.txt. It is also available at <https://www.gnu.org/copyleft/lesser.html>.

Intel OpenCV

CyberLink PowerDVD uses Intel Open Source Computer Vision Library. The License Agreement For Open Source Computer Vision Library is in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\opencv\license.txt.

simplejson

CyberLink PowerDVD uses simplejson. It's licensed under MIT License which is attached in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\simplejson\license.txt.

CSystemTray

CyberLink PowerDVD uses "CSystemTray" in code project. It's licensed under CPOL license. Related files are located in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\systemtray and C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\licenses/CPOL.html.

boost C++ Libraries

CyberLink PowerDVD uses boost C++ Libraries. It's licensed under boost license.

Related file is located in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\licenses\boost_license_1_0.txt.

oauth2

CyberLink PowerDVD uses oauth2. It's licensed under MIT License which is attached in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\oauth2\LICENSE.txt.

httplib2

CyberLink PowerDVD uses httplib2. It's licensed under MIT License which is attached in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\httplib2\license.txt.

beautifulsoup

CyberLink PowerDVD uses beautifulsoup. It's licensed under Creative Commons License which is attached in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\beautifulsoup\license.txt.

socksipy

CyberLink PowerDVD uses socksipy. It's licensed under BSD style License which is attached in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\socksipy\license.txt.

Monkey's Audio

CyberLink PowerDVD uses "Monkey's Audio" as source filter in code project. The Monkey's Audio license file could be found in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\Monkeys Audio\license.html.

SQLite3

CyberLink PowerDVD uses "SQLite3" as database engine in code project. The SQLite3 license file could be found in C:\Program Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\licenses\sqlite3_copyright-release.html.

rapidjson

CyberLink PowerDVD uses rapidjson. It's licensed under MIT License which is attached in C:\Program

Files\CyberLink\PowerDVD19\Custom\Setting\FreeLicenses\licenses\license_rapidjson.txt.

第 15 章:

テクニカル サポート

この章では、テクニカル サポートについて説明します。ユーザーが回答を見つけるために役立つ情報が含まれています。ご購入の代理店、販売店にお問い合わせいただくこともできます。

テクニカル サポートにお問い合わせになる前に

テクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、次のサポート オプション内容をご確認ください(無料)。

- プログラムに組み込まれている「ユーザーガイド」または「オンラインヘルプ」を参照する。
- CyberLink Web サイトの FAQ を参照する。
<https://jp.cyberlink.com/support/search-product-result.do>
- このドキュメントの「[ヘルプリソース](#)」ページを参照する。

テクニカル サポートにメールまたは電話で連絡する際には、次の情報をあらかじめご用意ください。

- 登録済み **プロダクト キー** (プロダクト キーは、ソフトウェア ディスク ケース、ボックス カバー、または CyberLink ストアで製品購入時に受け取ったメールに記載されています)。
- 製品名、バージョン、エディション、ビルド番号 (通常、ユーザー インターフェイス上の製品名をクリックすると表示されます)。
- お使いの Windows OS のバージョン。
- システムのハードウェア デバイス (キャプチャー カード、サウンド カード、VGA カード) およびその仕様。システム情報を DxDiag.txt で出力し、添付する。

注:システム情報を DxDiag.txt ファイルで出力するには、Windows (スタート) ボタンをクリックし、"dxdiag" を検索します。[情報をすべて保存] ボタンをクリックして、DxDiag.txt ファイルを保存します。

- 表示された警告メッセージの内容 (メッセージの内容はメモするか、スクリーンショットをとっておいてください)。
- トラブルの詳しい内容と、発生した状況。

Web サポート

CyberLink の Web サポートは、24 時間いつでも無料でご利用いただけます。

注:CyberLink の Web サポートをご利用いただくには、まずメンバー登録を行う必要があります。

CyberLink では、FAQ を始めとしたさまざまな Web サポート オプションを、次の言語で提供しています。

言語	Web サポート URL
英語	https://www.cyberlink.com/cs-help
中国語 (繁体字)	https://tw.cyberlink.com/cs-help
日本語	https://jp.cyberlink.com/cs-help
スペイン語	https://es.cyberlink.com/cs-help
韓国語	https://kr.cyberlink.com/cs-help
中国語 (簡体字)	https://cn.cyberlink.com/cs-help
ドイツ語	https://de.cyberlink.com/cs-help
フランス語	https://fr.cyberlink.com/cs-help
イタリア語	https://it.cyberlink.com/cs-help

ヘルプ リソース

CyberLink 製品をご使用の際、次のヘルプ リソースもご利用いただけます。

- CyberLink の **FAQ** ページ:<https://jp.cyberlink.com/cs-resource>
- ソフトウェアの **ビデオ チュートリアル**
:<https://directorzone.cyberlink.com/tutorial/>